KL-T100

取扱説明書 保証書付

J　Z

準備編	電源との接続、テープカートリッジの装着などを説明しています。
おためし印刷編	簡単なデータを作って印刷するまでの流れを説明しています。
ラベル作成編	工夫したデータの作り方を説明しています。
デザインロゴ編	デザインロゴの印刷やインストールの方法を説明しています。
入力・編集編	文字の入力・修正や書体の変更などを説明しています。
設定編	画面の輝度、印刷の濃度、入力音の設定などを説明しています。
付録	使い方が分からなくなったときの対処などを説明しています。

別紙の「はじめにお読みください」をお読みになった後、こちらをお読みください。

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

RJA521545-001V01　MO0909-A　Printed in China

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

「eneloop®」は、三洋電機株式会社の登録商標です。

EVOLTA は、パナソニック株式会社の登録商標です。

Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

©2009 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

■本書は KL-T100 について説明しています。
付属のソフトウェアについては、「CD-ROM 収録の PDF ファイル取扱説明書」をご覧ください。

■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。

■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■ 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。

■本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

電池について

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USB ケーブルをはずす。
3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

AC アダプターについて

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず指定品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する

- 1 つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

⚠ 警告

AC アダプター／ USB ケーブルについて

電源コード／ USB ケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない

- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

AC アダプター／ USB ケーブルについて

- 濡れた手で電源コード／ USB ケーブルやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- AC アダプター /USB ケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプター /USB ケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

電池について

本機内で電池が液もれしたまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに本機の使用をやめてお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡してください。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- アルカリ乾電池を充電しない

- 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USB ケーブルをはずす。
3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

⚠ 警告

水、異物はさける

水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USB ケーブルをはずす。
3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。
また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

AC アダプター／ USB ケーブルについて

AC アダプター／ USB ケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コード／ USB ケーブルを引っ張らない（必ず AC アダプター本体／ USB ケーブルのプラグを持って抜く）

- AC アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USB ケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは AC アダプター／ USB ケーブルのプラグをコンセント／コネクターから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、AC アダプター /USB ケーブルのプラグをコンセント / コネクターから抜く
- 電源コードのプラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- 電源コード（特にプラグ部分）、AC アダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく
- 充電池を使う場合は、三洋電機株式会社製の単3形 eneloop®（エネループ）または、パナソニック株式会社製の単3形充電式 EVOLTA（エボルタ）を使用する。
- eneloop® または充電式 EVOLTA を充電する場合は、必ず専用の充電器をご使用ください。
- eneloop® または充電式 EVOLTA を使用する場合は、eneloop® または充電式 EVOLTA や専用充電器の取扱説明書、注意書きをお読みいただき、条件を守ってご使用ください。

コネクター部への接続

コネクター部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

⚠ 注意

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

電池のセットおよび電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「電池をセットするとき」や「電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切る恐れがあります。

高温注意

プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどする恐れがあります。

⚠ 注意

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
  皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

オートテープカッターに注意する

電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

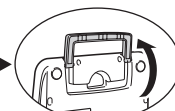
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。
  使用温度範囲は、10℃～ 35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～ 35℃）の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（118 ページ）をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。
- 手書きパネルに強い力を加えたり、ボールペンなど尖ったもので突いたり入力したりしないでください。手書きパネルの一部はガラスでできていますので、傷ついたり、割れることがあります。

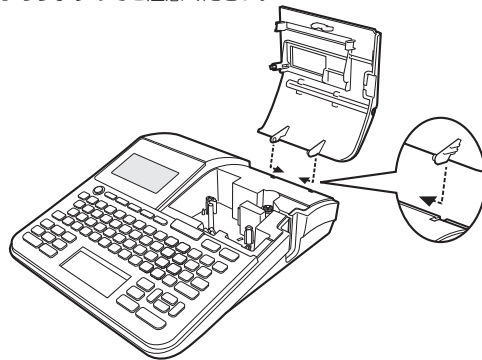
「本機で使用している中国語」について

- 本機で使用している中国語は、「普通話」「簡体字」に対応しています。

目次

各部の名前とはたらき

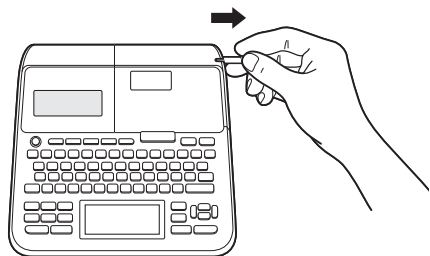
(電源)
電源を入れるとき、切るときに押します。

■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら

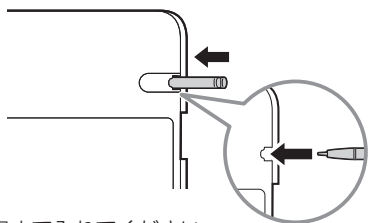
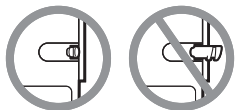
テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。

タッチペンを取り出す・しまう

本機では、タッチペンを使って「手書きパネル」に文字を書いたり、タッチして操作を進めたりすることができます。

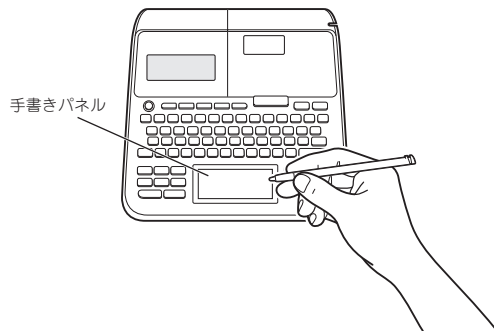
• 手書きパネルを使って入力する（88 ページ）

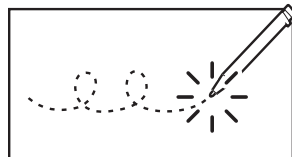
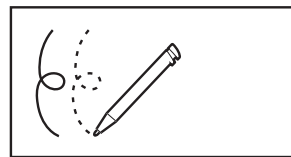
■タッチペンを取り出す

タッチペンはテープカートリッジ収納部のカバーに収納されています。タッチペンの先端に指をかけ、まっすぐ引き出します。

■タッチペンをしまう

タッチペンの先端をまっすぐ押し込むようにしてしまいます。

• 落ちないように、しっかりと奥まで入れてください。

• タッチペンをなくさないように注意してください。

タッチペン使用上のご注意

• 手書きパネルにタッチするときは、力を入れる必要はありません。
• 手書きパネルの表面を強く押したり、力を込めて入力したりしないでください。手書きパネルにひびが入ったり、割れたりすることがあります。

• タッチした文字やアイコンが正しく認識されない（反応しない）ときや、タッチペンでタッチする位置と表示される手書きで入力した文字が微妙にずれているときは、手書きパネル位置調整を行ってください（114 ページ）。

例）

反応しない

手書きで入力した文字がずれる

重要 手書きパネルに市販の保護フィルムを貼り付けると正しく動作しない場合があります。その場合は、保護フィルムをはがして正常に動作するか確認してください。

本機の操作の流れ

ACアダプターの接続
または電池のセット
11ページ
116ページ

- **購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化、日時の設定をしてください。（12ページ）**
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。

テープカートリッジの取り付け 15ページ

自由に入力して作る
フリーラベル　20、39ページ
フリーラベルの編集機能
40ページ

用途に応じて作る
用途別ラベル
バーコードラベル、手書きラベル、デザインロゴなど
28、58、64、71ページ

印刷する 21ページ

電源について

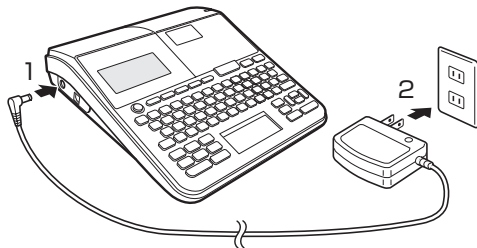
本機を使うときは、電源として指定のACアダプターまたは市販のアルカリ乾電池、推奨の充電式ニッケル水素電池を使います。
- ご使用前に、「安全上のご注意」（1～5ページ）を必ずご覧ください。
- 電池のセットについては、116ページをご覧ください。
- アルカリ乾電池または推奨の充電式ニッケル水素電池を使う場合は、必ず電池の設定を確認してください（115ページ）。

ACアダプターで使う

■取り付ける

- 指定のACアダプター以外は使用しないでください。
- パソコンと接続する場合は、ソフトをインストールした後、USBケーブルとACアダプターを接続してください。詳しくは、別紙「はじめにお読みください」の「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」「パソコンと接続する」をご覧ください。

1 ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続用端子に差し込みます。

2 ACアダプターをご家庭のコンセント< AC100V >に差し込みます。

■取り外す

- 印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、ACアダプターや電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、手書きイメージ、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池をセットした状態」で、ACアダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- USBケーブルを接続している場合は、ACアダプターを取り外す前にパソコンと本機からUSBケーブルを抜き取ってください。
- 本機に登録したデータ（文字や文章など）は、ノートやパソコンなどに控えを取っておいてください。

1 コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。

2 本機のACアダプター接続用端子からACアダプターのプラグを抜きます。

電源コードの両端部分は､無理に曲げたり､ねじったり､引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、はじめて使うとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

1 **電源が切れていることを確認します。**
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、[電源]を押します。

2 **[印刷]と[変換 空白]をいっしょに押しながら、[電源]を押します。**
「メモリー初期化？　実行／取消し」が表示されるまで、そのまま押し続けます。

3 **[実行]を押します。**

4 **[∧][∨]を押して、現在の日付や時刻の設定をします。**
[<][>]で設定したい項目を選択することができます。

- [∨]を押すと数字が減り、[∧]を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。

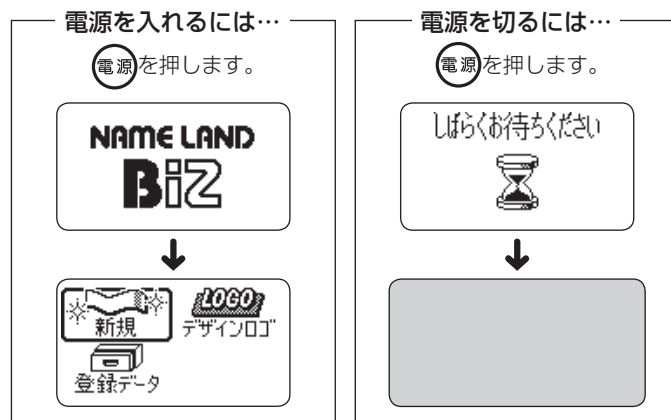
5 設定が終了したら[実行]を押します。

日付、時刻の設定は、後から変更することもできます。
日付、時刻の設定については、114 ページの「日付、時刻を設定する」をご覧ください。

重要 メモリーの初期化をした後は、必ず電池の設定を確認してください（115 ページ）。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。
ただし、本機にインストールされたデザインロゴのデータはメモリーの初期化をしても消えません。

電源を入れる・切る

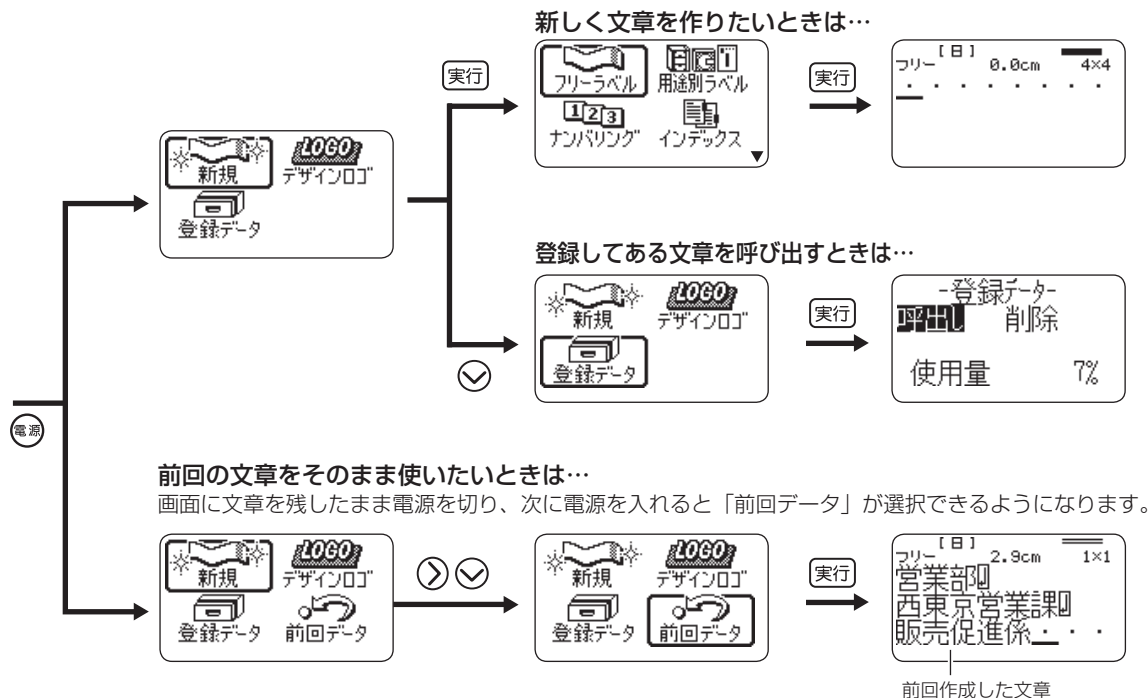
一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは(電源)を押すだけで本機を使うことができます。

• 画面の明るさを調整するときは、113 ページをご覧ください。

オートパワーオフ（節電）機能について

何も操作をしないで、約 6 分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。
再び本機を使うときは、(電源)を押してください。

• ＡＣアダプターを使用して、外字を作成しているとき、手書きラベル機能で手書きのイメージを編集しているときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。
• AC アダプターを使用して、パソコンと接続しているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の 3 つがあります。
- 新しく文章を作る
- 登録してある文章を呼び出して作る
- 電源を切る前に入力していた文章（前回の文章）を呼び出して作る

- 電源を入れた直後の画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。（データの登録→ 69 ページ）

テープカートリッジを取り付ける / 取り外す

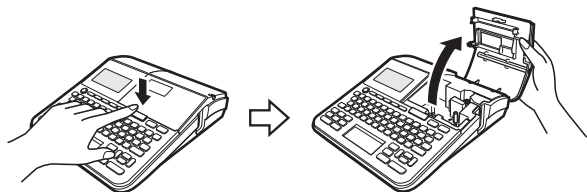
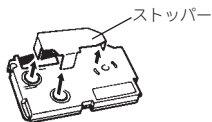
ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。

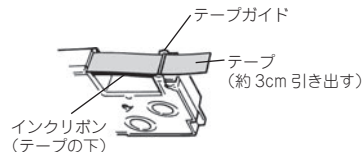
- テープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。

テープカートリッジを取り付ける

1 電源が切れていることを確認します。

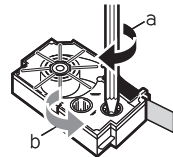
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、を押します。

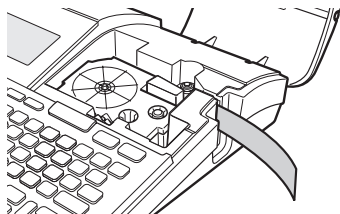
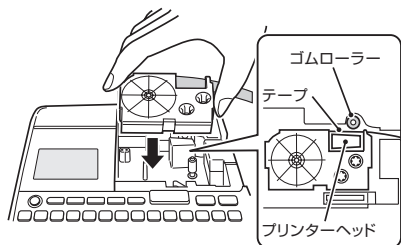
2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。

4 テープとインクリボンの状態を確認します。

- テープの先が曲がっていない（曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする）
- テープの先がテープガイドを通っている
- インクリボンがたるんでいない

重要

- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
- インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります

インクリボンがたるんでいたら、a のように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。b の方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。

5 **テープカートリッジをセットします。**
インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

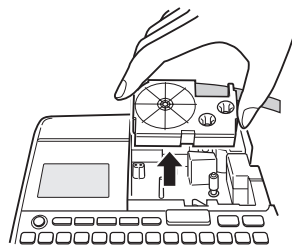
重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。

6 **テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。**

- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

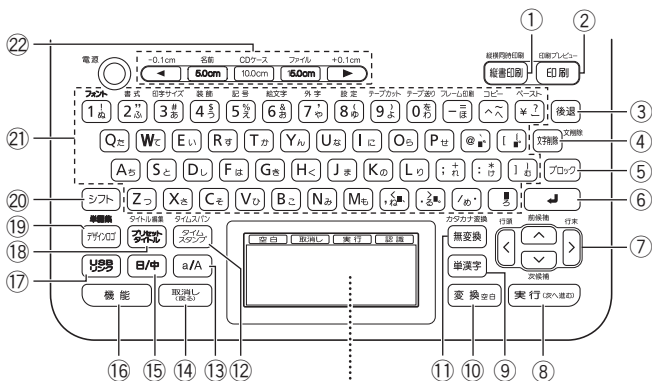
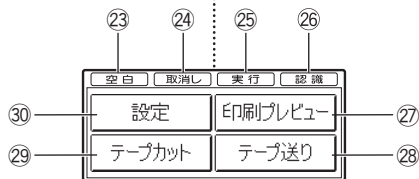
1 **電源が切れていることを確認します。**
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、(電源)を押します。

2 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

3 **テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。**
- 印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてからテープカートリッジを取り出してください。

重要 • 当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

キー／アイコンのはたらき

ここではキー／アイコンの主な使い方について説明します。

■キーボード（キー）

■手書きパネル（アイコン）

・電源を入れたときやキー操作を間違ったとき、手書きパネルにタッチしたときに鳴るブザー音を消したいときは、112 ページをご覧ください。

①	縦横同時印刷 縦書印刷	縦書き印刷をするときに押す。 ・縦横同時印刷をするときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。
②	印刷プレビュー 印刷	印刷するときに押す。 ・印刷結果を画面で見るとき（印刷プレビュー）は、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
③	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
④	文削除 文字削除	カーソルの上の文字を消すときに押す。 ・入力中の項目の文章をすべて消すときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤	ブロック	文章をブロックに分けるときに押す。（41 ページ）
⑥	↵	改行するときに押す。
⑦	＜ ∧ ∨ ＞	・文字が入る位置を示した＿（カーソル）や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 ・項目や変換候補などを選択するときに押す。
⑧	実行	操作を進めるときに押す。
⑨	単漢字	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。
⑩	変換空白	ひらがなやピンインを漢字などに変換するときに押す。 ・空白を入力したいときは、未確定の文字がないときにこのキーを押す。
⑪	カタカナ変換 無変換	漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 ・入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑫	タイムスパン タイムスタンプ	・日付、時刻を入力中の文章に挿入するときに押す。 ・保存期間、有効期限などの将来の日付、時刻を入力中の文章に挿入するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑬	a/A	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。（82 ページ）

⑭	取消し	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑮	日/中	日本語の入力と中国語の入力を切り替えるときに押す。(76ページ)
⑯	機能	キーの上または横に 機能 と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑰	USB リンク	パソコンで作成したデータを本機で印刷するときに押す。
⑱	タイトル編集 プリセット タイトル	・よく使う登録した単語や文章を呼び出して使うときに押す。 ・よく使う単語や文章を登録、編集するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑲	単語集 デザインロゴ	デザインロゴを印刷するとき、パソコンからデザインロゴデータをインストールするときに押す。 「ラベル作成」をしているときに押すと、[デザインロゴ] モードに切り替わる。 ・単語集を使うときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑳	シフト	・かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。(78 ページ) ・アルファベットを入力しているとき、1 文字だけ大文字(または小文字) を入れる場合に押す。(82 ページ)
㉑	(文字キー)	文字を入れるときに押す。
㉒	(テープ長さダイレクト設定キー)	フリーラベルで長さを設定するときに押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。
㉓	**【空白】**	「空白」を入れるときにタッチする。
㉔	**【取消し】**	操作を戻したり、中止したりするときにタッチする。
㉕	**【実行】**	操作を進めるときにタッチする。
㉖	**【認識】**	手書きで入力した文字を一文字ずつ確かめるときや、最後の文字を入力したときにタッチする。
㉗	**【印刷プレビュー】**	印刷結果を画面で見るときにタッチする。
㉘	**【テープ送り】**	テープを白紙で送るときにタッチする。(23 ページ)
㉙	**【テープカット】**	テープをカットするときにタッチする。(23 ページ)
㉚	**【設定】**	設定を変更するときにタッチする。(112 ページ)

・本書では、キーボードと手書きパネルのどちらを使っても操作できる機能は、主にキーボードの操作を例に説明しています。

機能と[シフト]の操作には、以下の2つの方法があります。

1. [機能]（[シフト]）を押し、指を離してから目的のキーを押す。
2. [機能]（[シフト]）を押しながら目的のキーを押す。

・本書の操作説明は、「[機能]（[シフト]）を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を[1 ! ぬ]や[実行]などのように表記しています。

例 [1 ! ぬ]を押したあとに続けて[実行]を押すときの表記

↓

[1 ! ぬ][実行]と押します。

●本機のキーの上または横に[機能]と同じ色で書かれている機能（「設定」や「カタカナ変換」など）を使うには、[機能]を押し、指を離してから[機能]と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例「設定」機能を使うときの表記

↓

[機能]を押し、指を離してから[8 (ゆ]（設定）を押します。

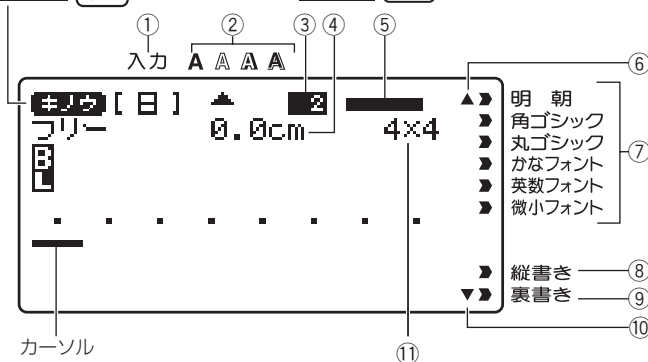
●操作手順の中で、「[∧][∨][<][>]を押して…」「[∧][∨]を押して…」「[<][>]を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

● 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは[取消し]を押します。

● [取消し]を何回押しても希望の画面に戻らないときは、[電源]を押して一度電源を切ります。再び[電源]を押して電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面について

本機の画面（メインパネル）には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

・画面の明るさを変えるときは、113ページをご覧ください。
・本機はメッセージや選択名などの表示言語を「日本語」と「中国語」から選択することができます。表示言語を変更するときは115ページをご覧ください。
・本書の操作説明は、表示言語設定が「日本語」の場合を例に記載しています。

①	入力できる文字の種類を示す。(76、82、88ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(98ページ)
③	カーソルがあるブロックは何個目かを示す。(41ページ)
④	いま作っているラベルの長さを示す。(46ページ)
⑤	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(40ページ)
⑥	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑦	書体（フォント）が何になっているかを示す。(94ページ)

⑧	縦書きになっていることを示す。(42 ページ)
⑨	裏書きになっていることを示す。(43 ページ)
⑩	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑪	文字のサイズを示す。(51 ページ)

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルを印刷する

[印刷例]

営業レポート

1 **(電源)を押して、電源を入れます。**

・右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されることがあります。(14 ページ)

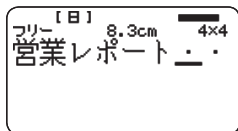
2 **(∧)(∨)(<)(>)を押して「新規」を選び、[実行]を押します。**

3 **(∧)(∨)(<)(>)を押して作りたいラベルの種類を選び、[実行]を押します。**

ここでは「フリーラベル」を選びます。

4 **文字を入力します。**

ここでは「営業レポート」と入力します。

・文字の入力方法については、24ページをご覧ください。

■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 **機能を押し、指を離してから印刷（印刷プレビュー）を押します。**

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます

2 **じっくりと見たい部分が流れてきたら、実行を押します。**

その部分が止まります

実行を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

・プレビュー表示を中止するときは取消しを押します。
・細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されないことがあります。

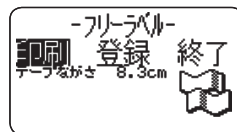
■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

・ご使用前に、「安全上のご注意」の「オートテープカッターに注意する」（5ページ）を必ずご覧ください。
・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

重要

印刷する前に、以下の点にご注意ください。
・印刷時の注意事項（24ページ）を必ずご覧ください。
・「テープカートリッジがセットされていること」、「テープ出口（9ページ）が物でふさがっていないこと」を確認してください。

1 **文字を入力したら、実行を押します。**

2 **印刷が選ばれていることを確認して、実行を押します。**

3 **〈〉を押して、印刷する枚数を指定します。**

ここでは「1枚」にします。

・〈を押すと数字が減り、〉を押すと数字が増えます。
・数字を直接入力することもできます。一度に、100枚まで指定できます（連続印刷）。

4 ⌵を押します。

5 ＜＞を押して、カットモードを指定します。

- ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。
カットモードについて詳しくは、25 ページをご覧ください。

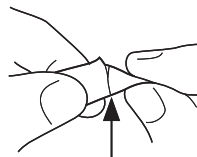
6 実行を押します。
印刷が始まります。

- 印刷を途中でやめるときは、取消しを押します。

ラベルを貼る

1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。

●ハーフカット部分からはがすとき
ハーフカット部分をゆっくりとひねるようにして、テープを台紙からはがします。

●フルカットされたラベルをはがすとき
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。

- 一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

- 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
- 直射日光や雨が当たるもの
- 人や動物の体
- 他人の家の塀や電柱など
- 公園・駅など、公共の場所
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは
- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP 材など）

テープを空送りする

印刷する前や印刷した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。

1 **[機能]を押し、指を離してから[0をわ（テープ送り）]を押します。**

↓

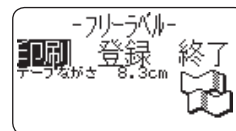
テープが約 21mm 送られます。

テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（45 ページ）、印刷が終わっても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープをカットしてください。

1 **[機能]を押し、指を離してから[9りよ（テープカット）]を押して、テープをカットします。**

重要 テープをカットするときは、本機を傾けないでください。
また、テープを引っぱったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する

1 **上の画面が表示されているときに〈〉を押して 終了 を選び、[実行]を 2 回押します。**

以下の画面に戻ります。

- 「登録」については、69 ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。（77 ページ）

1 [日/中]を何回か押して、画面左上に「日」を表示させせます。
2 [機能]を押し、指を離してから[8 ゆ（設定）]を押します。
3 [∧][∨]を押して 日本語入力 を選び、[実行]を押します。
4 [∧][∨]を押して ローマ字入力 を選び、[実行]を押します。
5 [E い][I に][G き][Y ん][O ら][U な]
6 [変換]を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら[実行]を押します。

■「レポート」を入力します。

1 [R す][E い][P せ][O ら][¥ ー][T か][O ら]
2 [機能]を押し、指を離してから[無変換（カタカナ変換）]を押して、ひらがなをカタカナにします。

• 誤った文字を入力したときは、[文字削除]（91 ページ）や[後退]（91 ページ）を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。

• **本機では、日本語の他に、中国語も入力することができます。また、キーボードから文字を入力する他に、手書きパネルを使って文字を入力することもできます。文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」（76 ページ）をご覧ください。**

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。

• 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
• 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。（9 ページ）
• 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
• 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、キーボードの[取消し]を押して印刷を中止してください。
• テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
• １度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

印刷とカットモード

カットモードについて（オートカッター）

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

・下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

テープ	設定
・自己粘着テープ ・布転写テープ ・インスタントレタリングテープ	**特殊テープ**
・マグネットテープ ・反射テープ ・アイロン布テープ	**カットしない**

■カットのしかたについて

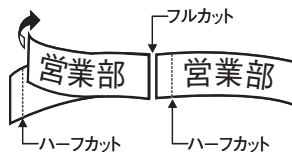
カットのしかたには 2 つあります。

●ハーフカット

台紙はカットしないで、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。

・「テープ幅の細い 3.5mm や 6mm テープ」や「薄いメンディングテープ」は、ハーフカットできないことがあります。

●フルカット

台紙もシールもカットします。

■４つのカットモード

カットモードは４つあります。

・カットモードは、「印刷する」の手順 **5**（22 ページ）で設定します。

・余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」（27 ページ）をご覧ください。

・書式で「余白　送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。（23 ページ）

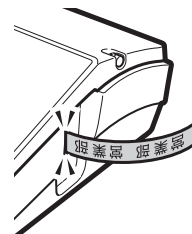
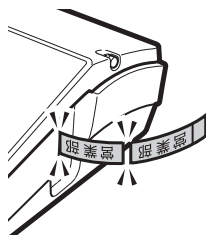
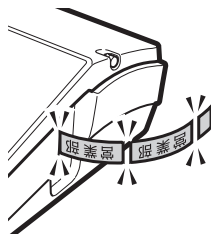
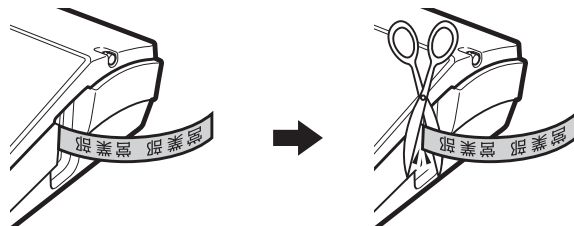
・テープの長さが下記のときは、テープカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどで切ってください。

余白小	余白中	余白大
約 28mm 以下	約 35mm 以下	約 44mm 以下

●通常

・ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているので、ラベルがバラバラになることがありません。

・先頭には余白が付き、はがしやすいようにハーフカットされます。

・すべての印刷が終了すると、フルカットされます。

●切り離す
- ラベルごとにフルカットします。
  2 枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープ詰まりや故障の原因となります。
- 各ラベルの先頭には余白が付き、はがしやすいようにハーフカットされています。

●特殊テープ
- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープに印刷するときに設定します。
- 各ラベルごとにフルカットされます。
- 「余白　小」「余白　中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。

●カットしない
- ラベル間はカットしません。
- マグネットテープ・反射テープ・アイロン布テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、[機能]を押し、指を離してから[0 を わ（テープ送り）]を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。

反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープについて

反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープは特殊な処理をしてあるテープです。
カットするときは、フルカット / ハーフカットはしないで、下記の手順に従ってハサミなどをお使いください(アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください)。
なお、本機のフルカット / ハーフカットで**反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープ**をカットすると、カッター部分の寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがあります。ご注意ください。

1. 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする（45 ページ）またはカットモードで「カットしない」にする
2. 印刷する
3. [機能]を押し、指を離してから[0 を わ（テープ送り）]を押して、テープ送りをする
4. **反射テープ、マグネットテープ**または**アイロン布テープ**を取り出し、ハサミなどを使ってカットする

- ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかた（フルカット／ハーフカット）と余白の長さは異なります。

カットモード		通常			切り離す			特殊テープ			カットしない		
カットのタイミング／余白		先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット
余白小	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	16㎜	3㎜	3㎜	16㎜※1 5㎜※2	3㎜	3㎜	21㎜	3㎜	3㎜	21㎜	3㎜	3㎜
余白中	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	9㎜	10㎜	10㎜	9㎜※1 5㎜※2	10㎜	10㎜	21㎜	10㎜	10㎜	21㎜	10㎜	10㎜
余白大	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	無し	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	5㎜	19㎜	19㎜	5㎜※1 5㎜※2	19㎜	19㎜	－	19㎜	19㎜	－	19㎜	19㎜
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※1：1枚目の印刷のとき
※2：2枚目以降の印刷のとき

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で操作してください。

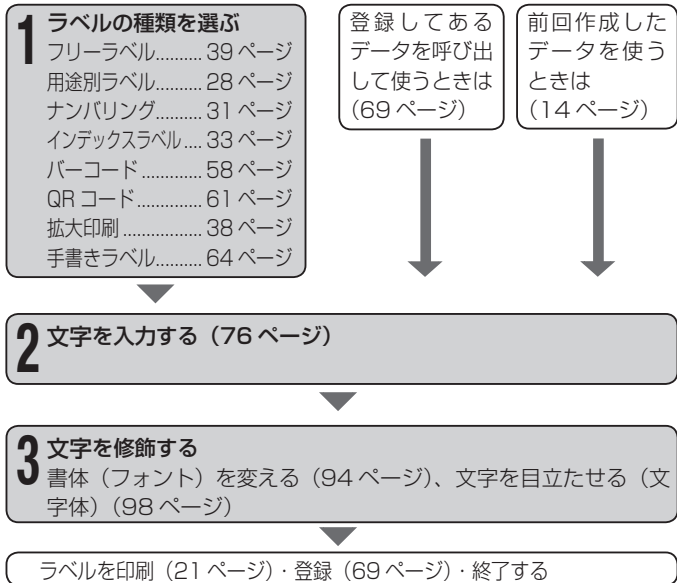
1 ラベルの種類を選ぶ

登録してあるデータを呼び出して使うときは（69 ページ）

前回作成したデータを使うときは（14 ページ）

2 文字を入力する（76 ページ）

3 文字を修飾する

書体（フォント）を変える（94 ページ）、文字を目立たせる（文字体）（98 ページ）

ラベルを印刷（21 ページ）・登録（69 ページ）・終了する

フォーマットを選んで作る（用途別ラベル）

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

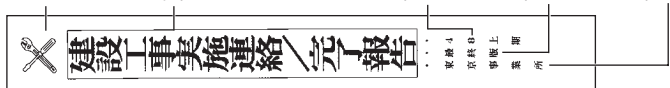
• ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル

• ビデオラベル·オーディオラベル·名前ラベル·送付ラベル·ファイルラベル·値札ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

[印刷例]

ぶんるい　タイトル　コメント 1　コメント 2　コメント 3

建設工事実施連絡／完了報告

（18mm 幅テープ / ファイル / ファイル背 / 大 3）

重要 132 ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

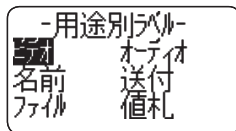
フォーマットを選ぶ

1 **（電源）を押して、電源を入れます。**

- ご使用の状況によっては、右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されます（14 ページ）。

2 **（∧）（∨）（＜）（＞）を押して「新規」を選び、［実行］を押します。**

3 **（∧）（∨）（＜）（＞）を押して「用途別ラベル」を選び、［実行］を押します。**

-用途別ラベル-
ビデオ　オーディオ
名前　送付
ファイル　値札

4 **（∧）（∨）（＜）（＞）を押して作成するラベルの種類を選び、［実行］を押します。**

ここでは「ファイル」を選びます。

フォーマット選択画面が表示されます。

フォーマット選択画面について

ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。

対応するテープ幅を示します。

9　18 ･･･ 使用できるテープ幅は、実線または点線で囲まれます。

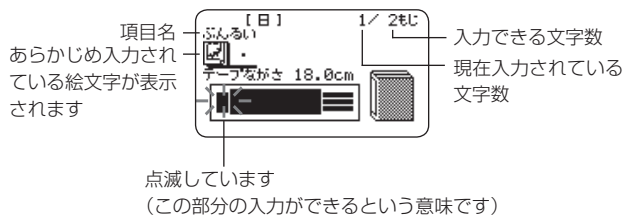
18 ･･････ 最も適したテープ幅は、実線で囲まれます。

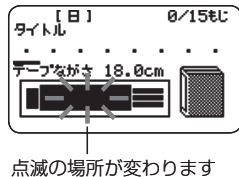
6 ･･･････ 使用できないテープ幅は、囲まれません。

5 **（＜）（＞）を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、［実行］を押します。**

ここでは「ファイル背」を選びます。

6 ⌃⌄〈〉を押してフォーマットを選び、実行を押します。

詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」（132 ページ）をご覧ください。
ここでは「大 3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。

7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、実行を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、84 ページをご覧ください。

8 文字を入力し、実行を押します。

ここでは「タイトル」「コメント 1」「コメント 2」「コメント 3」に入力します。

- 枠が付けられるフォーマットの場合は、機能を押し指を離してから4（装飾）を押して「装飾」の「文字修飾」に入って、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。

- ラベルデータを印刷するときは→ 21 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 69 ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に機能を押し、指を離してから2（書式）を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

通し番号のついたラベルを作る（ナンバリング）

ページ番号や通し番号がついたラベルを作る（連番印刷）ことができます。

重要 3.5mm 幅のテープカートリッジは使用できません。

ナンバリングの種類

• フォーマット1

• フォーマット2

備品1

コメント（99 文字まで）　ナンバー

• フォーマット3

1備品

ナンバー　コメント（99 文字まで）

• フォーマット4

備品1（総務管理）

コメント1（99 文字まで）　ナンバー　コメント2（99 文字まで）

• フォーマット5

• フォーマット6

・ 印刷するたびに、“ナンバー”が一つずつ繰り上がっていきます。

[印刷例]

備品No.15（総務管理）

備品No.16（総務管理）

備品No.17（総務管理）

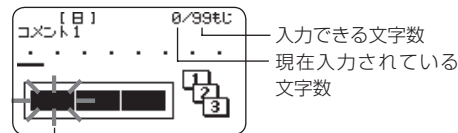
「備品 No.15（総務管理）」～「備品 No.17（総務管理）」のラベルを印刷します。

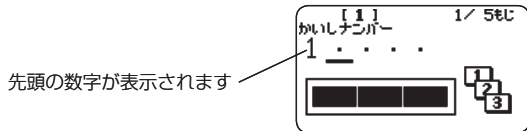
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、キーボードの 取消し を押して印刷を中止してください。

1 **電源 を押して、電源を入れます。**

2 **⌃⌄〈〉を押して「新規」を選び、実行 を押します。**

3 **⌃⌄〈〉を押して「ナンバリング」を選び、実行 を押します。**

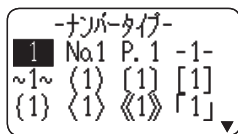
4 **⌃⌄〈〉を押してフォーマットを選び、実行 を押します。**
ここでは「4」を選びます。

5 **「コメント 1」の文字を入力し、実行を押します。**

ここでは「備品」と入力します。

6 **ナンバリングの先頭になる数字に変更し、実行を押します。**

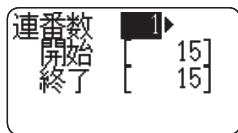
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

- 先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5 桁まで入力できます。

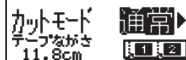
7 **「コメント 2」の文字を入力し、実行を押します。**

ここでは「（総務管理）」と入力します。

8 **〈∧〉〈∨〉〈＜〉〈＞〉を押してナンバリングの形を選び、実行を押します。**

ここでは「No.1」を選びます。

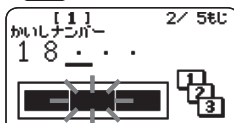
9 **〈＜〉〈＞〉で 印刷 を選び、実行を押します。**

10 **〈＜〉〈＞〉を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから実行を押します。**

ここでは、15、16、17 番を印刷するので、「3」を設定します。

- 1 ～ 100 までを入力できます。
- 直接数字を入力することもできます。

11 **〈＜〉〈＞〉を押してカットモードを設定し、実行を押します。**

- カットモードについて詳しくは、25 ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。
- 「長さオーバー　印刷できません」「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？」と表示されたときは、124 ページをご覧ください。

表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

- テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

- ラベルデータを登録するときは→ 69 ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に､お好みで印刷の書式を設定することができます。

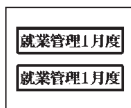
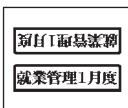
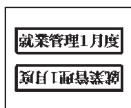
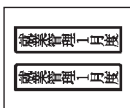
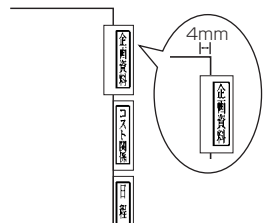
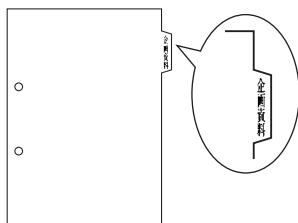
- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- 「余白」の設定をする

上記の設定をするには、文字入力中に機能を押し、指を離してから 2（書式）を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

インデックスラベルを作る

ファイルを整理するのに便利なインデックスラベルを作ることができます。本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成することもできます。

インデックスラベルの種類

インデックスラベルは、ファイリングの仕方に合わせて、方向別に以下の４種類を作ることができます。

・横１ ・横２ ・横３ ・縦

●書類に貼り付けた例（印刷方向：縦）

●仕切りカードの見出し山に貼り付けた例（印刷方向：縦）

- インデックスラベルが作成できるのは、24mm 幅テープのみです。必ず 24mm 幅のテープカートリッジをセットしてください。
- 書類に直接貼る場合には、ご使用中に抜け落ちないように書類に対して 4mm 程度の貼り付けをおすすめします。
- 仕切りカードの見出し山に貼る場合には、24mm 幅透明テープで、枠を付けないで印刷することをおすすめします。
- インデックスラベルの表面と裏面は、同じ内容が印刷されます。

インデックスラベルの印刷では、指定項目分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、キーボードの取消しを押して印刷を中止してください。

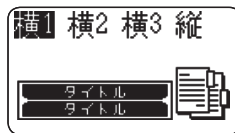
自由に入力して作る（ユーザー作成）

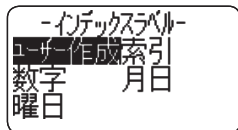
文字を自由に入力して作成します。一度に最大で６項目まで作成・印刷することができます。

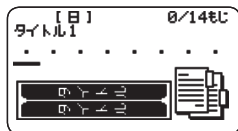
［印刷例］　３項目（印刷方向：縦）

1 電源を押して、電源を入れます。

2 ⋀⋁＜＞を押して「新規」を選び、実行を押します。

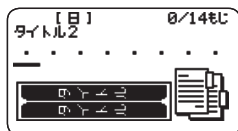
3 ⋀⋁＜＞を押して「インデックス」を選び、実行を押します。

4 〈 〉を押して印刷方向を選び、[実行]を押します。

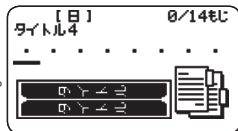
ここでは、「縦」を選びます。
作成方法の選択画面が表示されます。

5 ∧ ∨ 〈 〉を押して**ユーザー作成**を選び、[実行]を押します。

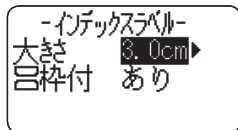
最初の項目の入力画面が表示されます。

6 文字を入力します。

ここでは「企画資料」と入力します。

7 [実行]を押します。

次の項目の入力画面が表示されます。

8 手順6～7を繰り返して3項目まで入力し、[実行]を押します。

4番目の項目の入力画面が表示されます。

9 [実行]を3回押します。

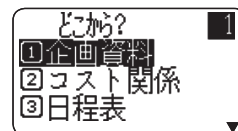
印刷の大きさ（3.0cm/4.5cm）と、枠の「あり／なし」の設定画面が表示されます。

10 〈 〉を押して、印刷の大きさを選びます。

- ファイルの仕切りカードの見出し山に貼るときなど、枠を付けないで印刷したい場合には、∨を押して、〈 〉で「枠付 **なし**」を選びます。

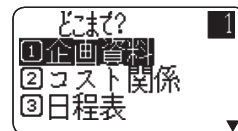
ここでは、このままの設定とします。

11 [実行]を押します。

12 〈 〉を押して**印刷**を選び、[実行]を押します。

印刷範囲の選択画面が表示されます。

13 ∧ ∨を押して印刷する最初の項目を選び、[実行]を押します。

ここでは、「企画資料」を選びます。

- 数字キーで番号を入力して選択することもできます。

14 ∧ ∨を押して印刷する最後の項目を選びます。

ここでは、「日程表」を選びます。

15 [実行]を押します。

16 **〈〉を押してカットモードを設定し、実行を押します。**

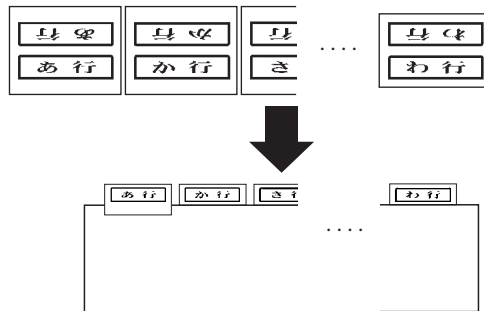
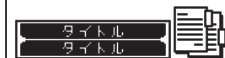
・カットモードについて詳しくは 25 ページをご覧ください。
印刷が開始されます。

重要 テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

・ラベルデータを登録するときは→ 69 ページ

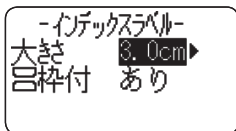
定型句を使って作る

本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成します。定型句は、「索引」「数字」「月日」「曜日」の４つの分類から選ぶことができます。定型句の詳細や最大印刷枚数などについては、37 ページをご覧ください。

［印刷例］「あ行」～「わ行」（10 項目／印刷方向：横２）

1 33 ページの手順 **1** ～ **3** と同様な操作で「インデックス」を選び、実行を押します。

2 **〈〉を押して印刷方向を選び、実行を押します。**

ここでは、「横２」を選びます。
作成方法の選択画面が表示されます。

3 **(∧)(∨)(<)(>)を押して定型句の分類を選び、[実行]を押します。**
ここでは、「索引」を選びます。
印刷パターンの選択画面が表示されます。

4 **(∧)(∨)を押して印刷パターンを選び、[実行]を押します。**
ここでは、「あ行 … わ行」を選びます。
印刷の大きさ（3.0cm/4.5cm）と、枠の「あり／なし」の設定画面が表示されます。

5 **(<)(>)を押して、印刷の大きさを選びます。**
- ファイルの仕切りカードの見出し山に貼るときなど、枠を付けないで印刷したい場合には、(∨)を押して、(<)(>)で「枠付 **なし** 」を選びます。

ここでは、このままの設定とします。

6 **[実行]を押します。**

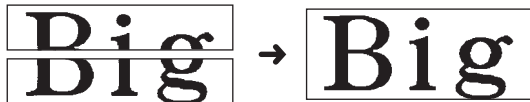
7 **これ以降の操作は、34 ページの手順 12 〜 16 と同様です。**

- 定型句は、初期フォントで設定されている書体で印刷されます。初期フォントの設定については、96 ページの「電源を入れたときの書体を決める」をご覧ください。

インデックスラベル「定型句」一覧

分類	表示	最大印刷枚数	1枚目	2枚目	3枚目	4枚目	5枚目	6枚目	7枚目	8枚目	9枚目	10枚目	11枚目	12枚目	…	26枚目	…	31枚目	…	46枚目	…	99枚目
索引	あ行…わ行	10枚	あ行	か行	さ行	た行	な行	は行	ま行	や行	ら行	わ行	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	ア行…ワ行	10枚	ア行	カ行	サ行	タ行	ナ行	ハ行	マ行	ヤ行	ラ行	ワ行	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	あ…ん	46枚	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	…	は	…	ま	…	ん	–	–
	ア…ン	46枚	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	…	ハ	…	マ	…	ン	–	–
	A…Z	26枚	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	…	Z	–	–	–	–	–	–
	a…z	26枚	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	…	z	–	–	–	–	–	–
数字	1…99	99枚	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	…	26	…	31	…	46	…	99
	No.1…No.99	99枚	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	…	No.26	…	No.31	…	No.46	…	No.99
	1～…90～	10枚	1～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	No.1～…No.90～	10枚	No.1～	No.10～	No.20～	No.30～	No.40～	No.50～	No.60～	No.70～	No.80～	No.90～	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
月日	1月…12月	12枚	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	–	–	–	–	–	–	–	–
	Jan.…Dec.	12枚	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	June	July	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	–	–	–	–	–	–	–	–
	1月度…12月度	12枚	1月度	2月度	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	–	–	–	–	–	–	–	–
	1日…31日	31枚	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	…	26日	…	31日	–	–	–	–
曜日	日曜日…土曜日	7枚	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	Sun.…Sat.	7枚	Sun.	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

大きなラベルを作る（拡大印刷）

本機では、24mm 幅のテープまで使用できますが、それよりも大きなラベルも作ることができます。文字を何枚かのテープに分けて印刷し、それを並べて貼って、1 枚のラベルにします。

文字を 2 枚のテープに分けて印刷

2 枚を並べて貼ると、1 枚のラベルが完成

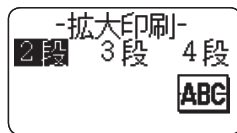
重要 12mm 幅以上のテープカートリッジをセットしてください。

［印刷例］ Big （12mm 幅テープ /2 段 ）

1 （電源）を押して、電源を入れます。

2 （↑）（↓）（←）（→）を押して「新規」を選び、［実行］を押します。

3 （↑）（↓）（←）（→）を押して「拡大印刷」を選び、［実行］を押します。

4 文字を入力し、［実行］を押します。

5 （←）（→）を押して拡大する文字の大きさを設定し、［実行］を押します。

2 段とは、「2 枚のテープに分けて印刷する」という意味です。
ここでは「2 段」を選びます。

テープ幅	文字の大きさ		
	2 段	3 段	4 段
12mm	24mm	36mm	48mm
18mm	30mm	45mm	60mm
24mm	30mm	45mm	60mm

6 （←）（→）で**印刷**を選び、［実行］を押します。

よろしいですか？
印刷範囲 全部
カットモード 通常
テープながさ 9.1cm

7 （←）（→）を押して何段目を印刷するかを設定し、（↓）を押します。

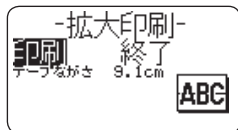
ここでは「全部」を選びます。

8 （←）（→）を押してカットモードを設定し、［実行］を押します。

印刷が始まります。

- カットモードについて（25 ページ）
- 文字数の多い大きなラベルを印刷する場合、1 本のテープですべての段を印刷できない場合があります。テープの残量を確認しながら 1 段ずつ印刷することをおすすめします。印刷の途中でテープが終了した場合は、キーボードの［取消し］を押して印刷を終了し、テープを交換した後、再度、印刷操作をしてください。
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため“印刷準備中”の表示になって、印刷を一時停止することがあります。
  プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。

・“印刷準備中”の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。

2 段目の印刷が終わったら、この画面になります。

テープを 2 段並べて貼ります

・18mm 幅テープ、24mm 幅テープに印刷すると、テープの上下に余白ができます。余白部分をカットしてから並べて貼ってください。18mm 幅テープ、24mm 幅テープに印刷するときは、余白部分を重ねて貼ることができる「透明テープ」をお使いになることをおすすめします。

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に［機能］を押し、指を離してから［2 書式］を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

自由に入力して作る（フリーラベル）

ここでは自由に入力してラベルを作る（フリーラベル）方法について説明します。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

1 **［電源］を押して、電源を入れます。**

2 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押して「新規」を選び、［実行］を押します。**

3 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押して「フリーラベル」を選び、［実行］を押します。**

4 **自由に文字を入力します。**

・フリーラベルの作り方について詳しくは 20 ページをご覧ください。

2 行以上のラベルを作る

2 行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm 幅テープでは、2 行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1 行
6mm	2 行
9mm	3 行

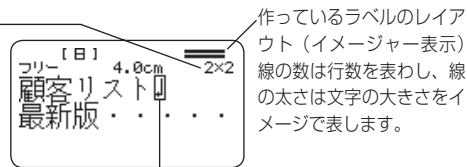
テープの幅	最大行数
12mm	5 行
18mm	8 行
24mm	8 行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。**（ジャストフィット印刷）**
- 文字の大きさを自由に決めた場合（51 ページ）も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

［印刷例］ 顧客リスト
最新版

1 **1 行目を入力します。**
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 **[↵]を押します。**

3 **2 行目を入力します。**
ここでは「最新版」と入力します。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、[↵]を押します。
- 改行を取り消すときは、[文字削除]を押してマークを削除します。[後退]を押しても「↵」マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/8」というような表示になります。これは、「行数は 8 行で、カーソルが合っているのは 5 行目」という意味です。
微小フォントでの印刷について→ 55 ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー　印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→ 21 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 69 ページ

文章をブロックに分ける

下の印刷例の「営業計画書」「国内営業部　営業第三課」は、それぞれ独立した文字のかたまりです。この文字のかたまりを**ブロック**といいます。ブロックごとに書式や行数を設定することができますので、いろいろなラベルを自由に作ることができます。

［印刷例］

営業計画書 国内営業部 営業第三課

1 つのブロック　　1 つのブロック　(18mm 幅テープ)
・2 行（40 ページ）
・縦書き（42 ページ）

［印刷例］　「営業計画書」「国内営業部　営業第三課」を別々のブロックに分ける

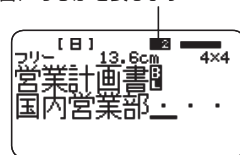
1 **最初のブロックの文字を入力します。**
ここでは「営業計画書」と入力します。

2 **ブロックを押します。**
「営業計画書」が 1 つのブロックになります。

ブロックマーク
（画面だけの印なので印刷されません）

3 **次のブロックの文字を入力します。**
ここでは「国内営業部」と入力します。

カーソルの位置が何ブロック目にあるかを表します

[日]
フリー 13.6cm 4×4
営業計画書
国内営業部

- ブロックマークを消すときは、「BL」の位置にカーソルを合わせ、文字削除を押します。
  後退を押してもBLマークを削除することはできません。
- ブロックに分けることができるのは、16 個まででです。

4 **続けて文字を入力します。**
ここでは↵「営業第三課」と入力します。

- 2 行のラベルについては 40 ページをご覧ください。
- 縦書きの設定については 42 ページをご覧ください。

文章を完成させたあとでブロックに分けるには
文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分けたい位置にカーソルを移動させ、ブロックを押します。

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ·文字間隔·文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール（書式）で作るのかを決めます。
ブロックごとの書式を決めることもラベル全体の書式を決めることもできます。

ブロックごとに書式を決める

ブロック（41 ページ）ごとに、印刷方向や文字のバランスなどを設定します。

■設定できる内容

ブロック書式では、次のような設定ができます。

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 方向　方向（縦）
文字割付	ブロック中での文字のバランスを決めます。 ➜49 ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ（間隔）を決めます。 文字間隔　文 字 間 隔
ブロック長	ブロックの長さを決めます。 ➜46 ページ参照

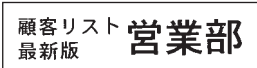
■設定する

1 **文章を入力し、ブロックに分けます。**

2 **書式を決めるブロックにカーソルを合わせます。**
そのブロック内であれば、カーソルの位置はどこでも構いません。

3 **［機能］を押し、指を離してから［2 書式］を押します。**
ブロックが 1 つだけの場合には手順 **6** に進んでください。このときは、ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

4 **〈〉を押して ブロック書式 を選び、［実行］を押します。**

5 **〈〉を押して このブロックのみ を選び、［実行］を押します。**
- すべてのブロックを共通の書式にするときは〈〉を押して 全ブロック にします。

6 **各項目を設定します。**
- ∧∨を押して設定項目を選びます。
- 〈〉を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内　　容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	ブロックの中での文字のバランス（左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ）を設定する➜49 ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔（0.0 ～ 31.9mm）を指定する （〈〉を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる） ・「文字割付」を「均等」、「ブロック長」を「固定」とした場合は、文字間隔の指定はできません。

設定項目	内　　容
ブロック長	・自動：文字数に合わせて自動的にブロックの長さを調整する ・ブロックの長さを任意に設定するときは〈〉を押して「固定」を選ぶ ➜46ページ参照

7 **各項目を設定したら、実行を押します。**

文章全体の書式を決める

文章全体の書式を決めます。
ブロックで区切られた文章であっても、ブロックには関係なく文章全体が対象になります。

■設定できる内容

文章全体の書式では、次のような設定ができます。

裏書き	（裏書きの印字例） ・布転写テープカートリッジ（別売）を使用してハンカチやTシャツなどにアイロンプリントするときに設定します。 アイロン布テープ（別売）を使用してアイロンプリントするときには、裏書きの設定は必要ありません。 ・テープ色が透明なテープカートリッジ（別売）を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
斜め	文字を斜めに印刷するときに選びます。 しない　斜め する　斜め
プロポーショナル	プロポーショナルとはアルファベット・数字に適した文字間隔のことです。アルファベット・数字が入った文章のときは「する」にすると、より美しく仕上がります。 する　CASIO しない　C A S I O

スムージング	印字の不自然なギザギザを美しく滑らかにするかしないかを選びます。 する　しない
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選びます。 密着　顧客リスト 最新版 営業部 普通　顧客リスト 最新版 営業部 広い　顧客リスト 最新版 営業部
余白	ラベルの前後に付くスペースの長さを選びます。 ➜ 45 ページ参照
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。 ➜ 47 ページ参照
ブロック割付	ラベル全体におけるブロックのバランスを決めます。 ➜ 50 ページ参照

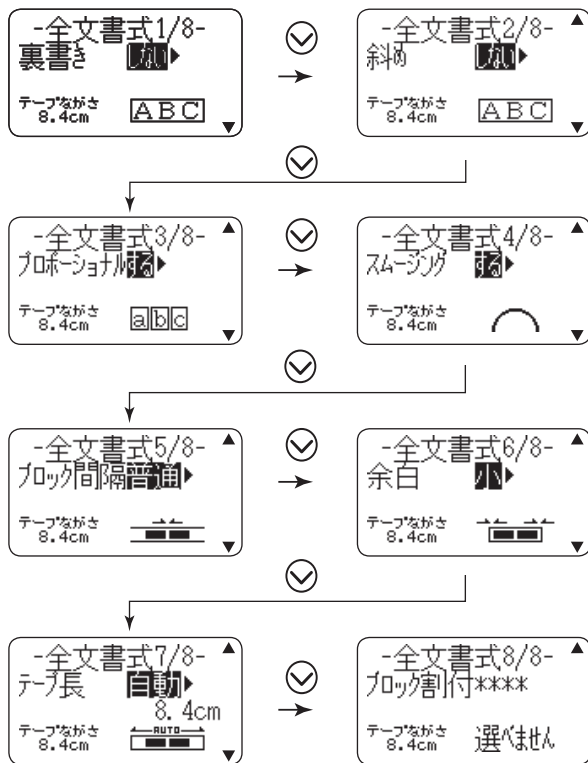
■設定する

1 **文字を入力します。**

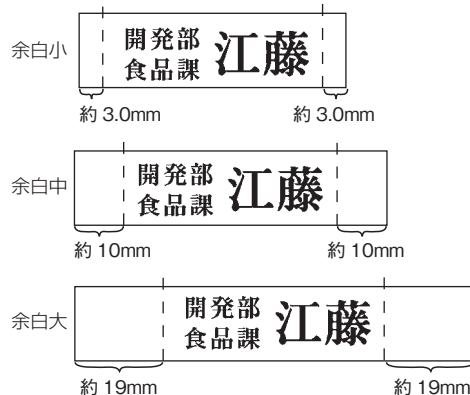
2 **[機能]を押し、指を離してから[2 書式]を押します。**
ブロックが 1 つだけの場合には手順 **4** に進んでください。ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

3 **[＜][＞]を押して全文書式を選び、[実行]を押します。**

4 **各項目を設定します。**
- [∧][∨]を押して設定項目を選びます。
- [＜][＞]を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内　　容
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
斜め	文字を斜めに印刷するときは「する」を、斜めに印刷しないときは「しない」を選ぶ
プロポーショナル	する　：アルファベット･数字に適した文字ピッチに調整する しない：アルファベット･数字の文字ピッチが、かな･漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる
スムージング	文字のラインを滑らかにするか、しないかを選ぶ
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選ぶ
余白	ラベルの前後に付くスペースの長さを選ぶ➜ 45 ページ
テープ長	• 自動：文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する • ラベル全体の長さを任意に設定するときは、[＜][＞]を押して「固定」を選ぶ➜ 47 ページ
ブロック割付	ラベル全体に対するブロックの位置を選ぶ➜ 50 ページ •テープ長さを「固定」にしたときのみ有効 （左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ）

5 **各項目を設定したら、[実行]を押します。**

余白について

ラベルの前後に付くスペースを**余白**といいます。
次の 3 種類の余白を選べます。

重要 テープの長さが短い（余白小のとき：約 28mm 以下、余白中のとき：約 35mm 以下、余白大のとき：44mm 以下）場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。

送り無 開発部 食品課 江藤 開発部 食品課 江藤

- 「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- 「送り無」と設定したときは、テープは自動的にはカットされません。テープをカットするときは、[機能]を押し、指を離してから[9 よ（テープカット）]を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベル作成編 ラベルの書式を決める

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の３つがあります。
●ブロックごとの長さを決めて、ラベルの長さを設定する（ブロック長固定）。
●ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）。
●ＣＤ／ＤＶＤのケース・ファイル用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する（テープ長さダイレクト設定キー）。
・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

ブロックの長さを設定する（ブロック長固定）

ブロック（41 ページ）の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。

1 **文字を入力し、ブロックに分けます。**

・ブロックの分け方（41 ページ）

2 **長さを決めるブロックにカーソルを移動します。**
そのブロック内であればカーソルの位置はどこでも構いません。

3 **［機能］を押し、指を離してから［2 ふ（書式）］を押します。**
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 **6** に進んでください。

4 **［＜］［＞］を押して ブロック書式 を選び、［実行］を押します。**

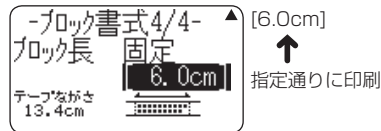
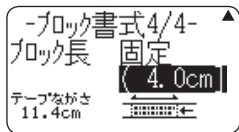
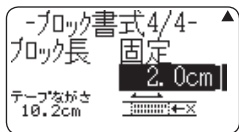
5 **［＜］［＞］を押して このブロックのみ を選び、［実行］を押します。**

・すべてのブロックを共通の書式にするときは［＜］［＞］を押して 全ブロック を選びます。

6 **［∧］［∨］を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。**

7 **［＜］［＞］を押して、「ブロック長 固定 」を選びます。**

8 **［∨］を押します。**

9 **数値キー、または［＜］（減）・［＞］（増）を押して、ブロックの長さを設定します。**
・直接数字を入力することもできます。
・ブロックの長さと入力されている文字により、次のようになります。

10 実行を押します。

イメージャー表示について

「ブロック長固定」を選ぶと、画面右上のイメージャー表示は次のようになります。

指定通りの長さで印刷できる	指定通りの長さで印刷されるが、文字は横方向に縮まる	指定の長さより長く印刷される*
[▬]	(▬]	▬]

* 文字が印刷方向に 50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

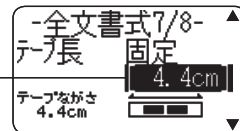
ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）

1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから 2（書式）を押します。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 **4** に進んでください。

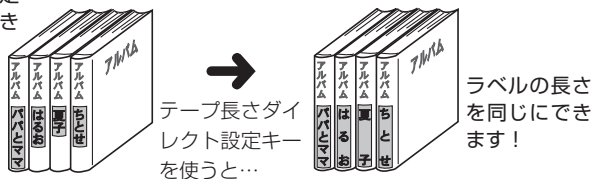
3 ＜＞を押して全文書式を選び、実行を押します。

4 ∧∨を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

5 ＜＞を押して、「テープ長 固定」を選び、∨を押します。

6 数値キーまたは＜（減）・＞（増）を押して、ラベルの長さを設定し、実行を押します。
- 直接数字を入力することもできます。
- 入力されている文字に合わない長さにすると、「長さエラー」となり、次のような表示になります。

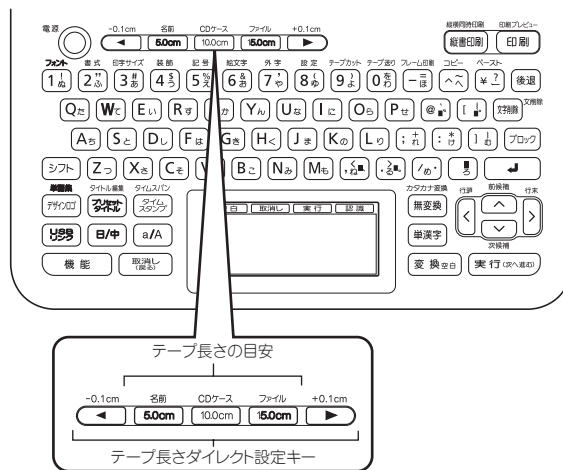
CD/ DVD のケース・ファイル用のラベルなどを簡単に設定する（テープ長さダイレクト設定キー）

テープ長さダイレクト設定キーを使えば、CD や DVD のケース、ファイル用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

長さを設定しないとき

- ブロックを使っているときは、ラベルの長さの設定は、書式の「テープ長」「ブロック長」でしてください。
  テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、設定した値よりも長くなることがあります。
- テープ長さダイレクト設定キーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、「ブロック長：固定」「文字割付：均等」「ブロック割付：均等」に設定されます（ブロック長が固定されるのは、ブロックが 1 つのときだけです）。
- フリーラベル以外では、テープ長さダイレクト設定キーは無効となります。

設定できる長さ

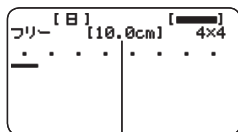
テープ長さダイレクト設定キー	適したもの
15.0cm	ペーパーファイル・バインダーなど
10.0cm	CD・DVD ケースなど
5.0cm	名前シールなど

- 1mm 単位で長さを調整することもできます。

設定する

[例] CD・DVD ケース用のラベルの長さを設定する

1 **[10.0cm] を押します。**

[+0.1cm ▶] を押すと長くなり、[−0.1cm ◀] を押すと短くなります。

・ 文字入力はラベルの長さを設定する前でも設定したあとでも構いません。

長さが 10.0cm に変わります。

文章のバランスを整える（割付）

文字や文章のバランスを整えることができます。

ブロック内で文字のバランスを整える

ブロック内での文字のバランスを選ぶことができます。

[例]　「下期」のバランスを整えます。

1 **文字を入力し、ブロックに分けます。**

・ ブロックの分け方（41 ページ）

2 **割付の対象になるブロックにカーソルを合わせ、[機能] を押し、指を離してから [書式 2] を押します。**

ここでは「下期」にカーソルを合わせます。

ブロックが 1 つだけの場合には、手順 **5** に進んでください。

3 **[<][>] を押して ブロック書式 を選び、[実行] を押します。**

4 **[<][>] を押して このブロックのみ を選び、[実行] を押します。**

5 ⌃⌄を押して「文字割付」の設定画面にします。

-ブロック書式2/4-
文字割付 左寄せ
テープながさ 9.7cm

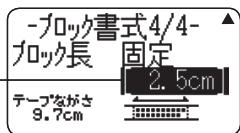
6 ＜＞を押して、割付の種類を表示させせます。

＜＞を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せと割付の種類が変わります。

7 ⌃⌄を押して、「ブロック長」を画面に表示させせます。

8 ＜＞を押して「ブロック長 固定」を選び、⌄を押します。

-ブロック書式4/4-
ブロック長 固定
2. 5cm
テープながさ 9.7cm

数値が反転します

9 数値キー、または＜（減）・＞（増）を押して、元のブロック長より長い数値にし、実行を押します。

2行以上の文章のときは、「ブロック長　自動」を選んでも、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下　　期 販促資料①

ラベル内のブロックのバランスを整える

ラベル全体に対しての、ブロックのバランスを選びます。

左寄せ	開発部 食品課 江藤まこと
均等	開発部 食品課 江藤まこと
中寄せ	開発部 食品課 江藤まこと
右寄せ	開発部 食品課 江藤まこと

重要 ブロックの割付は、「テープ長　固定」と設定されているときのみ有効です。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

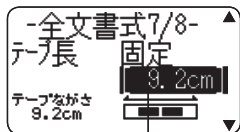
・ブロックの分け方（41 ページ）

2 機能を押し、指を離してから 2（書式）を押します。

ブロックが 1 つだけの場合には、手順 **4** に進みます。

3 ＜＞を押して全文書式を選び、実行を押します。

4 ⌃⌄を押して、「テープ長」を画面に表示させせます。

5 〈〉を押して、「テープ長 固定」を選び、∨を押します。

数値が反転します

6 数値キー、または〈（減）・〉（増）を押して、希望の数字（ラベルの長さ）にします。

元の長さより長い数値にします。

7 ∨を押して、「ブロック割付」の設定画面にします。

-全文書式8/8-
ブロック割付 左寄せ
テープながさ
12.0cm

8 〈〉を押して、希望の割付の種類を表示させ、実行を押します。

〈〉を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せと割付の種類が変わります。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです**（ジャストフィット印刷）**。
ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

●文字の大きさは、次の 2 つの方法で決めることができます。

- **文字単位で大きさを決める**
- **行単位で大きさを決める**

文字単位で大きさを決める

文字単位で「1 × 1」〜「5 × 8」倍まで自由に文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります（テープ幅と行数・倍率一覧 136 ページ）。

1 × 1

禁煙

2 × 3

禁煙

4 × 4

禁煙

5 × 6

禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。例えば、1 × 2 と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます（上の印刷例はすべて横書きで作成しています）。

1 × 2（横書き）

終日禁煙

1 × 2（縦書き）

終日禁煙

［例］　「終日禁煙」の「終日」を１×３にする

1 文字を入力します。

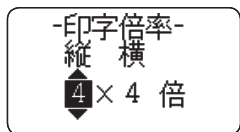
2 [機能]を押し、指を離してから[3 印字サイズ]を押します。

-印字サイズ-
印字倍率 ¼角

3 ◀▶を押して**印字倍率**を選び、[実行]を押します。

4 ◀▶を押して**文字単位**を選び、[実行]を押します。

5 縦の倍率の数値が反転表示されていることを確認します。

-印字倍率-
縦　横
4×4 倍

6 ▲▼を押して、「縦」の倍率を設定します。

ここでは縦倍率を「1」にします。

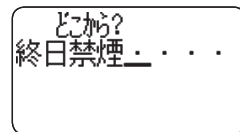
- 直接数字を入力することもできます。
- 不適当な倍率を入力しようとすると、「ピッ」とブザーがなり、入力できません。

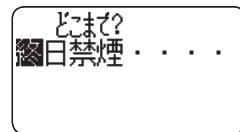
7 ▶を押して、「横」の倍率数値を反転させせます。

- 数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。

8 ▲▼を押して「横」の倍率を設定し、[実行]を押します。

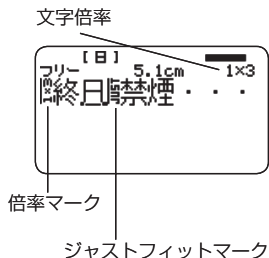
ここでは横倍率を「3」にします。

どこから?
終日禁煙_・・・

9 ◀▶を押して大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

ここでは「終」を指定します。

10 〈〉〈〉を押して大きさを変える最後の文字を選び、実行を押します。

ここでは 終日 にします。

文字倍率：カーソルが合っている文字の大きさを表します。
倍率マーク：印刷される文字の大きさを表します。

ジャストフィットマーク：
自動的に付きます。このマークより後ろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。

- 倍率マークやジャストフィットマークは画面には表示されますが、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを文字削除で削除します。
- 倍率マークを削除した場合、文字サイズはテープ幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。
  ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。
- ブロックを超えて、倍率の範囲指定をすることはできません。

行単位で大きさを決める（フォーマット選択）

行単位で文字サイズを設定するときは、下のフォーマットから選びます。

- 文章の行数とセットされているテープカートリッジの幅によっては、異なるフォーマットを選んでも印刷結果が同じになることがあります。

行数	フォーマット		24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
1 行	A		1 × 1 倍	1 × 1 倍	1 × 1 倍
	B		2 × 2 倍	2 × 2 倍	2 × 2 倍※
	C		3 × 3 倍	3 × 3 倍※	―
	D		4 × 4 倍	―	―
	E		5 × 5 倍※	―	―
2 行	A		1 × 1 倍 1 × 1 倍	―	―
	B		1 × 1 倍 2 × 2 倍	―	―
	C		2 × 2 倍 1 × 1 倍	―	―
	D		2 × 2 倍※ 2 × 2 倍※	―	―
	E		1 × 1 倍 3 × 3 倍※	―	―
	F		3 × 3 倍※ 1 × 1 倍	―	―

行数	フォーマット		24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
3 行	A		1 × 1 倍 1 × 1 倍 1 × 1 倍	—	—
	B		1 × 1 倍 1 × 1 倍 2 × 2 倍※	—	—
	C		1 × 1 倍 2 × 2 倍※ 1 × 1 倍	—	—
	D		2 × 2 倍※ 1 × 1 倍 1 × 1 倍	—	—

※フレーム印刷時は、小さくなります。

- 6mm 幅、3.5mm 幅のテープは行単位で大きさを決めることはできません。
- 4 行以上の場合は、行単位で大きさを決められません。
- 文字単位で印字サイズを設定した後では、行単位で設定できません。

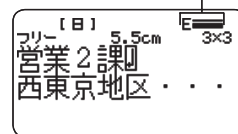
[例] 営業2課 西東京地区　1 行目：1 × 1 倍　2 行目：3 × 3 倍　（2 行・フォーマット E　18mm 幅テープ）

1 文字を入力します。

2 機能 を押し、指を離してから 3#あ（印字サイズ）を押します。

3 ＜＞を押して **印字倍率** を選び、実行 を押します。

4 ＜＞を押して **行単位** を選び、実行 を押します。

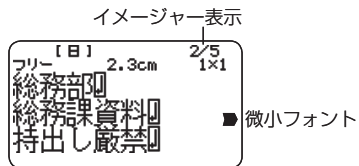
5 ∧∨＜＞を押してフォーマットを選び、実行 を押します。

選んだフォーマット

次の場合、行単位の文字サイズの設定は解除されます。
- 行数を変更したとき
- 文字単位で文字の大きさを指定したとき（51 ページ）

微小フォントについて

●行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります。

●このとき、画面右の「▶ 微小フォント」が点灯します。

●フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。

・イメージャー表示については、「2 行以上のラベルを作る」の手順 **3**（40 ページ）をご覧ください。

●微小フォントでは、次のような特徴があります。

・フォントの設定は、無効です（すべて同じフォントで印刷されます）。

・プロポーショナルの設定は、無効です（「しない」になります）。

・文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。

・絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームを付ける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームを付けることができます。フレームの一覧は 131 ページをご覧ください。

重要 3.5mm 幅テープにフレームを付けることはできません。

[印刷例]

(18mm 幅テープ/フレーム番号= 52)

1 **文字を入力します。**

2 **[機能]を押し、指を離してから[ー(フレーム印刷)]を押します。**

3 **⌃⌄〈〉を押して使うフレームを選び、[実行]を押します。**

ここでは を選びます。

4 **〈〉で 印刷 を選び、[実行]を押します。**

重要 印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。

5 **数字キー(または〈〉)を押して印刷枚数を設定し⌄を押します。**

1 ~ 100 枚まで設定できます。

6 **〈〉を押してカットモードを設定し[実行]を押します。**

印刷が開始されます。

- カットモードについて(25 ページ)
- 書式で「斜め する」と設定してあっても、フレーム付き印刷では標準で印刷されます。
- 「文字修飾」の「枠付」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅	6mm 幅
フレーム印刷できる行数	6 行以内	3 行以内	2 行以内	1 行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（21 ページ「印刷する」の手順 **1** の画面）表示中に[縦書印刷]を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷　資料ファイル

縦横同時印刷　資料ファイル｜資料ファイル

縦書き（1 枚目）、横書き（2 枚目）がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、[縦書印刷]や[機能]（縦横同時印刷）[縦書印刷]は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面（42 ページ）で「縦書き」を設定してください。

1 文字を入力します。

2 [縦書印刷]を押します。

縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、[機能]を押し、指を離してから（縦横同時印刷）[縦書印刷]を押します。

重要　印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。

3 数字キー（または〈〉）を押して印刷枚数を設定し、⌵を押します。

1 ～ 100 枚まで設定できます。

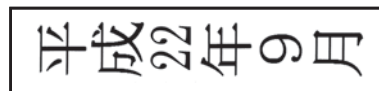
- ブロック書式（42 ページ）で、縦書きと横書きを混在した文章を作成した場合は[縦書印刷]で印刷すると、すべて縦書きになります。

4 〈〉を押してカットモードを設定し、[実行]を押します。

印刷が開始されます。

- カットモードについて（25 ページ）

■「平成 22 年 9 月」、「'10 年 9 月」などのラベルの作り方

[印刷例]

- 「22」や「'10」などは、記号一覧（128 ページ）の記号を使用すると、上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、83 ページをご覧ください。
- 現在の日付や時刻を入力するタイムスタンプ機能や、有効期限などの将来の日付や時刻を入力するタイムスパン機能を使用した場合には、そのまま縦書きで印刷するだけで上の例のようなラベルを簡単に作ることができます。
- タイムスタンプ（104 ページ）
- タイムスパン（104 ページ）

バーコードラベルを作る

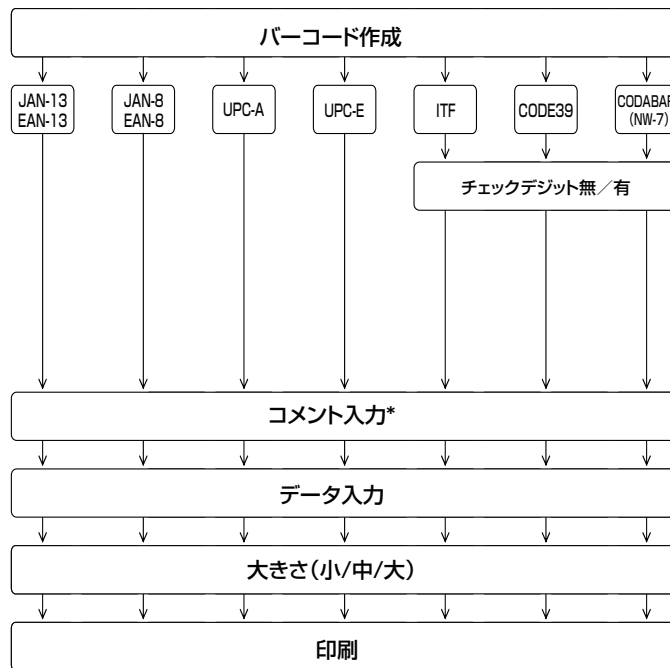
バーコードラベルを作ることができます。

バーコードのタイプ

（1） EAN 系
JAN-13（日本）/EAN-13（ヨーロッパ）
JAN-8（日本）/EAN-8（ヨーロッパ）
UPC-A（アメリカ）
UPC-E（アメリカ）
（2） ITF
（3） CODE39
（4） CODABAR(NW-7)

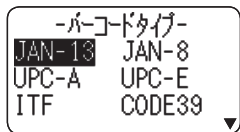
- 12mm 幅以上のテープカートリッジを使用してください。
- バーコードの上部にコメントを付けることができます（60 文字まで）。
- 印刷したバーコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
  印刷濃度を薄くする（114 ページ）
  大きく印刷する（59 ページの操作 **7** で設定）
  カットモードを「特殊テープ」または「カットしない」にする（25 ページ）
- バーコードラベルに適したテープは、次のとおりです。
  - ● 白テープに黒文字（WE）
  - ● 白テープに青文字（WEB）
  - ● 黄色テープに黒文字（YW）
  - （　）内はテープの型番です。

［印刷例］
（18mm 幅のテープカートリッジを使用）

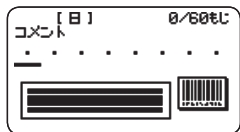
■バーコードラベル作成の流れ

＊コメントを入力しないときは、そのまま 実行 を押して次に進んでください。

1 電源を押して、電源を入れます。

2 ⌃⌄〈〉を押して「新規」を選び、実行を押します。

3 ⌃⌄〈〉を押して「バーコード」を選び、実行を押します。

4 ⌃⌄〈〉を押してバーコードのタイプを選び、実行を押します。

ここでは「JAN-13」を選びます。

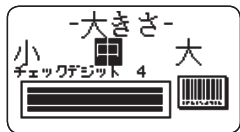
- バーコードタイプを ITF、CODE39、CODABAR としたときは、この後にチェックデジットの有無を選び、実行を押します。

5 コメント（0 ～ 60 文字）を入力し、実行を押します。

ここでは「XR-18WE」と入力します。

- コメントを入力しない場合は、そのまま実行を押します。

6 データ（12 桁の数字）を入力し、実行を押します。

ここでは「497185012319」と入力します。

- データ入力画面ではキーボードからのみの入力になります。

7 〈〉を押してバーコードラベルの大きさを選び、実行を押します。

ここでは「中」を選びます。

- 大きくするほどテープの長さは長くなります。

8 〈〉を押して印刷を選び、実行を押します。

9 数字キー（または〈〉）を押して印刷枚数を設定し、⌄を押します。

1 ～ 100 枚まで設定できます。

10 〈〉を押してカットモードを設定し、実行を押します。

印刷が開始されます。

- カットモードについて（25 ページ）
- ラベルデータを登録するときは（69 ページ）
- 「長さオーバー　印刷できません」と表示されたときは（124 ページ）

バーコードの仕様

バーコード	チェックデジット ※1	印刷される桁数 ※3	入力する桁数 ※4	自動的に付く桁数		入力文字種 ※8
					チェックデジット※1	
JAN-13 EAN-13	有	13桁	12桁	—	1桁	数字0～9
JAN-8 EAN-8	有	8桁	7桁	—	1桁	数字0～9
UPC-A	有	12桁	11桁	—	1桁	数字0～9
UPC-E	(有) ※2	6桁	6桁	—	—	数字0～9
ITF	無	4～22桁	4～22桁 偶数のみ ※5	—	—	数字0～9
	有	4～22桁	3～21桁 奇数のみ ※6	—	1桁	
CODE39	無	4～22桁	2～20桁	2桁※7	—	数字0～9 アルファベット A～Z 記号 「—」「.」「空白」「$」「/」「+」「%」
	有	4～22桁	1～19桁	2桁※7	1桁	
CODABAR (NW-7)	無	4～22桁	4～22桁	—	—	数字0～9 記号 「—」「$」「:」「/」「.」「+」 アルファベット (先頭、末尾のみ) ※9 A～D
	有	4～22桁	3～21桁	—	1桁	

※1　「チェックデジット」とは読み取り確認コードのことで、入力データより自動的に計算されます。JAN/EAN-13・JAN/EAN-8・UPC-A・ITFの“有”においては、印刷される桁数の末尾に付きます。また、CODE39の“有”・CODABARの“有”においては、印刷される桁数の末尾の1桁前に付きます。

※2　UPC-Eのチェックデジットの表示はされますが、バーコード下に数字として印刷されることはありません。

※3　バーコード下に印刷される桁数は「入力する文字数＋自動的に付く文字数」となります。

※4　この桁数に満たないときは、エラーメッセージが表示され、印刷ができません。また、この桁数以上の桁数を入力することもできません。

※5~6　ITFは印刷される桁数が偶数でなければならないので、以下のようになります。

※5 ITFのチェックデジット“無”で、入力する桁数が奇数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。

※6 ITFのチェックデジット“有”で、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。

※7　CODE39では、スタートコード（先頭）“＊”・ストップコード（末尾）“＊”が固定されます。

※8　この文字種以外の文字が含まれて入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

※9　CODABARでは、スタートコード（先頭）・ストップコード（末尾）は、“A・B・C・D”のいずれかを使用します。また、先頭もしくは末尾に“A・B・C・D”以外の文字が入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

QR コードラベルを作る

QR コードラベルを作ることができます。
QR コードとは、2 次元コードの 1 種です。携帯電話に名前、電話番号、URL などを読み取らせるなどの使い方があります。本機では株式会社 NTT ドコモの携帯電話（QR コードに対応した機種）で読み取りや登録ができる形式でラベルに印刷されます。QR コードの読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

印刷できる QR コードのタイプ

1 電話帳（NTT ドコモ電話帳登録）

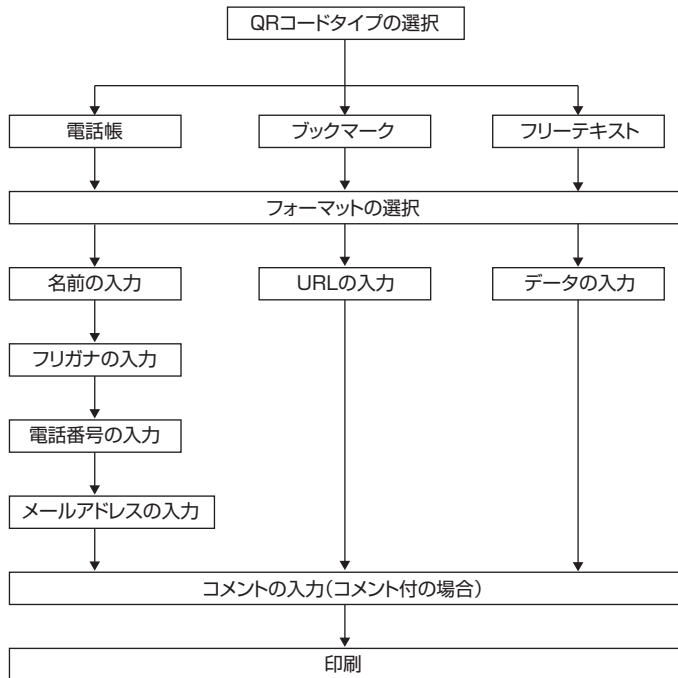
2 ブックマーク（NTT ドコモブックマーク登録）

3 フリーテキスト

- 18mm、24mm 幅のテープカートリッジを使用してください。
- 本機で印刷する QR コードはモデル 2 に対応しています。モデル 1 には対応しておりません。
- 本機で印刷するＱＲコードは誤り訂正レベルがM（15%）となります。
- 本機で印刷するＱＲコードのバージョンは 5 のみで、その他のバージョンには対応しておりません。
- 印刷した QR コードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
  印刷濃度を薄くする（114 ページ）
- QR コードラベルに適したテープは、次のとおりです。
  - ● 白テープに黒文字 (WE)
  - ● 白テープに青文字 (WEB)
    ( ) 内はテープの型番です。
- QR コードを大量に連続印刷すると、正確に読み取れない場合があります。
- ラベルを縦書きにしても、QR コードは回転しません。
- 電話帳のフリガナ項目でカタカナの濁音文字、半濁音文字は、QR コード印刷時に清音と濁点、半濁点の 2 文字に変換されます。変換後の 4 文字までが QR コードに印刷されます。
  例：「バ」 → 「ハ」「゛」
  「パ」 → 「ハ」「゜」
- 電話帳のフリガナ項目で「ゎ、ヰ、ヱ、ヵ、ヶ」は、QR コード印刷時に以下のように変換されます。
  「ゎ」 → 「ワ」
  「ヰ」 → 「イ」
  「ヱ」 → 「エ」
  「ヵ」 → 「カ」
  「ヶ」 → 「ケ」
- 入力する文字列に「¥」「：」「；」「,」がある場合、携帯電話で読み取るときの制御文字の関係で、それぞれ以下のように 2 文字に変換されて QR コードで印刷されます。
  - ● 電話帳の「フリガナ」の項目
    「¥」 → 「¥¥」
    「：」 → 「¥：」
    「；」 → 「¥；」
    「,」 → 「¥,」
  - ● 電話帳の「E-mail」の項目
    「¥」 → 「¥¥」
    「：」 → 「¥：」
    「；」 → 「¥；」
  - ● ブックマークの「URL」の項目
    「¥」 → 「¥¥」
    「：」 → 「¥：」
    「；」 → 「¥；」

上記の制御文字の関係で「QR コード印刷の詳細仕様」（62 ページ）の入力可能文字数を下回る数の文字を入力しても、すべての文字が QR コードで印刷されないことがあります。QR コードで印刷された文字だけを携帯電話で読み取ることができます。

■ QR コード印刷の詳細仕様

タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数
電話帳	1.QRのみ	なし	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
	2.データ付	4行	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
	3.コメント付	1行	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
			コメント	32
ブックマーク	1.QRのみ	なし	URL	74
	2.データ付	1行	URL	74
	3.コメント付	1行	URL	74
			コメント	32
フリーテキスト	1.QRのみ	なし	データ	52
	2.データ付	1行	データ	52
	3.コメント付	1行	データ	52
			コメント	32

■ QR コードラベル作成の流れ

・ＱＲコードラベル作成時は、入力項目により、使用できる文字に制限があります。
● 「フリガナ」「TEL」「E-mail」「URL」の各項目では、キーボードから入力できる記号が使用できます。その他の記号、絵文字、外字、中国語漢字は使用できません。
● 「名前」および「データ」の項目では、「ＱＲコード専用記号」（129 ページ）が使用できます。その他の記号、絵文字、外字、中国語漢字は使用できません。
● 「コメント」の項目では、入力できる文字に制限はありません。

・「ＱＲコード専用記号」は、以下の操作で入力します。

1. [機能]を押し、指を離してから[記号 5 % え]を押します。
2. ⌃⌄＜＞を押して入力したい記号を選び、[実行]を押します。

［例］

よろしく

上記の印刷例に沿って操作を説明します。

1 **(電源)を押して、電源を入れます。**

2 **⌃⌄＜＞を押して「新規」を選び、[実行]を押します。**

3 **⌃⌄＜＞を押して「QR コード」を選び、[実行]を押します。**

4 **⌃⌄＜＞を押して QR コードのタイプを選び、[実行]を押します。**

ここでは「電話帳」を選びます。

5 **＜＞を押してフォーマットを選び、[実行]を押します。**

ここでは「3」を選びます。

フォーマットは以下の 3 種類から選びます。
1：QR コードのみ印刷
2：QR コードと入力したデータを印刷
3：QR コードとコメントを印刷

6 **名前を入力し、[実行]を押します。**

ここでは「田中大介」を入力します。

7 **自動的に入力されたフリガナが正しいかどうか確認し、必要に応じて修正してください。正しくフリガナが入力できたら、[実行]を押します。**

ここでは「タナカダ」と表示されます。

8 **電話番号を入力し、[実行]を押します。**

ここでは「0009998888」と入力します。

9 **メールアドレスを入力し、[実行]を押します。**

ここでは「d-tnk@casio.co.jp」と入力します。

10 **コメントを入力し、[実行]を押します。**

ここでは「よろしく」と入力します。

11 ⓵⓶を押して印刷を選び、実行を押します。

12 数字キー（または⓵⓶）を押して印刷枚数を設定し、⓷を押します。

1 ～ 100 枚まで設定できます。

13 ⓵⓶を押してカットモードを設定し、実行を押します。

印刷が開始されます。

- カットモードについて（25 ページ）
- ラベルデータを登録する（69 ページ）
- 「長さオーバー　印刷できません」と表示されたときは（124 ページ）

手書きラベルを作る

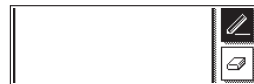
本機では、手書きパネルにタッチペンで手書きした内容を、そのままラベルにすることができます。
手書きのイメージだけを印刷するフォーマット（2 種類）と、手書きのイメージと入力した文字を組み合わせて作るフォーマット（12 種類）があります。
ここでは、手書きパネルへの文字の書き方、手書きラベルの作り方を説明します。
また、本機では、あらかじめサンプルのイメージが登録されています。

［印刷例］

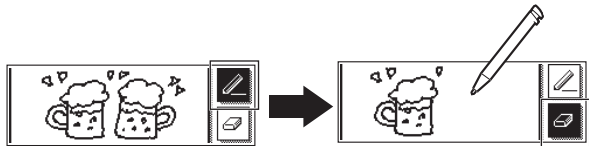
重要
- 12mm 幅以上のテープカートリッジを使用してください。

手書きパネルに文字やイラストを書く

■書く

手書きで書くことができるときは、手書きパネルが以下のようになります。紙に文字を書く感覚で、タッチペンで文字やイラストを書きます。

（反転）になっているときに書きます。
- 反転していないときは、をタッチして、反転させます。
- をタッチするたびに、ペンの太さが 2 段階で切り替わります（書いた文字やイラストの太さは変わりません）。

■消す

をタッチして反転させ、消したい部分をタッチペンでなぞります。

- （消しゴム小）をタッチするたびに、（消しゴム大）、（ゴミ箱）と切り替わります。
- イメージをすべて消したいときは、にしてから、イメージをタッチします。

手書きのイメージの登録

手書きラベルを作るには、あらかじめ手書きのイメージを作成し、登録します。
手書きのイメージは 30 件まで登録することができます。

■手書きのイメージを作成する

1 **電源を押して、電源を入れます。**

2 **∧∨＜＞を押して「新規」を選び、実行を押します。**

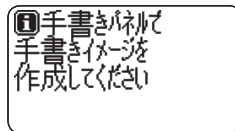
3 **∧∨＜＞を押して「手書きラベル」を選び、実行を押します。**

-手書きラベル-
イメージ編集
手書きラベル印刷

4 **∧∨を押してイメージ編集を選び、実行を押します。**

5 **＜＞を押して作成を選び、実行を押します。**

6 **手書きパネルに文字やイラストを書きます。**

- この画面で印刷を押して、印刷することもできます。

7 **実行を押します。**
「どこへ登録？」と表示されます。

8 ⌃⌄を押してイメージを登録する場所を選び、実行を押します。

「よろしいですか？」と表示されます。

• 手書きのイメージは30件まで登録できます。

9 実行を押します。

手書きのイメージが登録されます。

■手書きのイメージを修正する

1 「手書きのイメージを作成する」（65 ページ）の手順 4 までの操作をします。

2 ＜＞を押して修正を選び、実行を押します。

「どれを修正？」と表示されます。

• 画面と手書きパネルに、本機に登録されている手書きのイメージが表示されます。

3 ⌃⌄を押して修正したい手書きのイメージを選び、実行を押します。

• 手書きパネルに、選んだ手書きのイメージが表示されます。

4 手書きパネルで手書きのイメージを修正します。

• この画面で印刷を押して、印刷することもできます。

5 これ以降の操作は「手書きのイメージを作成する」（65 ページ）の手順 7 ～ 9 と同様です。

■手書きのイメージを削除する

1 「手書きのイメージを作成する」（65 ページ）の手順 4 までの操作をします。

2 ＜＞を押して削除を選び、実行を押します。

3 ⌃⌄を押して削除したい手書きのイメージを選び、実行を押します。

「よろしいですか？」と表示されます。

4 実行を押します。

選んだ手書きのイメージが削除されます。

手書きラベルの印刷

■手書きのイメージを使ってラベルを作る

手書きパネルにタッチペンで手書きした内容を、そのままラベルにすることができます。

1 「手書きのイメージを作成する」（65 ページ）の手順 3 までの操作をします。

2 **∧∨を押して手書きラベル印刷を選び、［実行］を押します。**

3 **〈〉を押してイメージのみを選び、［実行］を押します。**
フォーマットの選択画面が表示されます。

4 **〈〉を押してフォーマットを選びます。**

- フォーマットは、「フォーマット1」と「フォーマット2」があります。
- フォーマット２を選ぶと、手書きのイメージを２つつなげて印刷することができます。

5 **［実行］を押します。**
画面と手書きパネルに、登録してある手書きのイメージが表示されます。

6 **∧∨を押して印刷したい手書きのイメージを選び、［実行］を押します。**

- フォーマット２を選んでいるときは、「イメージ選択（左）」と「イメージ選択（右）」でこの操作を行います。
- 「裏書き」（43ページ）にしたいときには、〈〉を押して「する」を選びます。

7 **〈〉を押して印刷を選び、［実行］を押します。**

- 手書きのイメージをここで登録することはできません。

8 **数字キー（または〈〉）を押して印刷枚数を設定し、∨を押します。**

- 印刷枚数は、１～100枚まで設定できます。

9 **〈〉を押してカットモード設定し、［実行］を押します。**
印刷が開始されます。

- カットモードについて（25ページ）

■手書きのイメージと入力した文字を組み合わせてラベルを作る

手書きパネルにタッチペンで手書きした内容と、入力した文字を組み合わせて、ラベルを作ることができます。

1 **「手書きのイメージを使ってラベルを作る」（66ページ）の手順２までの操作をします。**

2 **〈〉〈〉を押して 文字付 を選び、 実行 を押します。**

フォーマットの選択画面が表示されます。

- フォーマットは「フォーマット1」から「フォーマット12」まであります。

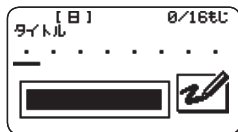
3 **〈〉〈〉を押してフォーマットを選びます。**

ここでは フォーマット1 を選びます。

4 **実行 を押します。**

画面と手書きパネルに、登録してある手書きのイメージが表示されます。

5 **〈〉〈〉を押して手書きのイメージを選び、 実行 を押します。**

文字を入力する画面が表示されます。

6 **文字を入力し、 実行 を押します。**

7 **これ以降の操作は「手書きのイメージを使ってラベルを作る」（67ページ）の手順7～9と同様です。**

作成したデータを登録することができます。

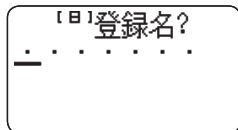
- ラベルデータを登録するときは（69ページ）

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定したり、手書きのイメージを変更することができます。
下記の設定をするには、文字入力中に 機能 を押し、指を離してから 2 を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- 手書きのイメージを変更する

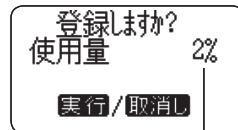
作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

データに名前を付けて登録します。

文字の入力後、[実行]を押すと右の画面が表示されます。

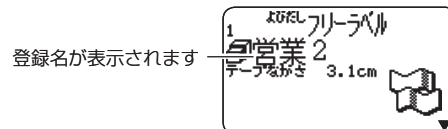
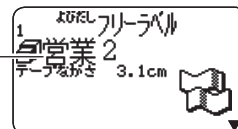
印刷　登録　終了

1 (＜)(＞)を押して**登録**を選び、[実行]を押します。

[日]登録名?

2 **登録名を入力し、[実行]を押します。**
登録名は 7 文字まで入力できます。
- 登録名はデータを呼び出すときに使います。

すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

3 **[実行]を押します。**
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

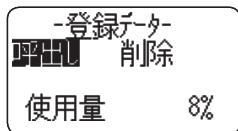
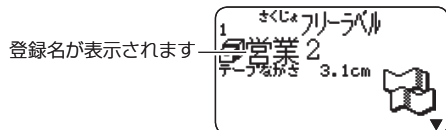
登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面（20 ページの **1** の画面）から呼び出します。

1 **(∧)(∨)(＜)(＞)を押して「登録データ」を選び、[実行]を押します。**

2 **(＜)(＞)を押して 呼出し を選び、[実行]を押します。**

3 **(∧)(∨)を押して呼び出したいデータの登録名を探し、[実行]を押します。**
データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面（20 ページの **1** の画面）から削除することができます。

1 **∧∨＜＞を押して「登録データ」を選び、[実行]を押します。**

2 **＜＞を押して 削除 を選び、[実行]を押します。**

3 **∧∨を押して削除したいデータの登録名を探し、[実行]を押します。**

「よろしいですか？」と表示されます。

4 **[実行]を押します。**

- 他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。
  引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作をやめるときは[取消し]を押します。

デザインロゴ編

ロゴ入りのラベルを印刷する（デザインロゴ）

オフィスなどの職場、工事や建設などの現場、お店などでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。
デザインロゴは、インターネットのダウンロードサイトからパソコン経由で本機に転送することもできます。ダウンロードサイトには、使用する場面に合わせたデザインロゴが用意されています。

[印刷例]

・通常印刷

・拡大印刷

デザインロゴの転送から印刷までの手順は以下のようになります。

1 ダウンロードサイトからデザインロゴをパソコンにダウンロード

▼

2 デザインロゴをパソコンから本機に転送

▼

3 本機で印刷

・本機にはあらかじめ「職場で使える分別ラベル（中国語）」「現場で使える注意ラベル（中国語）」「現場で使える注意ラベル 2（中国語）」「お店で使える案内ラベル（中国語）」の 4 種類のデザインロゴが内蔵されています。
内蔵されているデータを使って、本機だけで印刷することができます。
操作については、「デザインロゴを印刷する」(74 ページ) をご覧ください。
・本機内蔵のデザインロゴについては、デザインロゴ内蔵データ一覧（137 ページ）をご覧ください。
・デザインロゴを印刷できるのは、12mm、18mm、24mm 幅のテープです。

パソコンにデザインロゴをダウンロードする

インターネットに接続して、デザインロゴをダウンロードする操作を説明します。

・お使いのパソコンがインターネットに接続できる環境であることを確認してください。
・インターネットの接続料金、および電話料金は、お客様のご負担となります。

■パソコン側の操作

1 別紙の「はじめにお読みください」をご覧になり、デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」と KL-T100 用の「プリンタードライバー」をインストールしてください。

・事前にインストール済みのときは、上記の操作は必要ありません。

2 **Windows® の［スタート］ボタンから「すべてのプログラム(P)」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。**

- インストール時の設定によっては上記の操作と異なることがあります。

3 **［データダウンロード］をクリックします。**
ブラウザが起動し、ダウンロードサイトにアクセスします。
お使いのパソコンのブラウザの画面上にダウンロードサイト（http://casio.jp/d-stationery/nameland/designlogo/）が表示されます。

重要　（オンラインカタログ）をクリックすると、デザインロゴのブラウザが起動し、デザインロゴのデザイン一覧が確認できるカタログサイトが表示されます。こちらからデザインロゴをダウンロードすることもできます。

4 **ダウンロードしたいデザインロゴを選び、［ダウンロード］をクリックします。**

5 **「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されるので［保存(S)］をクリックします。**

6 **「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので任意のフォルダに保存します。**

重要
- ダウンロードするデザインロゴはグループ単位になります。個別にはダウンロードすることができません。
- ダウンロードしたデザインロゴは、本機でのみ使用可能です。パソコンでは使用できません。

ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する

ダウンロードしたデザインロゴのデータを本機に転送する操作と、本機にインストールされているデザインロゴの名称を確認する操作を説明します。

重要
- デザインロゴは、本機に最大 4 フォルダまでインストールすることができます。
  すでにデザインロゴがインストールされているフォルダにインストールすると、デザインロゴデータは上書きされて、古いデータは失われます。
- デザインロゴのデータを本機にあらかじめ内蔵されていたデータに戻すときは、デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」と同じフォルダに用意してある KL-T100 用データをお使いください。

■本機側の操作

1 **電源が切れていることを確認します。**
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、［電源］を押します。

2 **AC アダプター、USB ケーブルを使って、パソコンと本機を接続します。**

- 接続について詳しくは、別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください。

3 **［電源］を押して、電源を入れます。**

4 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押して「デザインロゴ」を選び、［実行］を押します。**

- 上記の操作の代わりに［デザインロゴ］を押しても同じ画面に進めます。

5 ⌃⌄を押して**データインストール**を選び、実行を押します。

6 ＜＞を押して**受信**を選び、実行を押します。
- 画面に「通信準備完了」と表示されていることを確認します。

重要
- パソコンと本機で通信をするときには、通常はUSBリンクを押しますが、デザインロゴデータをインストールするときには、USBリンクを押してもインストールできません。
必ず、上記の操作をしてください。
- データ受信中には、ACアダプターやUSBケーブルを絶対に抜かないでください。

■パソコン側の操作

1 Windows® の［スタート］ボタンから「すべてのプログラム(P)」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。
- インストール時の設定によっては、上記の操作と異なることがあります。

2 本体メモリー確認をクリックします。
本機にインストールされているデザインロゴの名称が表示されます。

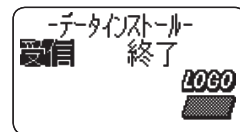
3 デザインロゴの名称を参考に、内容を更新したいフォルダの（参照）をクリックして、ダウンロードサイトからダウンロードしたデザインロゴのファイルを指定します。
- 誤ったフォルダを指定してしまった場合は、(キャンセル)をクリックすると、そのフォルダの指定を取り消すことができます。

重要
- ファイルを指定していないフォルダについては、転送しても本機にインストールされているデザインロゴの内容は変わりません。

4 転送をクリックします。

5 確認ダイアログで「はい（Y）」をクリックして本機にデザインロゴを転送します。

■本機側の操作

1 通信が正常に終了した場合には「通信完了」が表示され右の画面に戻ります。

2 ＜＞を押して**終了**を選び、実行を2回押します。
- これで、転送したデザインロゴを使用することができます。

デザインロゴを印刷する

デザインロゴの印刷は、すべて本機側の操作です。

1 **電源を押して、電源を入れます。**

2 **∧∨＜＞を押して「デザインロゴ」を選び、実行を押します。**

- 上記の操作の代わりにデザインロゴを押しても同じ画面に進めます。

3 **∧∨を押してフォルダを選び、実行を押します。**

4 **∧∨でデータを選びます。**

- デザインロゴ内蔵データ一覧（137ページ）や、オンラインカタログ（http://casio.jp/d-stationery/nameland/designlogo/catalog/01.html）で番号を確認し、数字キーで番号を入力して選択することもできます。

5 **機能を押し、指を離してから印刷（印刷プレビュー）を押すと、選択しているロゴのデザインを確認することができます。**

- このとき表示されるのは「大きさ　1段（中)」で印刷した場合のデザインです。

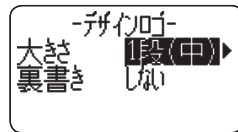
6 **じっくりと見たい部分が流れてきたら、実行を押して画面を停止させます。**

実行を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- 画面が停止しているときに、＜または＞を押すと、コマ送りすることができます。
- プレビュー表示を中止するときは、取消しを押します。

7 **実行を押します。**

8 **＜＞を押して、印刷する大きさを選びます。**

- １枚のテープに印刷する通常印刷と、何枚かのテープに分けて印刷したラベルを貼り合わせ、大きなデザインロゴを作る拡大印刷が選べます。
  通常印刷をする場合には「１段」を選びます。
- 「通常印刷」は、横方向の大きさを「小」「中」「大」の３種類から選べます。
- 拡大印刷は「拡大２段」､「拡大３段」､「拡大４段」から選べます。２段とは「２枚のテープに分けて印刷する」という意味です。
- 印刷したときのデザインロゴの大きさは75ページのとおりです。
- 「裏書き」にしたいときには、∨を押して、＜＞で**する**を選びます。

9 [実行]を押します。

10 〈〉を押して**印刷**を選び、[実行]を押します。

11 ︿﹀〈〉で印刷枚数、カットモードを指定します。
拡大印刷を選んだ場合は印刷枚数の代わりに「全部」「1 段目」などから印刷する項目を選びます。
• カットモードについて（25 ページ）

12 [実行]を押します。
• 印刷が開始されます。

本機内蔵のデザインロゴにおける印刷時の大きさ

（サイズはいずれも 縦 × 横 で記載）

		24mm ／ 18mm 幅			12mm 幅			9mm 幅以下	備考
		倍率（%）		データの大きさ	倍率（%）		データの大きさ		
		縦	横		縦	横			
通常 1 段	小	100	75	16 × 54mm	62.5	50	10 × 36mm	（不可）	
	中	100	100	16 × 72mm	62.5	62.5	10 × 45mm	（不可）	
	大	100	150	16 × 108mm	62.5	75	10 × 54mm	（不可）	
拡大 2 段		200	200	32 × 144mm	125	125	20 × 90mm	（不可）	通常 1 段（中）× 2 倍
拡大 3 段		300	300	48 × 216mm	187.5	187.5	30 × 135mm	（不可）	通常 1 段（中）× 3 倍
拡大 4 段		400	400	64 × 288mm	250	250	40 × 180mm	（不可）	通常 1 段（中）× 4 倍

• 18mm、24mm 幅テープで拡大印刷すると、テープの上下に余白ができます。余白部分をカットしてから並べて貼ってください。
「透明テープ」をお使いになると、余白部分をカットしなくても重ねて貼ることができます。

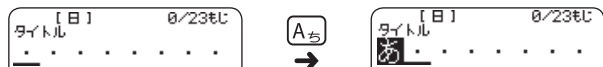
入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、装飾の指定や外字の作り方についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している＿を**カーソル**といいます。
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。

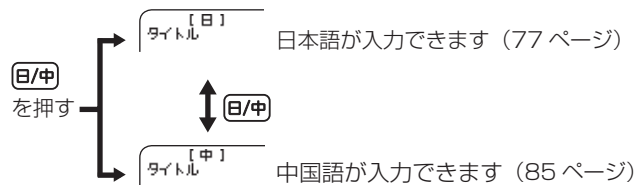
[日] 0/23もじ タイトル → Aち → [日] 0/23もじ タイトル あ

キー	動作	キー	動作
＜	左にカーソルが移動する	∧	上にカーソルが移動する
＞	右にカーソルが移動する	∨	下にカーソルが移動する
機能を押し、指を離してから 行頭 ＜を押す	行の先頭（行頭）にカーソルが移動する	機能を押し、指を離してから 行末 ＞を押す	行の最後（行末）にカーソルが移動する
機能を押し、指を離してから ∧を押す	文の先頭（全文頭）にカーソルが移動する※	機能を押し、指を離してから ∨を押す	文の最後（全文末）にカーソルが移動する※

※フリーラベルでのみ有効です。

スクロールとは
画面にかくれている文字を見るためには、＜＞を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。
（＜＞を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。）

日本語入力？それとも中国語入力？

キーを押したり、手書きパネルに書いて文字を画面に表示させることを、**入力**といいます。
本機では、日本語と中国語で文字を入力することができます。
電源を入れた後は、日本語入力の状態になっています。
なお、ここでは、キーボードを使って文字を入力する方法を説明します。
手書きパネルを使って手書きで文字を入力する方法については、88ページをご覧ください。

日本語入力と中国語入力を切り替える

ローマ字入力？それともかな入力？

日本語の文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

- **ローマ字入力とは…**
  アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。
- **かな入力とは…**
  直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り替える

1 **[機能]を押し、指を離してから[8ゆ](設定)を押します。**

2 **[▲][▼]を押して日本語入力を選び、[実行]を押します。**

3 **[▲][▼]を押してローマ字入力またはかな入力を選び、[実行]を押します。**

- 「中」「a」「A」 が画面左上に表示されているときは、まず[日/中]を押して、「日」を表示させます。

ひらがな・カタカナの入力

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

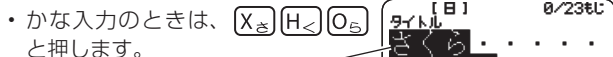
［例］ さくら

1 **[日/中]を何回か押して、画面左上に「日」を表示させます。**

［ 日 ］

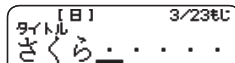
2 **[Sと][Aち][Kの][Uな][Rす][Aち]と押します。**

- かな入力のときは、[Xさ][Hく][Oら]と押します。

［日］ 0/23もじ
タイトル
さくら_・・・・・

ひらがなを入力している最中は、■が文字に重なっています

3 **[無変換]または[実行]を押します。**

「さくら」が確定します。

［日］ 3/23もじ
タイトル
さくら_・・・・・

- 「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

カタカナを入力する場合は、ひらがなで文字を入力してカタカナに変換します（カタカナ変換）。

［例］　サクラ

1 **日/中を何回か押して、画面左上に「日」を表示させます。**

［日］

2 **S A K U R A と押します。**

・かな入力のときは、X H O と押します。

［日］ 0/23もじ
タイトル
さくら

ひらがなを入力している最中は、
■■ が文字に重なっています

3 **機能を押し、指を離してから無変換（カタカナ変換）を押します。**

さくらが「サクラ」に変換されます。

［日］ 3/23もじ
タイトル
サクラ

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	I T T A	E シフト Z Q *
拗音	きょう	K Y O U	G シフト 9 4 *
濁音	ぼく	B O K U	ー @ H
半濁音	ぱぱ	P A P A	F [F [
句点	。	.	シフト .
読点	、	,	シフト ,
長音	ー	¥	¥
中点	・	シフト /	シフト /
を		W O	シフト 0
ん		N N	Y
ヴ		V U	4 機能 無変換（カタカナ変換） @
ァ		X K A または K シフト A	シフト T
ヶ		X K E または K シフト E	シフト :
空　白		変換 空白	変換 空白

＊ シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと小文字（促音・拗音）になりますが、「っゃゅょぁぃぅ」など促音・拗音にすることができる文字に限ります。

・ ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」（127 ページ）をご覧ください。

入力・編集編　ひらがな・カタカナの入力

- ，（カンマ）．（ピリオド）の入力方法については、82 ページをご覧ください。
- ひらがなやカタカナは、[機能]を押し、指を離してから[記号 5 % え]を押して「ひらがな」や「カタカナ」の分類から選択して入力することもできます（83 ページ）。

日本語の漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します（例：「花」→「はな」）。
ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、[実行]を押して、他の文字に変わらないように**確定**します。

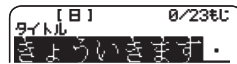
ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- **文章を入力してから変換する**
- **漢字 1 文字分ずつ変換する**（当て字や難しい固有名詞などの変換）

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
よく使う語句を辞書に登録しておくこともできます。（108 ページ）
まとめて変換できる文字数は、32 文字までです。

［例］　今日行きます

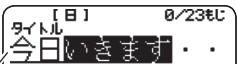
1 「きょういきます」をひらがなで入力します。

2 [変換]を押します。

「きょういき」と「ます」という 2 つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。

- 前回使った漢字が最初に表示されます（学習機能）

「境域」に下線が付いています

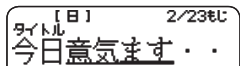
3 [＜]を 2 回押します。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

「今日」に変換されます

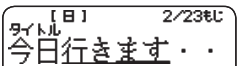
4 **実行 を押します。**

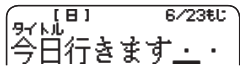
「今日」が確定されます。
「いき」と「ます」という 2 つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます。

5 **〉を 2 回押します。**

「いき·ます」を「いきます」という言葉にするためです。

6 **変換 を何回か押して、「行きます」にします。**

変換 を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉（同音異義語）が次々と表示されます。

- ︿を押すと、 1 つ前の漢字が表示されます（前候補）。
- ﹀を押すと、次の漢字が表示されます（次候補）。

7 **「行きます」が表示されたら、 実行 を押します。**

「行きます」が確定されます。

カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときに付く下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに 取消し を押すと、「よみ」の状態に戻ります。

例 きょう →(変換) 今日 →(取消し) きょう

「よみ」を入れて 変換 を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。

漢字 1 文字ずつ変換する（単漢字変換）

当て字や難しい固有名詞などを変換するときは、 1 字ずつ目的の漢字に変換します。

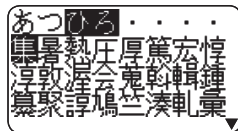
［例］ 敦廣（あつひろ）

1 **「あつひろ」をひらがなで入力します。**

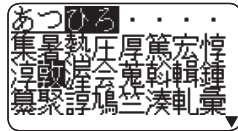
2 **変換 を何回か押します。**

何回押しても、「敦廣」に変換されません。

3 **単漢字 を押します。**

- もう一度 単漢字 を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。もう一度 単漢字 を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。

「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 **︿﹀〈〉を押して、 敦 にします。**

5 [実行]を押します。

「敦」が確定されます。

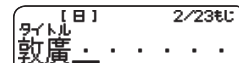
```
 [日]      1/23もじ
タイトル
敦広・・・・・・
```
「広」に下線が付きます

6 [変換]を何回か押して、「廣」にします。

- [単漢字]を押して「廣」を探すこともできます。

7 「廣」になっていることを確かめて、[実行]を押します。

「廣」が確定されます。

```
 [日]      2/23もじ
タイトル
敦廣・・・・・・・
```

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- 「週（しゅう）」を「しゆう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している
- 「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
- 「社食（しゃしょく）」「道交法（どうこうほう）」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- 「ぁ」「ぃ」「ぅ」「ぇ」「ぉ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音
- 「っ」の促音
- 「ず」と「づ」
- 「じ」と「ぢ」
- 「お」と「う」

アルファベット・数字・記号・絵文字の入力

アルファベット、数字、記号、絵文字の入れ方を説明します。

アルファベットの入力

［例］　A K I

1 **a/Aを何回か押して、画面の左上に「a」または「A」を表示させせます。**

a：小文字を入力するとき
A：大文字を入力するとき

［A］

2 **Aち Kの Iにと押します。**

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。

• 句読点（、）（。）やカンマ（，）ピリオド（．）を入力するには

記号＼入力モード		日本語入力		中国語入力	英語入力
		ローマ字入力	かな入力		
読点	、	，ね	シフト ，ね	シフト ，ね	—
句点	。	．る	シフト ．る	シフト ．る	—
カンマ	，	—	—	，ね	，ね
ピリオド	．	—	—	．る	．る

• 大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには

「A」表示のとき……シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

例　TAKESHI's

「a」表示のとき……シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例　English

数字の入力

［例］　１２３

■かな入力のとき

1 **a/Aを押して、画面の左上に「ａ」または「Ａ」を表示させます。**
・ローマ字入力のときは、手順１の操作は不要です。

2 **1 2 3 と押します。**

記号（キーに印刷されているもの）の入力

② キーの右上に印刷された記号

① キーの左に印刷された記号

① ：＊けを押すと → 「：」が入ります。

② シフトを押し、指を離してから：＊けを押すと → 「＊」が入ります。

かな入力のときは、a/Aを押して、画面の左上に「ａ」または「Ａ」を表示させてから入力します。

記号（その他の記号）の入力

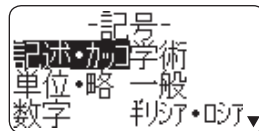
など

記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」「ひらがな」「カタカナ」「診療科目」の９個のグループに分かれています。128ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。ＱＲコード（61 ページ）の一部の入力項目では、「ＱＲコード専用記号」が使用できます。

［例］　☎　（グループ＝単位・略）

1 **機能を押し、指を離してから5（記号）を押します。**

記号のグループ名

-記号-
記述・カッコ　学術
単位・略　一般
数字　ギリシア・ロシア

2 **∧∨＜＞を押して単位・略を選び、実行を押します。**

3 **∧∨＜＞を押して☎を選び、実行を押します。**

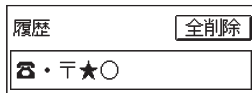
■手書きパネルの履歴を使って記号を入力する

手書きパネルに前回使用した記号が表示されます。使いたい記号をタッチして、入力することもできます。

1 **[機能]を押し、指を離してから[5 % え]（記号）を押します。**

手書きパネルに前回使用した記号が表示されます。

履歴　全削除

☎・〒★○

2 **手書きパネルの入力したい記号をタッチします。**

ここでは「★」をタッチします。

- 画面に「★」が表示されます。
- 手書きパネルの「全削除」をタッチすると履歴が削除されます。

絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は 21 のグループに分かれています。
129 ～ 130 ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。
また、文字体の指定は無効です。

[例] 　（グループ＝食べ物）

1 **[機能]を押し、指を離してから[6 & お]（絵文字）を押します。**

-絵文字-
オフィス　スケジュール
天気　注意
案内　店

絵文字のグループ名

2 **[∧][∨][＜][＞]を押して食べ物を選び、[実行]を押します。**

3 **[∧][∨][＜][＞]を押して絵文字を選び、[実行]を押します。**

■手書きパネルの履歴を使って絵文字を入力する

手書きパネルに前回使用した絵文字が表示されます。使いたい絵文字をタッチして、入力することもできます。

1 **[機能]を押し、指を離してから[6 絵文字]を押します。**

手書きパネルに前回使用した絵文字が表示されます。

履歴　全削除

2 **手書きパネルの入力したい絵文字をタッチします。**

ここでは「🍎」をタッチします。

- 画面に「🍎」が表示されます。
- 手書きパネルの「全削除」をタッチすると履歴が削除されます。

中国語の入力

ここでは、中国語の入力方法について説明します。
電源を入れた後は、日本語入力の状態になっています。
本機では、中国語を入力する方法は、次の２種類があります。

- キーボードを使ってピンインを入力する
- 手書きパネルを使って入力する（88 ページ）

中国語について

中国語では、音節をピンインで表します。音節には、a、o、e、i、er、ai、ei、ao、ou、an、en、ang、eng、ong などがあり、アルファベットで記述されます。 キーボードで入力するときは、ピンインに従いアルファベットを入力します。

- “ü”は「v」と入力してください。

各音節には、４種類の高低のアクセント（四声）と軽声があります。

本機では、音節のアルファベットの後に該当するキー（[1]～[4]、[0]）を押して、四声や軽声を指定することで、中国語の候補を絞り込むこともできます（四声や軽声を入力しなくても中国語を入力することができます）。

四声／軽声	記号	キー
第一声	ー	[1]
第二声	ˊ	[2]
第三声	ˇ	[3]
第四声	ˋ	[4]
軽声	●	[0]

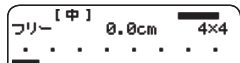
- 実際のキーボードには、"ー"、"ˊ"、"ˇ"、"ˋ"、"●" は印刷されていません。
- 四声や軽声は、手書きパネルを使って入力することもできます（86 ページ）。

ピンイン（アルファベット）から漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら[実行]を押して、他の文字に変わらないように**確定**します。

ピンインを入力する

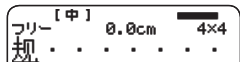
ピンインで中国語を入力します。

［例］ 規划

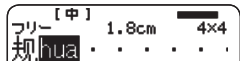
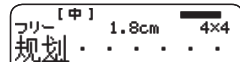
1 **[日/中]を何回か押して、画面左上に「中」を表示させます。**

2 **[G][U][I]と入力します。**

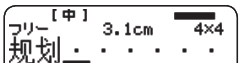
・間違ったピンインを入力した場合は[後退]を押して文字を消してから入力し直してください。

3 **[変換]を何回か押して、「规」にします。**

・下線がついている時に[取消し]を押すと、ピンイン（アルファベット）の状態に戻ります。

4 **[実行]を押します。**

「规」が確定されます。

5 **[H][U][A]と入力します。**

6 **[変換]を何回か押して、「划」にします。**

7 **[実行]を押します。**

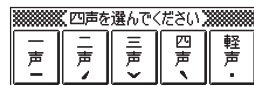
「划」が確定されます。

ピンインを入力して四声や軽声で絞り込む

ピンインで中国語を入力し、四声や軽声を指定して、変換する漢字を絞り込みます。
入力したい中国語の四声や軽声がわかっている場合に便利です。

［例］ 规划
（规：第一声、划：第四声）

1 **[日/中]を何回か押して、画面左上に「中」を表示させます。**

2 **[G][U][I]と入力します。**

ピンインを入力した状態では、手書きパネルはこのようになります。

3 **[1]を押します。**

変換される漢字が「第一声」に絞り込まれます。

・[1]の代わりに手書きパネルの【一声】をタッチして絞り込むこともできます。

4 **[変換]を何回か押して、「规」にします。**

5 **[実行]を押します。**

「规」が確定されます。

6 **H U A と入力します。**

7 **4 を押します。**
変換される漢字が「第四声」に絞り込まれます。

8 **変換 を何回か押して、「划」にします。**

9 **実行 を押します。**
「划」が確定されます。

漢字一文字分ずつ変換して入力する

日本語の単漢字変換のように、漢字を一字ずつ目的の漢字に変換することができます。

[例]　规划

1 **日/中 を何回か押して、画面左上に「中」を表示させます。**

2 **G U I と入力します。**

3 **単漢字 を押します。**

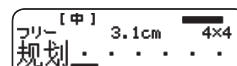
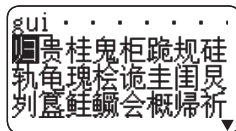
gui
归贵桂鬼柜跪规硅
轨龟瑰桧诡圭闺炅
刿簋鲑鳜会概帰祈

4 **⌃⌄＜＞を押して「规」にします。**

5 **実行 を押します。**
「规」が確定されます。

6 **H U A と入力します。**

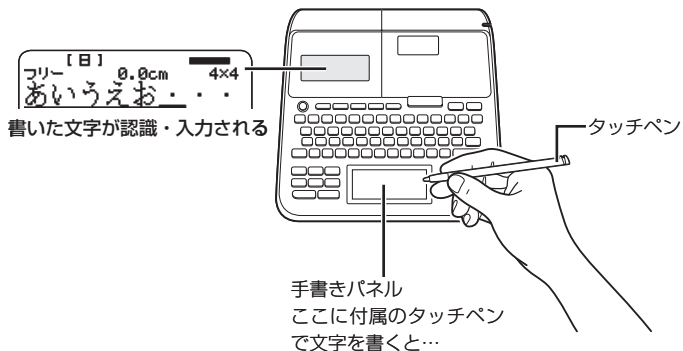
7 **変換 を何回か押して、「划」にします。**
- 単漢字 を押して「划」を探すこともできます。

8 **「划」になっていることを確かめて、実行 を押します。**
「划」が確定されます。

- 「，（逗号）」「。（句号）」の入力方法については、82ページをご覧ください。
- 中国語入力のときに入力した数字や記号は、「和文フォント」または「かな・英数フォント」の指定に従います。
- 中国語漢字は、日本語漢字やアルファベット、数字などの他の文字に比べて、細めの文字になっています。そのため、混在させた場合に、バランスが不釣り合いになることがあります。

手書きパネルを使って文字を入力する

手書きパネルを使って文字を入力することができます。キーボードからは入力できない漢字も直接入力できます。
手書きパネルには、付属のタッチペンを使って文字を書き込みます。
• タッチするときは、力を入れる必要はありません。

手書き入力できる文字の種類

• 日本語漢字
• ひらがな、カタカナ
• 中国語漢字
• アルファベット（A～Z、a～z）
• 数字（0～9）
• 長音
• 記号の一部（、。，．・？！／＼～'（）－￥％＆＠）

手書き入力ができるとき

手書きパネルに文字を書き入れるマスが表示されます。

お使いの機能や入力モードにより、認識できる文字が異なります。

表示	認識対象								
	日本語漢字	ひらがな	カタカナ	中国語漢字	アルファベット（小文字）	アルファベット（大文字）	数字	長音	記号の一部
[日]	●	●	●	－	－	－	●	●	●
[あ]※	－	●	－	－	－	－	－	●	－
[ア]※	－	－	●	－	－	－	●	●	－
[中]	－	－	－	●	－	－	●	－	●
[a]	－	－	－	－	●	－	●	－	●
[A]	－	－	－	－	－	●	●	－	●
[1]※	－	－	－	－	－	－	●	－	－

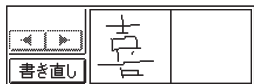
※一部の機能でのみ有効な入力の状態です。

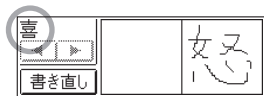
・入力モードを切り替える場合は、76、82 ページをご覧ください。
・ＱＲコードラベル作成時には、「名前」「データ」および「コメント」の入力時を除き、記号の認識はできません。
・バーコードのデータ作成時には、手書きパネルからの入力はできません。

ペン入力の基本

手書き入力できる状態になったときは、手書きパネルにマスが表示されます。マスすべてを使って、次々に文字を書いていきます。

1 手書きパネルの空いているマスに字を書きます。

・マスの順番は決まっていません。どのマスに書いても、書いた順に文字を認識します。
・【書き直し】をタッチすると書いた文字が消えます。

2 続けて、手書きパネルの空いている別のマスに字を書きます。

・字を書き始めると最初に書いた文字が認識、入力されます。

・正しく認識されていない字があるときは（90 ページ）

3 さらに、空いている別のマスに字を書きます。

・２番目に書いた文字が認識、入力されます。

4 空いているマスに順番に字を書く操作を続け、希望のことばを入力し終わったら、手書きパネルの【認識】をタッチします。

・一文字一文字、正しく認識されたか確認して入力するときは、一文字書くごとに、【認識】をタッチします。

・二桁の数字を入力するときは、マス内に一桁ずつ手書きしてください。
・手書きで字を書くと、何もしなくても約１秒後に自動的に認識されるようにすることもできます。（113 ページ）
・５文字以上入力すると文字が隠れます。その場合は、手書きパネルの ◀ や ▶ をタッチして入力した文字を確認することができます。
・手書き中に本機のキーを押すと、認識していない文字は消えてしまいます。

5 認識された文字を確認し、確定させるために【実行】をタッチします。

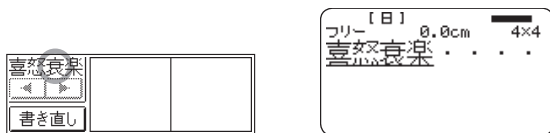
【実行】をタッチする代わりに、実行を押しても確定します。

・確定させないでまとめて入力できる文字数は、３２文字までです。「文字数オーバー　文字を確定してください」と表示されたときは一度確定させてから入力してください。
・中国語漢字は、GB18030-2000 に準拠の字が認識されます。
・ピンインを手書きで入力することはできません。

間違って認識された文字を訂正する

「あ」と書いたのに、画面には「お」と表示された、など、正しく認識されなかったときは、以下のように訂正します。

- 一度確定した文字は、認識を訂正することはできません。誤った文字を入力したときは、文字削除（91 ページ）や後退（91 ページ）を押して、文字を消してから、正しく文字を入力してください。

［例］「喜怒哀楽」と書いたのに「喜怒衰楽」と間違って認識された

1 手書きパネルで､間違って認識された字（ここでは｢衰｣）をタッチします。

- 手書きパネルに、文字の候補（10 文字まで）が表示されます。
- 正しい字が見つからない場合は、手書きパネルの【書き直し】をタッチします。画面の、間違って認識された文字が削除されるので、もう一度手書きで書き直してください。

2 正しい字（ここでは「哀」）をタッチします。

- 「衰」が「哀」になります。

3 訂正が終わったら､確定させるために【実行】をタッチします。

【実行】をタッチする代わりに、実行を押しても確定します。

手書き入力のワンポイント

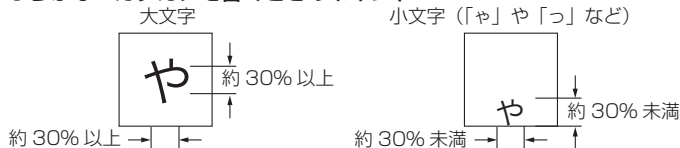
手書きで入力した文字の認識率を上げるためのポイントを紹介します。

- 良い例
- 続け字にならないように
- 楷書で丁寧に書く

- 文字を傾けない
- 枠からはみ出さない範囲で、できるだけ大きく書く

- 点を打つときは、少し長め（2 ドット分以上）に書く（1 ドット分では認識されません）

- 正しい書き順で書く
- 漢字は漢字で書く（かな漢字変換機能はありません）

ひらがな・カタカナを書くときのポイント

- **枠に対して縦横とも 30%未満の大きさで書く**
- **枠の下側に書く**

よく似た文字の認識について

- **タ（ゆう）＝タ／エ（こう）＝エ／力（ちから）＝カ／口（くち）＝ロ**など、よく似た漢字とカタカナは、漢字の表示が優先されます。ただし、画面の一つ前の文字がカタカナのときは、カタカナ表示が優先されます。
- **へ＝ヘ／り＝リ**など、よく似たひらがなとカタカナは、ひらがなの表示が優先されます。ただし、画面の一つ前の文字がカタカナのときは、カタカナの表示が優先されます。

英数字の書きかた

A	B	C	D	E	F	G	H	I
J	K	L	M	N	O	P	Q	R
S	T	U	V	W	X	Y	Z	

a	b	c	d	e	f	g	h	i
j	k	l	m	n	o	p	q	r
s	t	u	v	w	x	y	z	

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

文字を修正・削除するときは

文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

文字を１文字ずつ消す

■カーソルの上の文字を消す

[例] 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1 **〈〉を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。**

[日] 5/23もじ
タイトル
フファイル・・・

2 **[文字削除]を押します。**

「ファイル」になります。

[日] 4/23もじ
タイトル
ファイル・・・・

■カーソルの前の文字を消す

[例] 「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

1 **消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。**

[日] 5/23もじ
タイトル
ファイルル・・・

2 **[後退]を押します。**

「ファイル」になります。

[日] 4/23もじ
タイトル
ファイル・・・・

すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **[機能]を押し、指を離してから[文字削除]（文削除）を押します。**

「削除しますか？」と表示されます。

- 文削除をやめるときは、[取消し]を押します。
  フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで[実行]を押します。

2 **[実行]を押します。**

- 画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す（フリーラベルのみ）

消したい部分のはじめと終わりを指定して消す方法です。

[例]　「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 **[機能]を押し、指を離してから[文字削除]（文削除）を押します。**

2 **[＜][＞]を押して部分削除を選び、[実行]を押します。**

操作をやめるときは[取消し]を押します。

どこから?
あおきおさむ・・

3 **[∧][∨][＜][＞]を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。**

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。

どこまで?
あおきおさむ・・

4 **[∧][∨][＜][＞]を押して消したい部分の最後の文字を指定し、[実行]を押します。**

ここではあおきにします。

間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

■「上書き」にするとき

1 **[機能]を押し、指を離してから[8]（設定）を押します。**

2 **[∧][∨]を押して挿入／上書きを選び、[実行]を押します。**

3 **[＜][＞]を押して上書きを選び、[実行]を押します。**

- 「挿入」を選んで[実行]を押すと、「挿入」状態に戻ります。

■間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）

[例]　「フェイル」を「ファイル」に直す

1 **〈〉を押して「ェ」にカーソルを合わせます。**

[日] 4/23もじ
タイトル
フェイル・・・・

2 **文字削除を押します。**

「ェ」が削除され、「イ」が「ェ」の位置に移動します。

3 **「ァ」を入力します。**

・「ァ」はシフトを押し、指を離してからAちを押して入力します。

[日] 4/23もじ
タイトル
ファイル・・・・

「ァ」が「イ」の前に入力されます

■間違った文字の上に正しい文字を入力する（「上書き」状態）

1 **〈〉を押して「ェ」にカーソルを合わせます。**

日 4/23もじ
タイトル
フェイル・・・・

2 **「ァ」を入力します。**

「ェ」が「ァ」になります

日 4/23もじ
タイトル
ファイル・・・・

確定前に文字を直したり消したりするには…
ふぇいるなど、文字に　　　　が重なっているとき（確定前）に文字を消したり直したりするときも確定後の文字と同じ操作で行います。
ただし、取消しを押すと、　　　　が重なっている文字が全部消えます。

確定➔80、86 ページ

「上書き」で文字を直すときは
直す文字数に注意してください。直す文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

書体（フォント）を変える

入力済みの文字の形（書体）を、和文３書体・かな８書体・英数 12 書体の中から選ぶことができます。
中国語漢字は１書体（宋体）のみのため、選ぶことはできません。
また、電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明します。

■和文書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
危険	危険	危険

■かな書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
あア	あア	あア
手書き	ボンジュール	メロディ
あア	あア	あア
パレット	プロデュース	
あア	あア	

■英数書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
A2	A2	A2
手書き	ボンジュール	メロディ
A2	A2	A2
パレット	プロデュース	ステンシル
A2	A2	A2
ポップ	ボールドスクリプト	ブラックレター
A2	A2	A2

■中国語漢字書体

宋体
危险

- メモリーリセット後は、「和文フォント：明朝体」「かな・英数フォント：和文と同じ」に設定されています。

・かな書体は、次の文字が指定の対象になります。
　・アルファベット（A～Z　a～z）
　・数字（１２３４５６７８９０）
　・ひらがな（あ～ん）
　・カタカナ（ア～ン、ヴ、ヵ、ヶ）
　・記号の一部（、。，．？！長音ー～（）¥%スペース）
・英数書体は、次の文字が指定の対象になります。
　・アルファベット（A～Z　a～z）
　・数字（１２３４５６７８９０）
　・記号の一部（，．？！ー～（　）¥%スペース）

重要　かな・英数フォントの指定で、ステンシル／ポップ／ボールドスクリプト／ブラックレターを選んだ場合には、ひらがな、カタカナは和文フォントの指定と同じフォントになります。

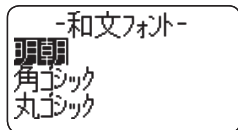
入力済みの文字の書体を変える

［例］ヒーリングMUSIC集

（「ヒーリング」「集」を角ゴシック体に、「MUSIC」をボールドスクリプトにする）

1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから1（フォント）を押します。

-和文フォント-
明朝
角ゴシック
丸ゴシック

3 ⌃⌄を押して角ゴシックを選び、実行を押します。

（和文の書体の種類を選びます。）

4 ⌃⌄を押して A ボールドスクリプト を選び、実行を押します。

（かな・英数の書体の種類を選びます。）

5 ⌃⌄＜＞を押して設定の範囲を選び、実行を押します。

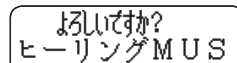
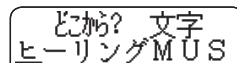
・全文：フォーマット単位で設定されます。
・ブロック：ブロック単位で設定されます。
・行：項目単位で設定されます。
・文字：文字単位で設定されます。

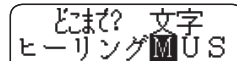
・フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、実行を押します。設定後、文字入力の画面に戻ります。

よろしいですか?
ヒーリングMUS

フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順**6**、**7**で範囲を指定します。

どこから?　文字
ヒーリングMUS

6 ⌃⌄＜＞を押して書体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

どこまで?　文字
ヒーリングMUS

7 ⌃⌄＜＞を押して、書体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

設定後、文字入力の画面に戻ります。

電源を入れたときの書体を決める

1 機能を押し、指を離してから設定（8）を押します。

2 ⌃⌄を押して初期フォントを選び、実行を押します。

3 ⌃⌄を押して和文フォントを選び、実行を押します。

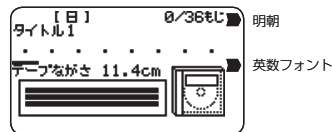
4 ⌃⌄を押してかな・英数フォントを選び、実行を押します。

5 電源を押して一度電源を切り、再び電源を押して電源を入れます。

6 文字入力の画面を表示させます。

文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

● 「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について

入力中の文字の書体を▶で示します。

- かな・英数フォントの指定で「和文と同じ」を選んだ場合には、▶は1つだけ点灯します。
- かな・英数フォントの指定で、「手書き／ボンジュール／メロディ／パレット／プロデュース」を選んだ場合には、▶は3つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち1つと、「かなフォント」、「英数フォント」が点灯します）。
- かな・英数フォントの指定で、「ステンシル／ポップ／ボールドスクリプト／ブラックレター」を選んだ場合には、▶は2つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち1つと、「英数フォント」が点灯します）。このとき、ひらがな、カタカナは和文フォントで指定したフォントになります。
- 中国語入力のときに入力した数字や記号は、「和文フォント」または「かな・英数フォント」の指定に従います。
- 中国語漢字は、日本語漢字・アルファベット・数字など他の文字に比べて細めの文字になっています。そのため、混在させた場合、バランスが不釣り合いになることがあります。
- 英数書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

文字を上付・下付にする

文字を 1/4 の大きさにして、上に寄せたり（上付）下に寄せたり（下付）することができます。

上付　議事録※1

下付　167センチ

•「インデックスラベル」、「拡大印刷」では、上付、下付には変更できません。

重要　ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号の一部が対象になります。

[例]　167センチ　（下付）

1 **文字を入力します。**

2 **[機能]を押し、指を離してから[3 #あ]（印字サイズ）を押します。**

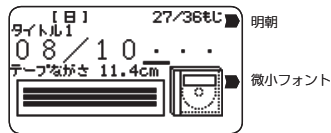
フリーラベル以外では手順 **4** に進みます。

3 **[<][>]を押して、1/4 角を選び、[実行]を押します。**

4 **[∧][∨][<][>]を押して下付を選び、[実行]を押します。**

フリーラベル以外では手順 **6** に進みます。

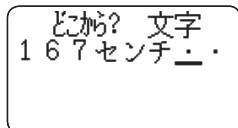
微小フォントについて

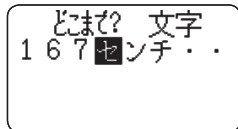
印刷するときは行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右に「微小フォント」の▶が点灯します。

●微小フォントには、次のような特徴があります。

- フォントの設定は無効です。（すべて同じフォントで印刷されます）
- プロポーショナルの設定は無効です（「しない」になります）。
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

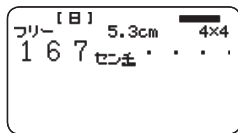
5 ⌃⌄〈〉**を押して文字を選び、**実行**を押します。**

- 全文：すべての文字を上付・下付にするとき
- ブロック：ブロック単位で上付・下付にするとき
- 行：行単位で上付・下付にするとき
- 文字：文字単位で上付・下付にするとき

どこから？ 文字
167センチ・・

6 ⌃⌄〈〉**を押して、下付にする最初の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。**

どこまで？ 文字
167センチ・・

7 ⌃⌄〈〉**を押して、下付にする最後の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。**

指定した文字が１／４の大きさになり、下に寄せられます。

[日]
フリー 5.3cm 4×4
167センチ・・・・

•文字を元に戻すときは、手順**4**で「□全角」を選びます。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。
• 絵文字・外字は、文字体の指定はできません。

標準	太字
住所録	住所録
白抜	**影付**
住所録	住所録
立体	
住所録	

1 **文字を入力します。**

2 機能**を押し、指を離してから**4（装飾）**を押します。**

•「文字修飾」が指定できない機能やフォーマットの場合には、手順**4**に進みます。

3 〈〉**を押して文字体を選び、**実行**を押します。**

入力・編集編 文字を目立たせる

4 ∧∨＜＞を押して文字体の種類を選び、[実行]を押します。

- A 標準を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。

5 ∧∨＜＞を押して設定の範囲を選び、[実行]を押します。

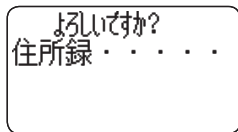
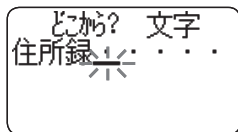
- 全文：フォーマット単位で設定されます。
- ブロック：ブロック単位で設定されます。
- 行：項目単位で設定されます。
- 文字：文字単位で設定されます。

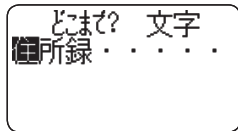
- フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、[実行]を押します。設定後、文字入力の画面に戻ります。

よろしいですか?
住所録・・・・・

フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順**6**、**7**で範囲を指定します。

どこから?　文字
住所録・・・・・

6 ∧∨＜＞を押して、文字体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

どこまで?　文字
住所録・・・・・

7 ∧∨＜＞を押して、文字体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

- 設定後、文字入力の画面に戻ります。

画面上の「**A**」（太字）・「A」（白抜）・「A」（影付）・「A」（立体）に▲が付きます。
標準の場合は何も付きません。

文字に飾りを付ける

フリーラベルでは、文字に網を掛けることや、下線や枠を付けることができます。
また、用途別ラベルでは、フォーマットにより枠を付けることができます。

網　掛	下　線	枠付（文字）	枠付（詳細）
修飾	修飾	修飾	修飾

文字修飾を指定する

1 **文字を入力します。**

2 **[機能]を押し、指を離してから[4 $ う]（装飾）を押します。**

3 **(<)(>)を押して文字修飾を選び、[実行]を押します。**

- 用途別ラベルの文字修飾が指定できるフォーマットでは、「枠付」の「あり」「なし」を選ぶ画面が表示されます。

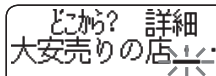
(<)(>)で「あり」「なし」を選んで、[実行]を押すと文字修飾が指定できます。

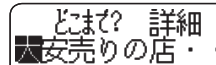
4 **(∧)(∨)(<)(>)を押して文字修飾の種類を選び、[実行]を押します。**

- 取消しを選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。

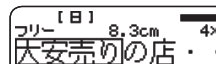
5 **(∧)(∨)(<)(>)を押して文字修飾する部分を指定し、[実行]を押します。**

どこから?　詳細
大安売りの店

- 詳細：文字のかたまりに指定するとき
  例 大安売りの店
- ブロック：ブロック単位で指定するとき
- 行：行単位で指定するとき
- 文字：1 文字ずつ指定するとき
  例 大安売りの店

6 **(∧)(∨)(<)(>)を押して、文字修飾する最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。**

どこまで?　詳細
大安売りの店・・

7 **(∧)(∨)(<)(>)を押して、文字修飾を指定する最後の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。**

- 設定後、文字入力の画面に戻ります。

［日］
フリー　8.3cm　4×4
大安売りの店・・

こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねて付けることもできます。1 つの飾りを付けたあとに、別の飾りを重ねて付けます。

特売	特売	特売
網掛＋枠付（詳細）	網掛＋下線	網掛＋下線＋枠付（文字）

- 文字の大きさによっては、枠付と下線を重ねると、枠と下線が重なって印刷されることがあります。

文字修飾を取り消す

1 機能を押し、指を離してから4（装飾）を押します。

2 〈〉を押して文字修飾を選び、実行を押します。

3 ∧∨〈〉を押して取消しを選び、実行を押します。

複数の文字修飾を指定しているときに一つの文字修飾だけを取り消したいときは、∧∨〈〉を押して取り消したい文字修飾を選び、実行を押します。

4 ∧∨〈〉を押して文字を選び、実行を押します。

5 ∧∨〈〉を押して、文字修飾を取り消したい最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

6 ∧∨〈〉を押して、文字修飾を取り消したい最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

複数の文字修飾を指定しているときに一つの文字修飾だけを取り消したいときは、ここで実行の代わりに文字削除を押します。

よく使う語句を登録する / 呼び出す（プリセットタイトル）

よく使う単語や文章を登録しておき、文字の入力中に呼び出して挿入することができます。
入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

- 最大 49 文字の語句を 50 件まで登録できます。
- お買い上げの状態では、以下の 20 件の語句が登録されています。修正や書き替えが可能です。

番号	データ内容	番号	データ内容	番号	データ内容
1	製造年月日	8	有効期間	15	税込￥
2	作成日	9	まで保管	16	本体価格￥
3	撮影日	10	まで有効	17	BACKUP DATA
4	更新日時	11	交換期限	18	BEST ALBUM
5	交換日	12	賞味期限	19	http://
6	購入日	13	品質保持期限	20	E-mail:
7	保存期間	14	消費期限		

プリセットタイトルを呼び出す

文字を入力中に、プリセットタイトルを呼び出して挿入します。

1 プリセットタイトルを押します。

登録されている語句が表示されます。

2 [∧][∨]を押して、挿入したい語句を選びます。

- 数字キーで番号を入力して選択することができます。1 ～ 50 までを入力できます。

3 [実行]を押します。

新しくプリセットタイトルを作る

文字を入力してプリセットタイトルを作り、登録します。

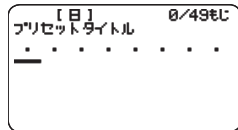
1 [機能]を押し、指を離してから[プリセットタイトル]（タイトル編集）を押します。

2 [<][>]を押して**作成**を選び、[実行]を押します。

文字入力エリアに文字が無いときは、手順 **3** の画面が表示されます。

-タイトル作成-
新規作成参照作成

3 [<][>]を押して語句の作り方を選び、[実行]を押します。

- 新規作成… 最初から文字を入力して作ります。
- 参照作成… 入力中の文字をベースに作ります。

4 文字を入力し、[実行]を押します。

参照作成を選んだときは、入力中の文字が表示されます。必要に応じて修正して[実行]を押してください。

- 記号、絵文字、外字、中国語漢字も使うことができます。
- 書体、文字体、書式を指定することはできません。

5 [∧][∨]を押して登録する場所を選びます。

「未登録」と表示されている場所は、データが登録されていません。

6 [実行]を押すと、「よろしいですか？」と表示されるので、よければ[実行]を押します。

- 別の場所に登録したいときは、[取消し]を押します。

これで登録は完了です。

> **参照作成のときには**
> - 参照した内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き替わります。
> - 1/4 角の文字は全角に置き替わります。
> - 入力中の文字が 49 文字以上ある場合には、先頭から 49 文字分が参照できます。

プリセットタイトルを修正する

登録したプリセットタイトルを、呼び出して修正します。

1 [機能]を押し、指を離してから[プリセットタイトル]（タイトル編集）を押します。

2 [<][>]を押して**修正**を選び、[実行]を押します。

3 [∧][∨]を押して修正する語句を選び、[実行]を押します。

4 **語句を修正し、[実行]を押します。**

5 **⌃⌄を押して登録する場所を選び、[実行]を押します。**
「よろしいですか？」と表示されます。

• 別の場所に登録したいときは、[取消し]を押します。

6 **[実行]を押します。**
これで修正は完了です。

プリセットタイトルを削除する

登録したプリセットタイトルを削除します。

1 **[機能]を押し、指を離してから[プリセットタイトル]（タイトル編集）を押します。**

2 **＜＞を押して削除を選び、[実行]を押します。**

3 **⌃⌄を押して削除する語句を選び、[実行]を押します。**
「よろしいですか？」と表示されます。

• 別の語句を削除したいときは、[取消し]を押します。

4 **[実行]を押します。**
削除されたプリセットタイトルの欄は「未登録」になります。

日付や時刻をデータに挿入する

資料やディスクの作成日など、現在の日付や時刻をデータに挿入することができます（タイムスタンプ）。また、有効期限や保存期間など、指定した期間が経過した時点の日付や時刻をデータに挿入することができます（タイムスパン）。

タイムスタンプの印刷例

エ ン ジ ン オ イ ル
交換日2011年7月31日

タイムスパンの印刷例

会社名	☆〇レンタル株式会社
レンタル物件	パーソナルコンピューター
レンタル期限	2011年9月5日

タイムスタンプとタイムスパンの印刷例

加工年月日	2011年7月31日
消費期限	2011年8月10日

現在の日付や時刻をデータに挿入する（タイムスタンプ）

日付や時刻の表示形式は、以下の 14 の形式から選べます。

平成 22 年 10 月 26 日
H22.10.26
2010 年 10 月 26 日
2010/10/26
2010-10-26
平成 22 年 10 月
2010 年 10 月
2010/10
10 月 26 日
10/26
10 月 26 日（火）
10/26（火）
13 時 30 分
13：30

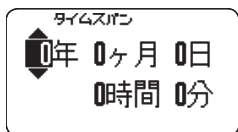
（現在の日時が「2010 年 10 月 26 日 13 時 30 分」の場合）

1 **[タイムスタンプ]を押します。**
現在の日付、時刻を表示した後、日付や時刻の入力形式を選ぶ画面が表示されます。

日付、時刻を設定する→ 114 ページ

2 **(∧)(∨)を押して日付や時刻の入力形式を選び、[実行]を押します。**
画面に現在の日付や時刻が挿入されます。

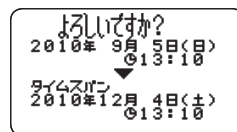
指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する（タイムスパン）

1 **[機能]を押し、指を離してから[タイムスタンプ]（タイムスパン）を押します。**

2 **(∧)(∨)(〈)(〉)を押して期間を指定します。**

- 「年」「月」「日」「時」「分」の各項目間の移動には(〈)(〉)を押します。数字を指定するときは(∧)(∨)を押します。
- 直接数字を入力することもできます。
- 各項目の指定可能範囲は以下のとおりです。
  年：0 ～ 30
  月：0 ～ 36
  日・時・分：0 ～ 99
- 各項目を指定するときには以下の点に注意してください。
  - 年月のどちらか一方でも「0」でないときには、現在日も含めて計算します。
    例：現在の日付が 2010 年 1 月 10 日のときに年「1」を指定すると 2011 年 1 月 9 日になります。
  - 指定した値では、該当日がないときには、その月の最後の日になります。
    例：1 月 31 日の 1 ヶ月後を指定すると 2 月 28 日になります。

3 **[実行]を押します。**

- 「タイムスパン」の下に表示された年月日、時刻でよいか確認してください。
- 変更したいときは、[取消し]を押して期間を指定し直してください。

よろしいですか?
2010年 9月 5日(日)
13:10
タイムスパン
2010年12月 4日(土)
13:10

4 **[実行]を押します。**
指定した期間後の、日付や時刻で表示された入力形式を選ぶ画面が表示されます。

5 **(∧)(∨)を押して日付や時刻の入力形式を選び、[実行]を押します。**
画面にご指定の日付や時刻が挿入されます。

入力した文字をコピーする・貼り付ける（コピー・ペースト）

文字をコピーし、呼び出して挿入することができます。
・入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

文字をコピーする

1 **文字を入力します。**

2 **[機能]を押し、指を離してから[コピー]を押します。**

3 **[∧][∨][＜][＞]を押して、コピーする最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。**

4 **[∧][∨][＜][＞]を押して、コピーする最後の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。**

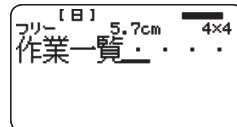
「コピー完了」と表示された後、文字入力画面に戻ります。

・コピーできる文字数は、49 文字までです。それ以上のときは、先頭から 49 文字までコピーし、残りの文字はコピーされません。
・コピーは 9 個まで取り込むことができます。10 個目をコピーしたときは、古い順にコピーした内容がなくなります。
・コピーした内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き替わります。
・1/4 角の文字は全角に置き替わります。

コピーした文字を貼り付ける（ペースト）

1 **[機能]を押し、指を離してからを[ペースト]押します。**

2 **[∧][∨]を押して貼り付ける内容を選び、[実行]を押します。**

指定した文字が貼り付けられます。

・項目に入力できる最大文字数を超えるときは、超過した文字は貼り付けられず、「文字数オーバー　ペーストできなかった文字があります」と表示されます。

オリジナルの文字（外字）を作る

Ⓐや⊠などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます（**外字**）。４つまで本機の中に登録（記憶）しておくことができます。外字では、文字体の指定は無効です。

外字を作る方法には、次の２つがあります。

- **はじめから自分で作る（新規作成）**
  …まったくオリジナルな外字を作るとき
- **本機の中にある文字を利用して作る（参照作成）**
  …Ⓐや高のように、既存の文字が利用できるとき

はじめから自分で作る（新規作成）

［例］

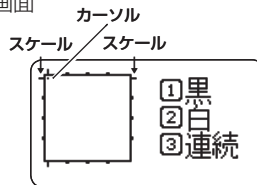
1 機能を押し、指を離してから7（外字）を押します。

2 ⋀⋁＜＞を押して作成を選び、実行を押します。

3 ＜＞を押して新規作成を選び、実行を押します。

- 手順**1**でカーソルの位置に文字がなかった場合は、**外字作成画面**（手順**4**の画面）になります。そのまま手順**4**からはじめてください。

4 外字作成画面で外字を作成します。

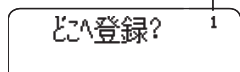
- 外字作成画面

カーソルを移動させるときは	⋀⋁＜＞を押してカーソルを移動します。
点を１つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、1（黒）を押します。
点を１つ消すときは	塗りつぶされている点までカーソルを移動し、2（白）を押します。
線を描くときは	1（黒）を押し、指を離してから3（連続）と押し、黒 連続にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	2（白）を押し、指を離してから3（連続）と押し、白 連続にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

- 斜め方向に連続して塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、１つの点ごとに操作してください。
- 外字作成画面で1（黒）または2（白）のどちらかが指定されているときは、3（連続）を押すたびに連続入力を「する / しない」が切り替えられます。

連続になっていない場合は、機能＜、機能＞でカーソルを画面の左右の端へ、機能⋀、機能⋁でカーソルを上下の端へ、それぞれ移動することができます。

5 外字が完成したら、[実行]を押します。

登録番号

どこへ登録? 1

6 ⌃⌄＜＞を押して登録する場所を番号で選び、[実行]を押します。

「よろしいですか？」と表示されます。

- 登録されている外字を消していい場合はそのまま[実行]を押します。消したくない場合は、[取消し]を押して、登録番号を選び直します。

7 [実行]を押します。

本機にある文字を利用して作る（参照作成）

文字の他に、記号や絵文字も利用することができます。（記号→ 128 ページ、絵文字→ 129 ページ）

［例］ 高 → 髙

1 「高」を入力します。

2 ＜＞を押して、「高」にカーソルを合わせます。

3 [機能]を押し、指を離してから[7 や]（外字）を押します。

4 ⌃⌄＜＞を押して**作成**を選び、[実行]を押します。

5 ＜＞を押して**参照作成**を選び、[実行]を押します。

外字作成画面に「高」が表示されます。

6 106 ページの手順 4 からの操作をして、外字の作成と登録をします。

すでに作ってある外字を修正する

1 [機能]を押し、指を離してから[7 や]（外字）を押します。

2 ⌃⌄＜＞を押して**修正**を選び、[実行]を押します。

3 ⌃⌄＜＞を押して修正する外字を選び、[実行]を押します。

外字作成画面に、選んだ外字が表示されます。

4 106 ページの手順 4 からの操作をして、外字の修正と登録をします。

外字を使う

1 外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

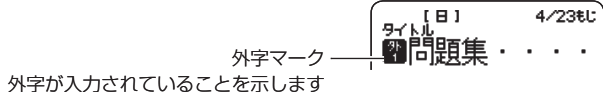
2 [機能]を押し、指を離してから[7 や]（外字）を押します。

3 ⌃⌄＜＞を押して**呼出し**を選び、実行を押します。

外字呼出し 1

4 ⌃⌄＜＞を押して呼び出す外字を選び、実行を押します。

[日] 4/23もじ
タイトル
外問題集・・・・

外字マーク
外字が入力されていることを示します

- 呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

登録した外字を削除する

1 機能を押し、指を離してから7（外字）を押します。

2 ⌃⌄＜＞を押して**削除**を選び、実行を押します。

3 ⌃⌄＜＞を押して削除する外字を選び、実行を押します。
「よろしいですか？」と表示されます。

4 実行を押します。
選んだ外字が削除されます。

> 外字を文章中で使っていたときに、登録元の外字を削除すると、文章中の外字が入っていた位置は空白で印刷されます。

よく使う語句を辞書に登録する（ユーザー辞書）

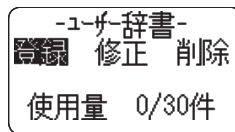
日常よく使う専門用語や中国語などを「読み」とともに登録しておくと、「読み」を入力するだけで変換できるようになります。また、慣用句などを短い「読み」で登録しておけば、文字が簡単に入力できて便利です。最大 10 文字の語句を 30 件まで登録できます。
ユーザー辞書は、電源を入れた直後の画面のときに登録できます。
- ユーザー辞書は、日本語入力の変換辞書に対して有効になります。ピンイン入力の変換辞書には登録できません。

語句を登録する

[例] 秋葉原（あきば）

1 機能を押し、指を離してから8（設定）を押します。

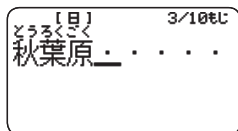
2 ⌃⌄を押して**ユーザー辞書**を選び、実行を押します。
登録されている件数が表示されます。

-ユーザー辞書-
登録 修正 削除
使用量 0/30件

3 ＜＞を押して**登録**を選び、実行を押します。

4 読みを入力します。
ここでは「あきば」と入力します。
- 読みに入力できる文字はひらがなと長音のみ、最大 10 文字までです。

5 **[実行]を押します。**
語句の入力画面が表示されます。

6 **語句を入力します。**
ここでは「秋葉原」と入力します。

- 語句に入力できる文字は外字や中国語漢字を含むすべての文字種で、最大 10 文字までです。

7 **[実行]を押すと、「よろしいですか？」と表示されるので、もう 1 度[実行]を押します。**
これで登録は完了です。

- 語句は最大 30 件まで登録できます。

登録した語句を修正する

1 **[機能]を押し、指を離してから[8 ゆ（設定）] を押します。**

2 **[∧][∨]を押して ユーザー辞書 を選び、[実行]を押します。**

3 **[<][>]を押して 修正 を選び、[実行]を押します。**

4 **[∧][∨]を押して修正したい語句を選び、[実行]を押します。**

5 **読みを修正して、[実行]を押します。**
語句の修正画面が表示されます。

6 **語句を修正して、[実行]を押します。**
「よろしいですか？」と表示されます。

7 **[実行]を押します。**
これで修正は完了です。

登録した語句を削除する

1 **「語句を登録する」の手順 3 で 削除 を選び、[実行]を押します。**

2 **[∧][∨]で削除する語句を選んで、[実行]を押します。**

3 **[実行]を押します。**
これで削除は完了です。

単語集を使ってラベルを作る

本機には、観光、買い物、飲食などの場面でよく使う単語が、日本語／英語／中国語で登録されています。単語集から使いたい単語を選ぶだけで、手軽にラベルを作ることができます。
また、公共施設などの単語には絵文字も入力できるものがあります。
- 入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

［印刷例］
- 日本語

?観光案内所

- 英語

?Tourist information center

- 中国語

?观光咨询处

- すべての言語

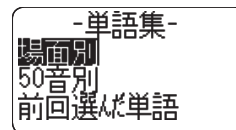
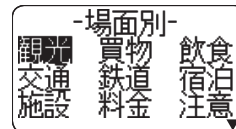
?観光案内所 Tourist information center 观光咨询处

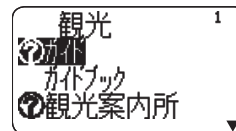
単語集の呼び出し方には、下記の 3 種類があります。
- 場面別 ‥‥‥‥‥ 場面別に該当する単語を呼び出します。
- 50音別 ‥‥‥‥‥ 50音別に単語を呼び出します。
- 前回選んだ単語 ‥‥ 前回選んだ単語を呼び出します。

単語集を場面別に呼び出す

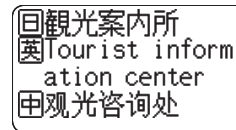
単語集に登録されている単語を場面別に呼び出し、入力することができます。
ここでは、「観光案内所」をすべての言語で入力する例で説明します。

1 ［機能］を押し、指を離してから［デザインロゴ］（単語集）を押します。

-単語集-
場面別
50音別
前回選んだ単語

2 ［∧］［∨］を押して 場面別 を選び、［実行］を押します。

3 ［∧］［∨］［＜］［＞］を押して、場面を選び、［実行］を押します。

選んだ場面に応じた単語の一覧が表示されます。
- 絵文字がある単語は、先頭に絵文字が表示されます。

4 ［∧］［∨］を押して入力したい単語を選び、［実行］を押します。

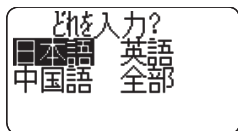
選んだ単語が、日本語、英語、中国語で表示されます。

日観光案内所
英Tourist inform
ation center
中观光咨询处

- 絵文字がある単語は、手書きパネルに絵文字が表示されます。

5 **実行を押します。**

言語を選択する画面が表示されます。

- フリーラベルでは、全部（日本語、英語、中国語の３言語で入力）を選ぶことができます。

どれを入力?
日本語　英語
中国語　全部

6 **入力したい言語（ここでは全部）を選び、実行を押します。**

選んだ単語が、選んだ言語で入力されます。

Tourist
观光咨询处

7 **必要に応じて、入力された文字を編集します。**

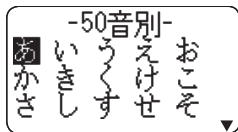
- フリーラベルでは、サイズ、書式、フレームなども指定することができます。

単語集を５０音別に呼び出す

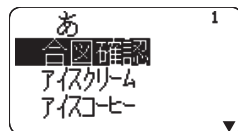
単語集に登録されている単語を日本語の 50 音別に呼び出し、入力することができます。

1 **機能を押し、指を離してから単語集（デザインロゴ）を押します。**

2 **∧∨を押して50 音別を選び、実行を押します。**

-50音別-
あ い う え お
か き く け こ
さ し す せ そ

3 **∧∨＜＞を押して、入力したい単語の最初の文字を選び、実行を押します。**

選んだ文字から始まる単語の一覧が表示されます。

- 絵文字がある単語は、先頭に絵文字が表示されます。

4 **これ以降の操作は、「単語集を場面別に呼び出す」（110 ページ）の手順４〜７と同様です。**

前回選んだ単語を呼び出す

前回選んだ単語を単語集から呼び出して、入力することができます。

1 **機能を押し、指を離してから単語集（デザインロゴ）を押します。**

2 **∧∨を押して前回選んだ単語を選び、実行を押します。**

前回入力した単語が表示されます。

日観光案内所
英Tourist information center
中观光咨询处

3 **これ以降の操作は、「単語集を場面別に呼び出す」（111 ページ）の手順５〜７と同様です。**

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に[機能]を押し、指を離してから[8 ゆ]（設定）を押すと、右の画面が表示されます。

⌃⌄で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

・電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目		内容	ページ
挿入 / 上書き		文字の入力方法を決める	92
日本語入力		日本語の入力方法を決める	77
ブザー音		ブザー音を鳴らす / 鳴らさないを決める	112
手書き認識		手書きで入力した文字の認識方法を決める	113
液晶パネル	メインパネルコントラスト	画面（メインパネル）の明るさを調整する	113
	手書きパネルコントラスト	手書きパネルの明るさを調整する	113
	手書きパネル位置調整	手書きパネルの位置を調整する	114
印刷濃度		印刷の濃さを調整する	114
初期フォント		入力文字の最初の書体を決める	96
日時		日付、時刻を設定する	114
表示言語		メッセージを表示する言語を決める	115
ユーザー辞書		「読み」と「語句」の組み合わせを登録して、熟語変換の候補として表示させる	108
電池		アルカリ乾電池か充電式ニッケル水素電池（eneloop®、充電式 EVOLTA）のどちらを使うか決める	115
デモ印刷		いろいろな機能を使って作成したラベルの印刷例を印刷する	115

ブザー音を消したい

電源を入れたときやキー操作を間違ったとき、手書きパネルにタッチしたときに鳴る「ピッ」というブザー音を消すことができます。

1 **[機能]を押し、指を離してから[8 ゆ]（設定）を押します。**

2 **⌃⌄を押して ブザー音 を選び、[実行]を押します。**

3 **＜＞を押して ブザー音なし を選び、[実行]を押します。**

・ブザー音を鳴らしたいときは、 ブザー音あり にします。

設定を変える

設定編

手書きで入力した文字の認識方法を変えたい

手書きで入力した文字を認識する方法は、手動認識、自動認識の 2 つあります。
手動認識では、手書きパネルに文字を書いた後、【認識】をタッチして、一文字ずつ認識させます。
自動認識では、手書きパネルに書いた文字が約 1 秒後に自動的に認識されます。
ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、手動認識の状態になっています。

1 機能 を押し、指を離してから 8 (設定) を押します。

2 ∧∨を押して 手書き認識 を選び、実行 を押します。

3 <>を押して 自動認識 を選び、実行 を押します。

- 「手動認識」を選んで 実行 を押すと、一文字ずつ認識する状態に戻ります。

画面（メインパネル）のコントラストを変えたい

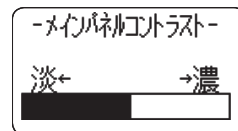
画面（メインパネル）のコントラスト（明るさ）を調整することができます。

1 機能 を押し、指を離してから 8 (設定) を押します。

2 ∧∨を押して 液晶パネル を選び、実行 を押します。

3 ∧∨を押して メインパネルコントラスト を選び、実行 を押します。

4 <>を押して画面（メインパネル）の明るさを調整し、実行 を押します。

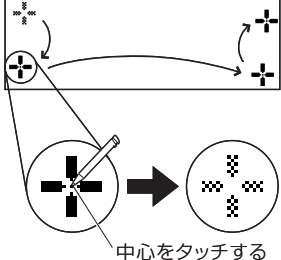
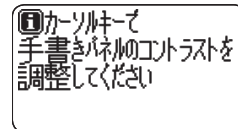
- <を押すごとに淡く、>を押すごとに濃くなります。

手書きパネルのコントラストを変えたい

手書きパネルのコントラスト（明るさ）を調整することができます。

1 機能 を押し、指を離してから 8 (設定) を押します。

2 ∧∨を押して 液晶パネル を選び、実行 を押します。

3 ∧∨を押して 手書きパネルコントラスト を選び、実行 を押します。

4 <>を押して手書きパネルの明るさを調整し、実行 を押します。

- <を押すごとに淡く、>を押すごとに濃くなります。
- 手書きパネルをタッチして調整することはできません。
  キーボードの<>を押して調整してください。

手書きパネルの位置を調整したい

手書きパネル上で、タッチペンでタッチする位置と表示される手書きで入力した文字が微妙にずれているときなど、調整が必要な場合に位置を調整することができます。

1 **[機能]を押し、指を離してから[8 ゆ（設定）]を押します。**

2 **⌃⌄を押して 液晶パネル を選び、[実行]を押します。**

3 **⌃⌄を押して 手書きパネル位置調整 を選び、[実行]を押します。**

4 **手書きパネルに表示される４つの十字マークの中心を、一つ一つタッチペンですべてタッチします。**

- 十字マークをタッチすると色が薄くなり、4つすべてタッチすると調整が終わります。

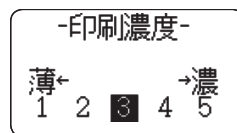
印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 **[機能]を押し、指を離してから[8 ゆ（設定）]を押します。**

2 **⌃⌄を押して 印刷濃度 を選び、[実行]を押します。**

3 **〈〉を押して濃さを設定し、[実行]を押します。**

1 にすると１番薄く印刷され、5 にすると１番濃く印刷されます。

- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

日付、時刻を設定する

正しい日付、時刻を設定することができます。

1 **[機能]を押し、指を離してから[8 ゆ（設定）]を押します。**

2 **⌃⌄を押して、日時 を選び、[実行]を押します。**

3 ⊂⊃∧∨を押して、日付、時刻を指定します。

- 「年」「月」「日」「時」「分」の各項目間の移動には⊂⊃を押します。数字を指定するときは∧∨を押します。
- 直接数字を入力することもできます。

4 設定が終わったら、[実行]を押します。

表示言語を中国語に切り替える

本機に表示されるメッセージや選択名を中国語に切り替えることができます。
ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後は、日本語表示の状態になっています。

1 [機能]を押し、指を離してから[8 ゆ]（設定）を押します。

2 ∧∨を押して**表示言語**を選び、[実行]を押します。

3 ⊂⊃を押して**中文**を選び、[実行]を押します。
- 「日本語」を選んで[実行]を押すと、日本語表示の状態に戻ります。

電池の設定をする

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（eneloop®、充電式EVOLTA）のどちらを使うかを設定します。
ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後は、アルカリ乾電池を使う設定になっています。
- ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

1 [機能]を押し、指を離してから[8 ゆ]（設定）を押します。

2 ∧∨を押して**電池**を選び、[実行]を押します。

3 ∧∨を押して**充電式ニッケル水素**を選び、[実行]を押します。
- 「アルカリ」を選んで[実行]を押すと、アルカリ乾電池を使う設定に戻ります。

サンプルデータを印刷する（デモ印刷）

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることができます。

重要 デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。（データの登録→ 69 ページ）

1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。
- テープカートリッジについて→ 15 ページ

2 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、(電源)を押します。

3 再び(電源)を押して電源を入れます。

4 [機能]を押し、指を離してから[設定 8ゆ]を押します。

5 ⌃⌄を押して**デモ印刷**を選び、[実行]を押します。

6 ＜＞を押して**印刷**を選び、[実行]を押します。

7 「枚数　1枚」「カットモード　通常」になっていることを確認します。

- 印刷枚数やカットモードを変更することもできます。25ページ「印刷とカットモード」をご覧ください。
- 特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。（25ページ）

8 [実行]を押します。

- 印刷が始まります。
- デモ印刷中に、途中で印刷が数秒止まることがありますが、故障ではありません。
- セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

9 印刷が終了したら＜＞を押して**終了**を選び、[実行]を押します。

「終了しますか？」と表示されます。

10 [実行]を押します。

付　録

電源について

本機を使うときは、電源として指定のACアダプターの他に、市販のアルカリ乾電池や充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式EVOLTA）を使うことができます。

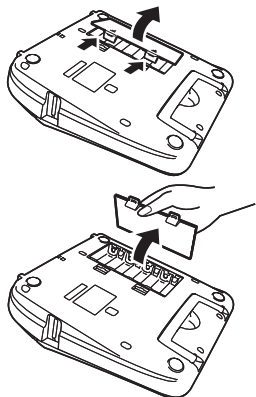
- ご使用前に、「安全上のご注意」（1～5ページ）を必ずご覧ください。

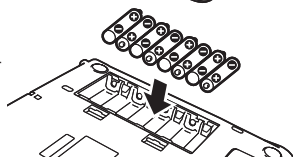
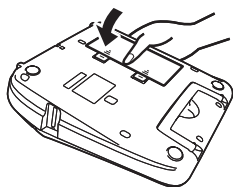
電池で使う

市販の単3形アルカリ乾電池、単3形充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式EVOLTA）を8本使用します。
（必ず8本とも同じ種類の電池を使用してください。）

- 電池は、必ず8本とも新品の単3形アルカリ乾電池、または満充電にした単3形充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式EVOLTA）を使用してください。指定以外の電池を本機に使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかったり、誤動作の原因となることがあります。
- 単3形充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式EVOLTA）を使用する場合は、電池の設定を「充電式ニッケル水素」にしてください（115ページ）。
- ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

1 本体裏側の電池カバーを取り外します。

電池カバーに無理な力（逆に曲げるなど）を加えないでください。故障の原因となります。

2 電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。

3 電池カバーを取り付けます。

- 電池が消耗した状態で使用すると、印刷中に電源が切れることがあります。指定の AC アダプターでお使いになることをおすすめします。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。
  その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～35℃）の環境に戻してからご使用ください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、手書きイメージ、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池をセットした状態」で、AC アダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mm テープカートリッジ約 2 巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字や画像を印刷した場合、低温下で使用した場合、電池をセットしたまま長期間保管した場合は、電池寿命は短くなります。
- 本機をご使用にならない場合も、2 年に 1 度は必ず電池を交換してください。
  特に消耗した eneloop® または充電式 EVOLTA を本機に入れたままにすると、eneloop® または充電式 EVOLTA を劣化させる恐れがあるので、本機をご使用にならない場合はすぐに取り出してください。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーが汚れていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順に従って、プリンターヘッドやゴムローラーを掃除してください。

綿棒できれいにする

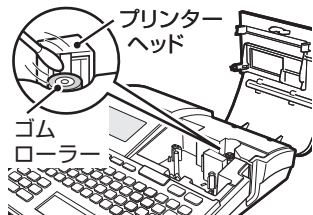
• プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などの柔らかいものをお使いください。また、綿棒は極細タイプをおすすめします。

1 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

• テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

• 印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。

2 **アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面を拭きます。**

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的に拭いてください。

• ゴムローラーは、機能を押し、指を離してから0（テープ送り）を押すと回転します。
• 市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ（XR-24CLE）を使うこともできます。

1 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

• 「綿棒できれいにする」の手順1の注意事項をお読みください。

2 **クリーニングテープを本機に装着します。**

3 **電源を押して電源を入れます。**

4 **機能を押し、指を離してから0（テープ送り）を押して、1～2回「テープ送り」をします。**

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご覧ください。

本体もお手入れしましょう

柔らかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。
本体を傷付けるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは（トラブルシューティング）

本機がうまく動かないときには、次の対処方法に従ってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、最寄りの本機取扱店、もしくはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。

症状	原因と対処
●電源を押しても何も表示されない	・画面（メインパネル）または手書きパネルの明るさが適切でない ➜ 画面（メインパネル）または手書きパネルの明るさの設定を調整してください。（113 ページ）
	・AC アダプターがきちんと接続されていない ➜ AC アダプターを正しく接続してください。（11 ページ）
	・電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している ・指定以外の AC アダプターを使用している ➜ 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。
	・電池が正しくセットされていない ➜ 正しくセットし直してください。（117 ページ）
●正しく終了するが何も印刷されない	・「空白」だけが入力されている ➜ 印刷したい文章を入力してください。
	・パソコンから何も入っていないデータを取り込んで印刷しようとした ➜ 正しいデータを取り込み直してください。
●印刷が不鮮明になった ●印刷がきれいにできない ●印刷が薄い	・プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している ➜ クリーニングをしてください。（118 ページ）
	・インクリボンのたるみによるしわが発生した ➜ インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。（15 ページ）
	・テープカートリッジが正しくセットされていない ➜ 正しくセットし直してください。
	・電池が消耗している ➜ 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。
	・印刷濃度が適切でない ➜ 印刷濃度を調節してください。（114 ページ）
●印刷されない ●印刷中に電源が切れる	・電池が消耗している、または、指定以外の AC アダプターや電池を使用している ➜ 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。
	・プリンターヘッドが高温になっている ➜ しばらく時間をおいてからお使いください。
●文字が入力できない	・機能を押した状態になっている ➜ 取消しを押して、文字が入力できる画面にします。

症状	原因と対処
●目的の漢字に正しく変換されない	・正しい「読み」が入力されていない ➜正しい「読み」を入力してください。特に、拗音（「しょう」の「ょ」など）や促音（「がっき」の「っ」など）の入力には注意しましょう。
	・入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている ➜日/中を押して変更してください。 （76 ページ）
●パソコンとつながらない	・通信の内容にあった通信モードになっていない ➜デザインロゴ以外の場合：USBリンクを押してパソコンと接続できる状態にしてください。 デザインロゴの場合：デザインロゴを押してデザインロゴのモードに入り「データインストール」－「受信」を選択してパソコンと接続できる状態にしてください。
	・USB ケーブルが正しく接続されていない ➜正しく接続し直してください。
	・電源を入れていない ➜電源を押して、電源を入れてください。
	・プリンタードライバーがパソコンにインストールされていない ➜パソコンにプリンタードライバーをインストールしてください。（別紙の「はじめにお読みください」参照） それでもつながらない場合には、パソコンの USB ポートを別のポートに差し替えたり、USB ケーブルを別のケーブルに交換したりしてください。 ※ USB ケーブルは、USB 規格に準拠した市販品（A-B タイプ）を使用してください。

症状	原因と対処
●デザインロゴなどの機能キーを押しても画面が変わらない	・ひらがなに■が重なっている：例 あか 漢字に下線がついている：例 赤 ➜ひらがなや漢字は必ず確定してください。 ■が重なっていたり下線がついていたりすると（確定前）、他の機能が使えません。
●印刷を押してもテープが出てこない	・テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない ➜カバーをしっかり閉めてください。 （16 ページ）
	・テープが終了している ➜新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。（16 ページ）
	・テープが詰まっている ➜テープカートリッジを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。 そのあと、正しくセットし直します。 （16 ページ） 重要 印刷中に、次のようなことはしないでください。 ・テープ出口をふさぐ ・出てくるテープに触る ・テープカートリッジ収納部のカバーを開ける ・電源を切る
	・電池が消耗している ➜指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。

症状	原因と対処
●インクリボンがテープといっしょにテープ出口から出てきた	・インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした ➔テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻き取ってください。そのあと正しくセットし直してください。（15 ページ） 重要 ・テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみを取ってください。 ・インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。
●テープが切れない	・テープカッターが摩耗している ➔カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。（152 ページ）
	・テープ出口にテープが詰まっている ➔電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったラベルを取り除いてください。
	・書式の余白が、「送り無」に設定されている ➔「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定してください。（45 ページ）
	・カットモードを「カットしない」に設定している ➔「カットしない」以外に設定してください。（25 ページ）
	・ラベルの長さが短い（余白小で約 28mm 以下／余白中で約 35mm 以下／余白大で約 44mm 以下） ➔印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

症状	原因と対処
●ハーフカットができない	・ハーフカッターが摩耗している ➔カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。（152 ページ）
	・カットモードを「特殊テープ」「カットしない」に設定している ➔カットモードを「通常」または「切り離す」に設定してください。（25 ページ）
	・マグネットテープを使用している ➔マグネットテープはハーフカットされません。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。 重要 マグネットテープ、反射テープ、アイロン布テープは、カットモードを「カットしない」にして印刷してください。（26 ページ）
	・ラベルの長さが短い（余白小で約 28mm 以下／余白中で約 35mm 以下／余白大で約 44mm 以下） ➔印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
●ラベルが貼れない	・裏紙をはがしていない ➔裏紙をはがしてから貼ってください。（22 ページ）
	・貼る場所やものが適していない ➔表面がザラザラしているもの、水や油が付いているもの、汚れているものなどには貼れません。（22 ページ）
●ラベルの余白が大きい	・書式の余白が「余白大」「余白中」に設定されている ➔「余白小」または「送り無」に設定し直してください。（45 ページ） （本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白が入ります）

症状	原因と対処
●手書きパネルにタッチしても正しく認識されない	・タッチする位置と認識される位置がずれている ➜手書きパネル位置調整を行ってください。（114ページ）
	・手書きで文字を入力しているときにキーボードのキーが押された ➜手書き入力中はキーボードのキーを押さないでください。
	・入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている ➜日/中またはa/Aを押して変更してください。
	・手書きパネルに保護フィルムを貼り付けている ➜市販の保護フィルムを貼り付けるとタッチパネルの入力が正しく動作しない場合があります。保護フィルムをはがして正常に動作するか確認してください。
●手書きパネルにタッチする位置と表示される文字の位置がずれている	・タッチする位置と認識される位置がずれている ➜手書きパネル位置調整を行ってください。（114ページ）

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
印刷準備中 （印刷中に表示され、印刷が止まっている）	・繰り返して印刷したときなど、プリンター部分に熱がこもった場合 ➜そのままの状態で、しばらくお待ちください。 プリンター部分が通常の温度に戻ると、印刷が始まります。	－
	上記の対処をしても「印刷準備中」のままで、印刷できないような場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	152
同じデータがあります	・ユーザー辞書の登録で、全く同じデータがすでに登録されている場合 ➜取消しを押して登録を終了してください。	108
同じ登録名があります	・入力した登録名がすでに登録されているものと重複している場合 ➜登録名を入力し直してください。	69
該当候補なし	・単漢字変換で候補の漢字がない場合 ➜取消しを押して違う読みを入力してください。	80、87
行数オーバー 印刷できません	・印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	40、136
行数オーバー フレーム付きで印刷できません	・フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	56

メッセージ	原因と対処	参照ページ
桁数が奇数（偶数）です	・バーコード印刷（ITF）のチェックデジット「無」において、入力する桁数が奇数の場合 ➜ 先頭に「0」を付けて入力し直してください。 ・バーコード印刷（ITF）のチェックデジット「有」において、入力する桁数が偶数の場合 ➜ 先頭に「0」を付けて入力し直してください。	60
桁数が不足です	・バーコード印刷で、印刷できる桁数に満たないまま印刷しようとした場合 ➜ 正しい桁数に入力し直してください。	60
コメントが入力されていません	・QR コード印刷で、コメントが未入力のまま印刷しようとした場合 ➜ コメントを入力してください	61
作成中の内容が失われますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	・文章を消して操作を進める場合 ➜ 実行 を押してください。 ・文章を消したくない場合 ➜ 取消し を押してからその文章を登録してください。	69
指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	・印刷する場合 ➜ 実行 を押してください。 ・印刷しない場合 ➜ 取消し を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を 自動 にする」などの操作をしてください。	47
数字を入力してください	・ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 ➜ 数字を入力してください	31

メッセージ	原因と対処	参照ページ
前回正しく終了されなかった可能性があります	・前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、ＡＣアダプターや電池を取り外すなどして正常に終了できなかった場合 ➜ 登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。	11、12、116
データが入力されていません	・ＱＲコード印刷で、データ未入力のまま印刷しようとした場合 ➜ データを入力してください	61
テープエラー テープカートリッジが不適当です	・テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 ➜ カバーをしっかりと閉めてください。 ・印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープカートリッジが不適当な場合 ➜ 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。 ・電源が入っているときにテープカートリッジを交換した場合 ➜ 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。	15、16
テープエラー テープカートリッジを装着してください	・テープカートリッジが装着されていない。または、装着方法が誤っている場合 ➜ テープカートリッジを正しく装着してください。	15

メッセージ	原因と対処	参照ページ
デザインロゴのデータがインストールされていません	• デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」でパソコンからインストールしていないフォルダを選択した場合 ➜ インストールしてあるフォルダを選択し直すか、パソコンからデザインロゴのデータをインストールしてください。	71
電池残り少 続行しますか？ 実行 / 取消し	• 電池が消耗している場合 ➜ 新しい電池（別売）に交換してください、または指定の AC アダプターを使用してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 ➜ 使用温度範囲（10℃～ 35℃）でご使用ください。	116
電池残り少 交換してください	• 電池が消耗している場合 ➜ 新しい電池（別売）に交換してください、または指定の AC アダプターを使用してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 ➜ 使用温度範囲（10℃～ 35℃）でご使用ください。	116
登録データがありません	• 登録されていないプリセットタイトルを呼出し・修正・削除しようとした場合 ➜ 別のプリセットタイトルを選択してください。 • 登録データの呼出しや削除、またはユーザー辞書の修正や削除で、データが 1 つも登録されていない場合 ➜ データを登録してください	69、101、108

メッセージ	原因と対処	参照ページ
長さオーバー 印刷できません	• 印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 ➜ テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。	21、24、46
長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？ 実行 / 取消し	印刷時に先頭の不要部分のカットができない場合、または、1 枚ごとのカットができない場合 • 印刷する場合 ➜ 実行を押してください。印刷が終わったら、ハサミなどで切ってください。 • 自動的にテープカットをしながら印刷をする場合 ➜ 余白を大きく（小➜中または中➜大）指定し直してください（カットモードを「特殊テープ」、余白を「大」に指定すると必ず前後の余白をそろえることができます）。	25、45
認識できません	• 手書き入力で、書いた文字が認識できなかった場合 ➜ 再度、文字を書き直してください。	88、90
パソコンとの接続状況を確認してください	• USB ケーブルのコネクターがしっかりと接続されていない場合 ➜ USB ケーブル（USB 規格に準拠した市販品：A-B タイプ）をコネクターにしっかりと差し込んでください。 • パソコンの電源が切れている場合 ➜ パソコンの電源を入れてから操作してください。	－

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	・ 印刷中に、テープが詰まった場合 ➜ 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。 ・ オートテープカッターに異物がはさまった場合 ➜ 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、オートテープカッターにはさまった異物を取り除いてください。	16
	・ ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 ➜ ゴムローラーに付着した異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 ・ テープカートリッジ収納部にあるセンサーに「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 ➜ テープカートリッジ収納部から「テープの切れかす」などの異物を取り除いてください。	118
	・ 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用し、本機内部にある光センサーが誤作動を起こした場合 ➜ 電源を切った後、強い光が当たらない場所でお使いください。	–
	・ マグネットテープを使用してカットモードを「通常」「切り離す」にした場合 ➜ カットモードを「カットしない」にして印刷してください。	26
	上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	152

メッセージ	原因と対処	参照ページ
ブロック数オーバー	・ 16 個目のブロックマークを入力しようとした場合 ➜ 文章のブロック数を減らしてください（不要なブロックマークを削除してください）。	41
ブロック数オーバー 呼出しできません	・ フリーラベルで「単語集」の「全部」を入力すると、ブロック数が１６を超える場合 ➜「全部」以外を選んでください。 または、文章のブロック数を減らしてください（不要なブロックマークを削除してください）。	110
無効な文字があります	・ バーコード印刷で、入力可能な文字種以外の文字を入力して印刷しようとした場合 ➜ 不適当な文字を削除してください。 ・ バーコード印刷（CODABAR）で、スタートコード（先頭）またはストップコード（末尾）に「A」「B」「C」「D」以外の文字を入力して印刷しようとした場合 ➜ 正しい文字を入力し直してください。	60
	・ ユーザー辞書登録（熟語変換）の読み入力で、ひらがな、長音以外の文字が含まれていた場合または先頭の文字が長音の場合 ➜ 正しい文字を入力し直してください。	108
メモリーオーバー 登録できません	・ メモリーの容量が足りず登録できない場合 ➜ 登録してあるデータをどれか消してから再登録してください。	70

メッセージ	原因と対処	参照ページ
メモリーオーバー 作成後に登録できません 実行 / 取消し	・登録のためのメモリー容量が一杯になった状態で作成しようとした場合 ➜ 印刷はしたいが、登録しない場合は、実行を押して操作を続けてください。登録をする場合は、不要な登録文章を削除してから操作してください。	70
文字が入力されていません	・文字を入れないで次の操作に進もうとした場合 ➜ 文字を入力してから次の操作をしてください。	21
	・インデックスラベルで、未入力の項目のみを印刷または印刷プレビューしようとした場合 ➜ 入力してある項目を選択してください。	34
文字数オーバー コピーできなかった文字があります	・49 文字を超えてコピーしようとした場合 ➜ 文字数を減らしください。	105
文字数オーバー 参照できなかった文字があります	・プリセットタイトルを 49 文字を超えて参照作成しようとした場合 ➜ 先頭から 49 文字だけ参照されますので、必要に応じて修正してください。	102
文字数オーバー ペーストできなかった文字があります	・コピーした文字を貼り付けると、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 ➜ 貼り付ける文字を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。	105
文字数オーバー 文字を確定してください	・手書き入力で、未確定のまま 32 文字を超えて文字を書いた場合 ➜ 未確定の文字を先に確定させてください。	89
文字数オーバー 呼出しできなかった文字があります	・選択したプリセットタイトルやタイムスタンプ、タイムスパン、単語集を呼び出すと、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 ➜ 呼び出す文字数を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。	101、104 110

エラーメッセージ一覧

付録

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、綴り方の一覧表です。

行					
あ行	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か行	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	CA		CU		CO
			QU		
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
さ行	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
		SHI			
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
		JI			
た行	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
		CHI	TSU		
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
な行	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
			FU		
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO
ま行	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や行	や		ゆ	いぇ	よ
	YA		YU	YE	YO

行					
ら行	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	LA	LI	LU	LE	LO
わ行	わ	ゐ	う	ゑ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
ん行	ん				
	NN、N +子音				
	MP +母音、MB +母音				

行					
きゃ行	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ行	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ行	くぁ	くぃ		くぇ	くぉ
	QA	QI		QE	QO
くゎ行	くゎ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO
	QWA				
ぐゎ行	ぐゎ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
しゃ行	しゃ		しゅ	しぇ	しょ
	SYA		SYU	SYE	SYO
	SHA		SHU	SHE	SHO
じゃ行	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
	JA		JU	JE	JO
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ちゃ行	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
	CHA		CHU	CHE	CHO
ぢゃ行	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO

行					
つぁ行	つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ行	てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
	THA	THI	THU	THE	THO
でゃ行	でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とぅ			とぅ		
			TWU		
どぅ			どぅ		
			DWU		
にゃ行	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ行	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

行					
ふぁ行	ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	FA	FI		FE	FO
ふゃ行	ふゃ	ふぃ	ふゅ	ふぇ	ふょ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ぶゃ行	ぶゃ	ぶぃ	ぶゅ	ぶぇ	ぶょ
	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
みゃ行	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ヴァ行	ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
	VA	VI	VU	VE	VO

小文字（拗音・促音）

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
XA	XI	XU	XE	XO
シフト A	シフト I	シフト U	シフト E	シフト O
ゃ	ゅ	ょ	ゎ	
XYA	XYU	XYO	XWA	
Y シフト A	Y シフト U	Y シフト O	W シフト A	

っ	ヵ	ヶ
XTU、XTSU、LTU	XKA	XKE
T シフト U、TS シフト U	K シフト A	K シフト E

・ N 以外の子音を 2 度入力しても「っ」や「ッ」になります。

記号・絵文字一覧

記　号

●記述・カッコ

、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ
ゞ 〃 仝 々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ”
（） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」 『』 【】

●学術

＋ − ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇
≡ ≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨
¬ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∓ ≃

●単位・略

° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ € ％ Å ‰ ℊ ㎡ ㎥ ℓ ㏋ ℧ ㎐ ㍉
㌢ ㍍ ㌔ ㌖ ㌘ ㌕ ㌧ 〒 〠 ☎ ℡ FAX № ㏍ ㈱ ㈲ ㈹ (内) (直) (呼)
㈶ ㈵ ㈻ (千円) ㊟ (控) ㊞ ㊙ (検) (済) ㍾ ㍽ ㍼ ㍻ '00 '01 '02 '03 '04 '05
'06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 '18 '19 '20 '21 '22 '23 '24 '25
'26 '27 '28 '29

●一般

＃ ＆ ＊ ＠ § ※ 〓 ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ → ← ↑ ↓ ↘ ↖
↗ ↙ ⇨ ⇦ ⇧ ⇩ ⬄ ⇳ ☞ ☜ ☝ ☟ ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □
■ △ ▲ ▽ ▼ ♠ ♤ ♥ ♡ ♣ ♧ ♦ ♢

●数字

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ
½ ¼ ¾

記　号

●数字

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

●ギリシア・ロシア

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ
Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π
ρ σ τ υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К
Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с
т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я

●ひらがな

ぁあぃいぅうぇえぉおかがきぎくぐけげこご
さざしじすずせぜそぞただちぢっつづてでと
どなにぬねのはばぱひびぴふぶぷへべぺほぼ
ぽまみむめもゃやゅゆょよらりるれろゎわゐ
ゑをん

●カタカナ

ァアィイゥウェエォオカガキギクグケゲコゴ
サザシジスズセゼソゾタダチヂッツヅテデト
ドナニヌネノハバパヒビピフブプヘベペホボ
ポマミムメモャヤュユョヨラリルレロヮワヰ
ヱヲンヴヵヶ

●診療科目

内 消 循 呼 腎 糖 リ ア 血 神 心 感 腫 外 胸 乳 甲 小 肛 整
形 脳 産 皮 泌 眼 耳 精 性 婦 新 気 美 歯 老 肝 胆 膠 ス

記　号

●QRコード専用記号

、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝ
ゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”
（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－
±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢
£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼
※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔
∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯
♭♪†‡¶◯
ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥ
ΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπ
ρστυφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙК
ЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮ
Яабвгдеёжзийклмнопрс
туфхцчшщъыьэюя

絵文字

●オフィス

●スケジュール

●天気

●注意

絵文字

●案内

●店

●食べ物

●暮らし

●乗り物

絵文字

●季節

Spring Summer Autumn Winter

●ビデオ

●オーディオ

●おもしろ

●趣味

●スポーツ

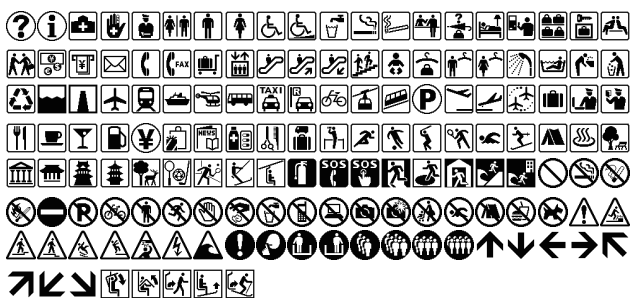
●人物

絵文字

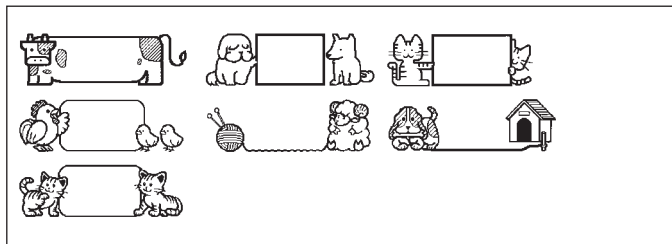
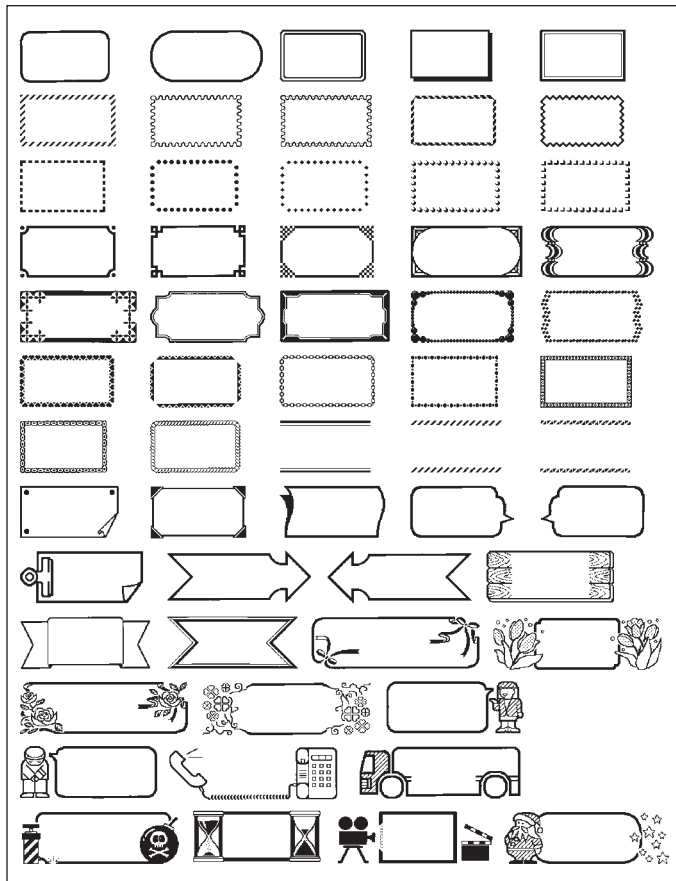
●生き物

●干支

●星座

●公共

●全部

「オフィス」から「公共」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

フレーム一覧

用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります（入力項目が異なることはありません）。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ（17種類）	VHS（148㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル 1～2						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント 1～3						
		縦	4		タイトル 1～3						
		縦	5		タイトル 1～3、タイトル 4～6						
	ミニ DV（65㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル 1～2						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント 1～2						
		縦	4		タイトル 1～3						
	8 ミリ（94㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル 1～2						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント 1～2						
		縦	4		タイトル 1～3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ（17種類）	VHS-C（89㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル 1～2						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント 1～3						
		縦	4		タイトル 1～3						
オーディオ（15種類）	MD（71㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント 1～2						
		横	4		タイトル 1～3						
	MD 背（57㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
	カセット（99㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント 1～2						
		横	4		タイトル 1～3						
	CD/DVD（114㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント 1～2						
		横	4		タイトル 1～3						
	CD/DVD 背（114㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
		横	2		タイトル、コメント						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
名前（18種類）	一般（65㎜長）	横	大1		こうもく、なまえ	○	○	○	○	－	－
		横	大2		なまえ、こうもく						
		横	大3		なまえ、こうもく1～2						
	一般（45㎜長）	横	小1		こうもく、なまえ	○	○	○	○	－	－
		横	小2		なまえ、こうもく						
		横	小3		なまえ、こうもく1～2						
	子供（80㎜長）	横	大1		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	－	－
		横	大2		ねん・くみ、なまえ						
		横	大3		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
		横	大4		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
	子供（50㎜長）	横	小1		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	－	－
		横	小2		ねん・くみ、なまえ						
		横	小3		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
		横	小4		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
	ふりがな付（80㎜長）	横	大1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	－	－
		横	大2		ねん・くみ、ふりがな、なまえ						
	ふりがな付（50㎜長）	横	小1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	－	－
		横	小2		ねん・くみ、ふりがな、なまえ						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付（19種類）	封筒（210㎜長）	縦	大1		なまえ	○	○	○	○	－	－
		縦	大2		じゅうしょ、なまえ						
		縦	大3		じゅうしょ、なまえ						
	封筒（140㎜長）	縦	小1		なまえ	○	○	○	○	－	－
		縦	小2		じゅうしょ、なまえ						
		縦	小3		じゅうしょ、なまえ						
	はがき（90㎜長）	縦	1		なまえ	○	○	○	○	－	－
		縦	2		じゅうしょ、なまえ						
		縦	3		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	差出人（65㎜長）	縦	大1		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	－	－
		縦	大2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	差出人（45㎜長）	縦	小1		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	－	－
		縦	小2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	のし紙（95㎜長）	縦	大1		こうもく	○	○	○	○	－	－
		縦	大2		こうもく1～2						
		縦	大3		こうもく1、こうもく2						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付（19種類）	のし紙（65㎜長）	縦	小1		こうもく						
		縦	小2		こうもく1～2	○	○	○	○	–	–
		縦	小3		こうもく1、こうもく2						
ファイル（17種類）	ファイル背（180㎜長）	縦	大1		タイトル						
		縦	大2		タイトル1～2	○	○	○	○	–	–
		縦	大3		ぶんるい、タイトル、コメント1～3						
	ファイル背（140㎜長）	縦	小1		タイトル						
		縦	小2		タイトル1～2	○	○	○	○	–	–
		縦	小3		ぶんるい、タイトル、コメント1～3						
	FD/MO（71㎜長）	横	1		タイトル						
		横	2		タイトル1～2	○	○	○	○	–	–
		横	3		タイトル、コメント1～2						
	CD/DVD（114㎜長）	横	1		タイトル						
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント1～2	○	○	○	○	–	–
		横	4		タイトル1～3						
	CD/DVD背（114㎜長）	横	1		タイトル						
		横	2		タイトル、コメント	–	–	–	–	○	○
	備品管理（70㎜長）	横	1		こうもく1～3、ないよう1～3						
		横	2		こうもく1～2、ないよう1～2	○	○	○	○	–	–

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
値札（10種類）	総額のみ（70㎜長）	横	大1		コメント、ねだん						
		横	大2		ひんもく、ねだん	○	○	○	○	–	–
		横	大3		ひんもく1～2、ねだん						
	総額のみ（50㎜長）	横	小1		コメント、ねだん						
		横	小2		ひんもく、ねだん	○	○	○	○	–	–
		横	小3		ひんもく1～2、ねだん						
	本体併記（70㎜長）	横	大1		ぜいこみ、ほんたい	○	○	○	○	–	–
		横	大2		ひんもく、ぜいこみ、ほんたい						
	本体併記（50㎜長）	横	小1		ぜいこみ、ほんたい	○	○	○	○	–	–
		横	小2		ひんもく、ぜいこみ、ほんたい						

ナンバリングフォーマット一覧

- 3.5mm 幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						24	18	12	9	6
		横	1		ナンバー	○	○	○	○	○
		横	2		コメント、ナンバー					
		横	3		ナンバー、コメント					
		横	4		コメント1、ナンバー、コメント2					
		横	5		コメント、ナンバー					
		横	6		ナンバー、コメント					

手書きラベルフォーマット一覧

- 3.5mm、6mm、9mm 幅テープカートリッジはお使いになれません。
- は手書きのイメージ

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅		
						24	18	12
	イメージのみ	横	1			○	○	○
		横	2			○	○	○
	文字付	横	1		タイトル	○	○	○
		横	2		タイトル 1 ～ 2	○	○	○
		横	3		タイトル、コメント	○	○	○
		横	4		タイトル 1 ～ 3	○	○	○
		横	5		タイトル、コメント 1 ～ 2	○	○	○
		横	6		タイトル 1 ～ 4	○	○	○
		横	7		タイトル	○	○	○
		横	8		タイトル 1 ～ 2	○	○	○
		横	9		タイトル、コメント	○	○	○
		横	10		タイトル 1 ～ 3	○	○	○
		横	11		タイトル、コメント 1 ～ 2	○	○	○
		横	12		タイトル 1 ～ 4	○	○	○

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/24mm	取扱説明書参照ページ
最大印刷可能行数	標準フォント	—	1 行	1 行	2 行	4 行	40 ページ 55 ページ 97 ページ
	微小フォント	1 行	2 行	3 行	5 行	8 行	
最大“縦”倍率	標準フォント	—	1 倍	2 倍	3 倍	5 倍	51 ページ
複数行のときの縦倍率の合計	標準フォント	—	—	—	2 まで	4 まで	40 ページ 51 ページ 55 ページ 97 ページ
	微小フォント	—	2 まで	3 まで	5 まで	8 まで	

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○	○
用途別ラベル※	○	○	○	○	○	○
インデックスラベル	×	×	×	×	×	○
拡大印刷	×	×	×	○	○	○
バーコード印刷	×	×	×	○	○	○
QR コード印刷	×	×	×	×	○	○
ナンバリング印刷	×	○	○	○	○	○
デザインロゴ	×	×	×	○	○	○
手書きラベル	×	×	×	○	○	○

※使用可能なテープ幅はフォーマットによって異なります。詳しくは、用途別ラベルフォーマット一覧（132 ページ）をご覧ください。

拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ

	3.5mm/6mm/9mm	12mm	18mm	24mm
2 段	×	24mm	30mm	30mm
3 段	×	36mm	45mm	45mm
4 段	×	48mm	60mm	60mm

- 18mm もしくは 24mm 幅のテープを使用する場合は、テープの上下に余白ができるので、テープを切ってから貼り合わせるか、透明のテープに印刷して重ね貼りしてください。

デザインロゴ内蔵データ一覧

・フォルダ 1：職場で使える分別ラベル（中国語）（30 種）
本体表示名：「職場／分別 C」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	燃えるゴミ	可燃垃圾	16	乾電池	干电池
2	燃えないゴミ	不可燃垃圾	17	ボタン電池	纽扣电池
3	可燃物	可燃物	18	蛍光管	荧光管
4	不燃物	不可燃物	19	プラ容器包装	塑料制容器包装
5	あき缶	空　罐	20	スプレー缶	喷雾罐
6	あきビン	空　瓶	21	衣類布製品	衣服•布制品
7	アルミ缶	铝　罐	22	紙パック	纸　盒
8	スチール缶	钢　罐	23	再生可	可回收
9	ペットボトル	塑料瓶	24	再生不可	不可回收
10	紙類	纸　类	25	コピー用紙	复印纸
11	新聞雑誌	报纸•杂志	26	ＯＡ用紙	办公用纸
12	ダンボール	纸　箱	27	再生紙	再生纸
13	生ゴミ	厨余垃圾	28	上質紙	高质纸
14	発泡スチロール	泡沫塑料	29	ミックスペーパー	混合纸
15	金属	金　属	30	食品トレー	食品盘

・フォルダ 2：現場で使える注意ラベル（中国語）（30 種）
本体表示名：「現場／注意 C」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	立入禁止	禁止入内 DO NOT ENTER	16	運転中	运作中 DURING OPERATION
2	通行禁止	禁止通行 NO PASSAGE	17	喫煙所	吸烟处 SMOKING AREA
3	火気厳禁	严禁烟火 FLAMMABLE	18	整理整頓	整理整顿 KEEP IN ORDER
4	土足厳禁	严禁穿鞋入内 NO STREET SHOES	19	いつもキレイに	保持清洁 KEEP CLEAN
5	物をおくな	请勿放置物品 KEEP EVERYTHING AWAY	20	手洗励行	厉行洗手 WASH YOUR HANDS
6	駐車禁止	禁止停车 NO PARKING	21	救急箱	急救箱 FIRST AID KIT
7	開放厳禁	严禁开放 DO NOT LEAVE DOOR OPEN	22	担架	担　架 STRETCHER
8	禁煙	禁止吸烟 NO SMOKING	23	安全第一	安全第一 SAFETY FIRST
9	飲食禁止	禁止饮食 NO EATING OR DRINKING	24	清掃清潔	清扫清洁 KEEP CLEAN
10	携帯禁止	禁止使用手机 NO MOBILE PHONES	25	危険	危　险 DANGER
11	手をふれるな	请勿触摸 DO NOT TOUCH	26	開閉注意	注意开关 OPEN WITH CARE
12	頭上注意	小心头上 WATCH YOUR HEAD	27	消火器	灭火器 FIRE EXTINGUISHER
13	足元に注意	小心脚下 WATCH YOUR STEP	28	故障	故　障 OUT OF ORDER
14	作業中	作业中 WORK IN PROGRESS	29	撮影禁止	禁止拍摄 NO PHOTOGRAPHY
15	安全確認	确认安全 SAFETY CHECK	30	使用禁止	禁止使用 DO NOT USE

• フォルダ３：現場で使える注意ラベル２（中国語）（30 種）
本体表示名：「現場注意２C」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	昇降禁止	禁止升降 DO NOT ACCESS	16	マスク着用	戴口罩 WEAR MASK
2	修理中	修理中 UNDER REPAIR	17	ゴーグル着用	戴护目镜 WEAR GOGGLES
3	点検中	检点中 UNDER INSPECTION	18	手袋着用	戴手套 WEAR GLOVES
4	手袋禁止	禁止使用手套 NO GLOVES	19	安全帯使用	使用安全带 USE SAFETY BELT
5	開口部注意	小心开口部位 DANGER WHEN OPENING	20	自動運転中	自动运作中 DURING AUTO OPERATION
6	落下物注意	小心落下物体 WATCH YOUR HEAD	21	運転禁止	禁止驾驶 DO NOT OPERATE
7	工事中	施工中 UNDER CONSTRUCTION	22	合図確認	确认信号 WATCH CHECK SIGNAL
8	昇降注意	小心升降 WATCH YOUR STEP	23	点検励行	厉行检点 BE SURE TO INSPECT
9	高温注意	小心高温 DANGER HIGH TEMPERATURE	24	呼称励行	厉行手指点呼 FINGER POINT AND CALL
10	高電圧注意	小心高压电 DANGER HIGH VOLTAGE	25	手順確認	确认作业步骤 CONFIRM PROCEDURES
11	感電注意	小心触电 DANGER ELECTRIC SHOCK	26	危険物注意	小心危险物品 DANGEROUS MATERIAL
12	積み過ぎ注意	小心超载 DO NOT OVERLOAD	27	巻込まれ注意	小心被卷入 WATCH YOUR HANDS
13	保護帽着用	戴防护帽 WEAR HELMET	28	はさまれ注意	小心被夹住 WATCH YOUR HANDS
14	メガネ着用	戴防护眼镜 WEAR SAFETY GLASSES	29	飲料不適	不宜饮用 NOT DRINKING WATER
15	耳栓使用	使用耳塞 WEAR EARPLUGS	30	酸欠注意	小心缺氧 RISK OF SUFFOCATION

• フォルダ４：お店で使える案内ラベル（中国語）（30 種）
本体表示名：「お店／案内 C」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	カード支払いＯＫ	可用信用卡支付	16	ココにタッチ！！	点触这里!!
2	領収書発行	可以开发票	17	品切れ中	已售完
3	両替は遠慮	谢绝换钱	18	不明な点は	不明之处请找服务员
4	不要レシート	废票据箱	19	万引きは犯罪	偷盗是犯罪行为
5	お会計はこちら	收款台在这边	20	配送できます	可以送货
6	防犯カメラ	装有防盗摄像头	21	取り寄せできます	可以调货
7	防犯装置	防盗装置动作中	22	ご用の際は	有事请按按钮
8	警報装置	警报装置动作中	23	喫煙席	吸烟席
9	係員呼び出し	呼叫服务员	24	禁煙席	禁烟席
10	のぞき見注意	小心偷窥	25	予約席	预约席
11	硬貨投入口	硬币投入口	26	トレーはこちらに	盘子请放在这里
12	紙幣投入口	纸币专用投入口	27	返却口	返还口
13	取り忘れ注意	小心遗忘	28	お水はセルフ	自助取水
14	つり銭確認	请确认零钱	29	食券はこちらで	餐券购买处
15	ゆっくりと投入	请慢慢投入	30	番号札はこちら	号码卡在这里

単語集内蔵データ一覧

本機に内蔵されている単語集の日本語の一覧を、場面別に記載しています。英語、中国語の単語集の一覧については、付属のCDの「KL-T100単語集」フォルダをご覧ください。

• 観光（６０種）

番号	日本語	番号	日本語
1	ガイド	31	史跡
2	ガイドブック	32	教会
3	観光案内所	33	記念碑
4	相談窓口	34	歴史的建造物
5	窓口	35	歴史的建造物
6	情報コーナー	36	歴史的建造物
7	旅行会社	37	伝統的建築物
8	滞在期間	38	遊園地
9	通訳	39	テーマパーク
10	展望地	40	動物園
11	景勝地	41	サファリパーク
12	庭園	42	水族館
13	日本庭園	43	植物園
14	博物館	44	映画
15	美術館	45	映画館
16	画廊	46	劇場
17	資料室	47	コンサートホール
18	資料館	48	開館時間
19	郷土史料館	49	開館中
20	重要文化財	50	閉館中
21	国宝	51	休館
22	骨董品	52	休館日
23	沿革	53	ようこそ
24	展示物	54	いらっしゃいませ
25	寺院	55	おはようございます
26	神社	56	こんにちは
27	仏閣	57	こんばんは
28	城	58	さようなら
29	塔	59	ありがとうございます
30	遺跡	60	どういたしまして

• 買物（９７種）

番号	日本語	番号	日本語
1	免税	37	営業時間
2	免税品	38	営業日
3	免税店	39	受付時間
4	トラベラーズチェック	40	開店
5	為替レート	41	閉店
6	店舗	42	休業日
7	ショップ	43	定休日
8	商店街	44	本日休業
9	繁華街	45	セール
10	ショッピングアーケード	46	ベストセラー
11	デパート	47	新発売
12	専門店	48	おすすめ
13	貴金属	49	発売中
14	宝石類	50	店長
15	指輪	51	店員
16	ネックレス	52	試着室
17	バッグ	53	配送できます
18	靴	54	配送料
19	腕時計	55	取り寄せできます
20	置時計	56	品切れ中
21	紳士服	57	不明な点は係員まで
22	婦人服	58	プレゼント
23	着物	59	贈り物
24	子供服	60	贈り物用包装
25	ベビー服	61	おみやげ
26	ベビー用品	62	おみやげ売場
27	眼鏡	63	花
28	サングラス	64	景品
29	傘	65	パソコン
30	理髪室	66	カメラ
31	美容室	67	デジタルカメラ
32	エステティックサロン	68	ビデオカメラ
33	売店	69	ビデオ
34	コンビニエンスストア	70	コンポ
35	スーパー	71	電卓
36	営業中	72	電池

番号	日本語
73	薬
74	医療品
75	風邪薬
76	頭痛薬
77	鎮痛剤
78	胃薬
79	消毒液
80	漢方薬
81	新聞
82	新聞・雑誌
83	雑誌
84	写真集
85	パンフレット
86	カタログ
87	注意書
88	注意事項
89	説明書
90	取扱説明書
91	保証書
92	見本
93	売り物
94	返品
95	防犯カメラ設置
96	防犯装置作動中
97	万引きは犯罪です

• 飲食（１３３種）

番号	日本語
1	日本料理
2	懐石料理
3	割烹料理
4	精進料理
5	郷土料理
6	寿司
7	回転寿司
8	すき焼き
9	天ぷら
10	そば
11	うどん
12	麺類
13	居酒屋
14	カラオケ
15	カラオケルーム
16	バー
17	カウンター
18	レストラン
19	ファーストフード
20	カフェ
21	カフェテリア
22	喫茶室
23	喫茶店
24	喫茶・軽食
25	軽食
26	食堂
27	ご飯
28	ライス
29	食パン
30	サラダ
31	牛肉
32	豚肉
33	鶏肉
34	メニュー
35	セットメニュー
36	コース料理
37	ベジタリアン
38	オーダー
39	注文
40	朝食
41	モーニングサービス
42	昼食
43	ランチメニュー
44	定食
45	夕食
46	和食
47	洋食
48	食事
49	大盛り
50	おかわり自由
51	客席
52	座席
53	優先席
54	盲導犬可
55	介助犬可
56	ペット可
57	ペット不可
58	正装
59	個室
60	座敷
61	宴会
62	予約席
63	空席
64	満席
65	禁煙席
66	喫煙席
67	セルフサービス
68	お水はセルフサービス
69	トレーはこちらに
70	バイキング
71	ビュッフェ
72	食べ放題
73	飲み放題
74	持ち帰り
75	テイクアウト
76	配達
77	出前
78	アルコール類
79	酒類
80	お酒
81	日本酒
82	ビール
83	生ビール
84	ワイン
85	お通し
86	乾杯
87	おつまみ
88	飲物
89	ソフトドリンク
90	ノンアルコール
91	コーヒー
92	紅茶
93	アイスコーヒー
94	アイスティー
95	烏龍茶
96	ジュース
97	コーラ
98	牛乳
99	日本茶
100	お茶
101	お湯
102	水
103	飲料水
104	デザート
105	甘味
106	ケーキ
107	アイスクリーム
108	おしぼり
109	お手拭
110	箸
111	割箸
112	スプーン
113	ナイフ
114	フォーク
115	お茶碗
116	お椀
117	取り皿
118	湯のみ
119	銚子
120	猪口

番号	日本語
121	栓抜き
122	楊枝
123	ランチョンマット
124	調味料
125	塩
126	胡椒
127	醤油
128	ソース
129	酢
130	ドレッシング
131	辛子
132	唐辛子
133	砂糖

• 交通（８６種）

番号	日本語
1	飛行機
2	航空機
3	空港
4	国内線
5	国際線
6	搭乗券
7	搭乗手続
8	出国手続
9	出発
10	乗り継ぎ
11	到着
12	入国手続
13	手荷物
14	手荷物受取所
15	カート
16	税関
17	手荷物検査
18	検疫
19	書類審査
20	パスポート
21	ビザ
22	手荷物宅配
23	バス
24	バス路線図
25	運賃
26	バスのりば
27	バス停
28	停留所
29	バスターミナル
30	観光バス
31	送迎バス
32	リムジンバス
33	タクシー
34	タクシーのりば
35	料金メーター
36	空車
37	回送
38	ハイヤー
39	リムジン
40	レンタカー
41	乗り捨て
42	乗り放題
43	地図
44	道路地図
45	市内地図
46	交通案内
47	交通手段
48	運転免許証
49	行き方
50	左折
51	右折
52	交差点
53	十字路
54	大通り
55	街路
56	通り名
57	並木道
58	迂回路
59	近道
60	突き当たり
61	行き止まり
62	橋
63	踏切
64	駐車場
65	有料駐車場
66	駐車料金
67	満車
68	駐車禁止
69	ガソリンスタンド
70	歩道
71	横断歩道
72	歩道橋
73	地下道
74	自転車
75	貸し自転車
76	自転車乗り入れ禁止
77	駐輪禁止
78	港
79	船舶
80	フェリー
81	船
82	客船
83	遊覧船
84	乗船券
85	ヘリコプター
86	ヘリポート

• 鉄道（８１種）

番号	日本語
1	鉄道
2	電車
3	列車
4	地下鉄
5	新幹線
6	駅
7	鉄道駅
8	最寄り駅
9	停車駅
10	着駅
11	下車駅
12	きっぷうりば
13	券売機
14	自動券売機
15	改札口
16	自動改札
17	運賃
18	乗車券
19	自由席
20	指定席
21	片道
22	往復
23	往復切符
24	往復料金
25	回数券
26	一日乗車券
27	案内所
28	案内図
29	現在地
30	構内図
31	路線図
32	地下鉄路線図
33	沿線
34	時刻表
35	行き先
36	目的地
37	上り電車
38	下り電車
39	始発
40	終電
41	発車時刻
42	到着時刻
43	所要時間

番号	日本語
44	停車時間
45	運休
46	乗換え
47	乗り越し
48	途中下車
49	長距離
50	混雑
51	直行
52	終点
53	遺失物取扱所
54	忘れ物
55	忘れ物取扱所
56	手荷物預かり所
57	コインロッカー
58	休憩所
59	待合室
60	待ち合わせ
61	待ち合わせ場所
62	ミーティングポイント
63	左側通行
64	右側通行
65	左側にお立ちください
66	右側にお立ちください
67	一列並び
68	二列並び
69	三列並び
70	四列並び
71	割り込み禁止
72	かけ込み禁止
73	禁煙車
74	喫煙車
75	弱冷房車
76	食堂車
77	車内販売
78	乗務員室
79	ロープウェイ
80	ケーブル鉄道
81	モノレール

• 宿泊（１３２種）

番号	日本語
1	宿泊施設
2	旅館
3	ホテル
4	予約
5	要予約
6	キャンセル
7	キャンセル料
8	キャンセル待ち
9	満室
10	客室料金
11	朝食付き
12	夕食付き
13	素泊まり
14	貸切
15	相部屋
16	空部屋
17	チェックイン
18	チェックアウト
19	チップ
20	チップ不要
21	ルームサービス
22	消灯時間
23	モーニングコール
24	コレクトコール
25	受付
26	フロント
27	館内案内
28	客室係
29	ロビー
30	クローク
31	本館
32	別館
33	客室
34	和室
35	畳
36	床の間
37	洋室
38	シングルルーム
39	ダブルルーム
40	ツインルーム
41	宴会場
42	大広間
43	娯楽室
44	レクリエーションルーム
45	ゲームコーナー
46	屋上
47	ラウンジ
48	屋上展望室
49	浴室
50	風呂場
51	共同浴場
52	大浴場
53	貸切風呂
54	温泉
55	露天風呂
56	混浴
57	サウナ
58	シャワー
59	シャワールーム
60	ユニットバス
61	避難経路
62	避難はしご
63	オートロック
64	セーフティボックス
65	貴重品
66	貴重品預かり所
67	金庫
68	懐中電灯
69	エアコン
70	空調
71	冷房
72	暖房
73	設定温度
74	火災報知器
75	換気扇
76	スイッチ
77	照明
78	テレビ
79	音量
80	ブザー
81	コンセント
82	コード
83	変圧器
84	クローゼット
85	ハンガー
86	浴衣
87	下駄箱
88	靴べら
89	靴をお脱ぎください
90	スリッパ
91	キッチン
92	厨房
93	冷蔵庫
94	製氷機
95	洗面所
96	洗面台
97	石鹸
98	歯ブラシ
99	歯磨き
100	シャンプー
101	リンス
102	シャワーキャップ
103	洗顔フォーム
104	かみそり
105	シェービングクリーム
106	ボディソープ
107	タオル

番号	日本語
108	バスタオル
109	ドライヤー
110	ヘアリキッド
111	ヘアブラシ
112	櫛
113	整髪料
114	化粧水
115	美容液
116	乳液
117	香水
118	生理用品
119	ティッシュペーパー
120	トイレットペーパー
121	ベッド
122	枕
123	シーツ
124	枕カバー
125	コインランドリー
126	洗剤
127	アイロン
128	クリーニング
129	封筒
130	便箋
131	郵便切手
132	孫の手

• 施設（１００種）

番号	日本語
1	大使館
2	領事館
3	警察
4	交番
5	消防署
6	銀行
7	郵便局
8	郵便ポスト
9	病院
10	救護所
11	医者
12	介護者
13	歯科
14	薬局
15	大学
16	高校
17	中学校
18	小学校
19	幼稚園
20	保育園
21	保育室
22	図書館
23	図書室
24	陸上競技場
25	サッカー競技場
26	野球場
27	テニスコート
28	スカッシュコート
29	プール
30	室内プール
31	屋外プール
32	海水浴場
33	遊泳禁止
34	スキー場
35	Ｔバーリフト
36	腰掛け式リフト
37	安全バーを閉める
38	安全バーを開ける
39	徒歩客は降りる
40	スキーの先を上げる
41	スキーヤーは降りる
42	キャンプ場
43	キャンプ禁止
44	スポーツ活動
45	自然保護
46	公園
47	広場
48	入口
49	出口
50	玄関
51	エントランス
52	エントランスホール
53	昇降口
54	正面
55	正面口
56	正門
57	通用門
58	入場
59	出場
60	自動ドア
61	エレベーター
62	エスカレーター
63	上りエスカレーター
64	下りエスカレーター
65	階段
66	車椅子スロープ
67	身障者用設備
68	乳幼児用設備
69	授乳室
70	子供用
71	水飲み場
72	トイレ
73	便所
74	手洗所
75	お手洗
76	化粧室
77	洋式
78	和式
79	男子トイレ
80	女子トイレ
81	男性
82	男性用
83	男性専用
84	紳士用
85	女性
86	女性用
87	女性専用
88	婦人用
89	男女兼用
90	更衣室
91	男子更衣室
92	女子更衣室
93	ロッカー
94	事務所
95	オフィス
96	会議室
97	スタッフ
98	スタッフ専用
99	従業員専用
100	施設

• 料金（１１０種）

番号	日本語
1	会計
2	お会計はこちら
3	支払い
4	精算
5	勘定
6	現金
7	キャッシュ
8	金額
9	紙幣
10	高額紙幣
11	硬貨
12	お釣り
13	釣銭
14	つり銭を確認ください
15	カード
16	クレジットカード
17	カード支払い

番号	日本語
18	カード支払いＯＫ
19	カード挿入口
20	キャッシュディスペンサー
21	キャッシュサービス
22	のぞき見注意
23	警報装置作動中
24	精算機
25	精算所
26	番号札はこちらで
27	両替
28	両替所
29	両替はご遠慮ください
30	自動販売機
31	投入口
32	硬貨投入口
33	紙幣投入口
34	紙幣専用投入口
35	ゆっくりと投入
36	返却口
37	返却レバー
38	取り忘れ注意
39	呼出し
40	係員呼び出し
41	ご用の際はボタンで
42	タッチパネル式
43	触れてください
44	ココにタッチ！！
45	料金
46	料金表
47	基本料金
48	追加料金
49	別料金
50	深夜料金
51	深夜割増し
52	割増し
53	割引
54	値引き

番号	日本語
55	半額
56	有料
57	無料
58	入館無料
59	使用料
60	入場料
61	入園料
62	見学料
63	観覧料
64	参加費
65	大人
66	大人料金
67	子供
68	子供料金
69	団体
70	個人
71	会員
72	学生
73	学生証
74	大学生
75	高校生
76	中学生
77	小学生
78	チケット
79	チケット売り場
80	入場券
81	前売券
82	当日券
83	割引券
84	クーポン券
85	食券
86	食券はこちらで
87	一括払い
88	分割払い
89	前払い
90	後払い
91	預り金

番号	日本語
92	払戻し
93	定価
94	税込み
95	税込価格
96	総額
97	税抜き
98	消費税
99	税金
100	サービス料
101	税・サービス料込み
102	税・サービス料別
103	手数料
104	入湯税
105	請求書
106	明細書
107	計算書
108	領収書
109	領収書発行できます
110	不要レシート入れ

• 注意（１１７種）

番号	日本語
1	喫煙所
2	喫煙所
3	喫煙コーナー
4	禁煙
5	禁煙
6	終日禁煙
7	禁煙タイム
8	火気厳禁
9	灰皿
10	消火器
11	非常電話
12	非常ボタン
13	非常ベル
14	非常口
15	非常階段

番号	日本語
16	広域避難場所
17	避難所（建物）
18	洪水
19	堤防
20	津波避難場所
21	津波避難ビル
22	津波注意
23	注意
24	警告
25	危険
26	危険物
27	危険物注意
28	足元に注意
29	障害物注意
30	上り段差注意
31	下り段差注意
32	滑面注意
33	転倒注意
34	転落注意
35	頭上注意
36	感電注意
37	高電圧注意
38	高温注意
39	われもの
40	われもの注意
41	折曲厳禁
42	開閉注意
43	開口部注意
44	落下物注意
45	昇降注意
46	積み過ぎ注意
47	巻込まれ注意
48	はさまれ注意
49	酸欠注意
50	使用禁止
51	携帯電話使用禁止
52	電子機器使用禁止

番号	日本語
53	撮影禁止
54	フラッシュ撮影禁止
55	ベビーカー使用禁止
56	使用中
57	運転中
58	自動運転中
59	使用可能
60	使用不可
61	故障
62	修理中
63	調整中
64	点検中
65	清掃中
66	作業中
67	工事中
68	ペンキ塗りたて
69	静かに
70	お待ちください
71	節水
72	節電
73	いつもキレイに
74	手洗励行
75	整理整頓
76	清掃清潔
77	物をおくな
78	点検励行
79	安全第一
80	安全確認
81	合図確認
82	指差呼称励行
83	作業手順確認
84	禁止
85	手をふれるな
86	持ち出し禁止
87	走るな
88	進入禁止
89	立入禁止
90	関係者以外立入禁止
91	通行禁止
92	土足厳禁
93	開放厳禁
94	開閉厳禁
95	昇降禁止
96	運転禁止
97	マスク着用
98	手袋着用
99	手袋使用禁止
100	保護メガネ着用
101	ゴーグル着用
102	耳栓使用
103	保護帽着用
104	安全帯使用
105	救命胴衣
106	担架
107	救急箱
108	飲めません
109	飲料不適
110	食べ物ではありません
111	飲食禁止
112	賞味期限
113	消費期限
114	有効期限
115	防犯ベル
116	警備システム作動中
117	警備員巡回中

• 時節（５０種）

番号	日本語
1	春
2	夏
3	秋
4	冬
5	１月
6	２月
7	３月
8	４月
9	５月
10	６月
11	７月
12	８月
13	９月
14	１０月
15	１１月
16	１２月
17	昨年
18	今年
19	来年
20	先月
21	今月
22	来月
23	先週
24	今週
25	来週
26	平日
27	週末
28	休日
29	祝日
30	誕生日
31	記念日
32	月曜
33	火曜
34	水曜
35	木曜
36	金曜
37	土曜
38	日曜
39	一昨日
40	昨日
41	今日
42	明日
43	明後日
44	今朝
45	正午
46	夕方
47	今晩
48	明朝
49	延期
50	延長

• 基本（７８種）

番号	日本語
1	開ける
2	閉める
3	押す
4	引く
5	進む
6	戻る
7	熱い
8	暖かい
9	冷たい
10	開始
11	停止
12	止まる
13	終了
14	終わり
15	最終
16	一般
17	特別
18	重要
19	自動
20	オン
21	オフ
22	その他
23	大
24	中
25	小
26	東
27	西

番号	日本語
28	南
29	北
30	まっすぐ
31	直進
32	上
33	下
34	前
35	後
36	左
37	右
38	左上
39	右上
40	左下
41	右下
42	連絡先
43	問い合わせ
44	署名
45	名前
46	住所
47	郵便
48	電話
49	電話番号
50	ファックス
51	携帯電話
52	メールアドレス
53	内線
54	国内電話
55	国際電話
56	公衆電話
57	赤
58	オレンジ
59	黄
60	黄緑
61	緑
62	青緑
63	青
64	紫
65	藤色
66	ピンク
67	レモンイエロー
68	水色
69	モスグリーン
70	紺
71	深紅
72	茶
73	ベージュ
74	白
75	灰色
76	黒
77	銀
78	金

• 分別（４２種）

番号	日本語
1	燃えるゴミ
2	燃えないゴミ
3	可燃物
4	不燃物
5	再生可
6	再生不可
7	ガラス
8	ビン
9	あきビン
10	缶
11	あき缶
12	アルミ
13	アルミ缶
14	スチール
15	スチール缶
16	スプレー缶
17	金属
18	乾電池
19	ボタン電池
20	蛍光管
21	ペットボトル
22	プラスチック
23	プラ製容器包装
24	生ゴミ
25	紙類
26	ダンボール
27	紙パック
28	コピー用紙
29	ＯＡ用紙
30	再生紙
31	上質紙
32	ミックスペーパー
33	衣類
34	布製品
35	くず入れ
36	ゴミ箱
37	ダストボックス
38	ごみ置き場
39	リサイクル
40	リサイクル品回収施設
41	ポイ捨て禁止
42	捨てるな

仕様

形式　：KL-T100

入力

キー配列　：JIS 配列準拠
入力方法（日本語）：ローマ字入力、JIS かな入力、手書き入力
（中国語）：ピンイン入力、手書き入力
変換方式　：熟語変換・単漢字変換

辞書

日本語内蔵辞書数　：熟語変換　約 185,000 語（派生語を含む、追加可能）
単漢字変換　約 15,000 語
中国語内蔵辞書数　：熟語変換　約 77,000 語
単漢字変換　約 27,000 語

文字種

29,594 文字（＋外字 4 文字）

日本語漢字：6,355 文字（JIS 第 1 水準:2,965 文字／ JIS 第 2 水準:3,390 文字）
ひらがな：249 文字（全 角：83 文字／上付、下付：166 文字）
カタカナ：258 文字（全 角：86 文字／上付、下付：172 文字）
数字：30 文字（全角：10 文字／上付、下付：20 文字）
アルファベット：156 文字（全角：52 文字／上付、下付：104 文字）
ギリシア文字：48 文字（全角：48 文字）
ロシア文字：66 文字（全角：66 文字）
記号：725 文字（全角：425 文字／上付、下付：300 文字）
絵文字：704 文字（全角：704 文字）

中国語漢字：21,003 文字（GB18030 2byte 漢字すべて）

• 外字は 4 文字まで登録できます。

表示

画面（メインパネル）液晶表示　：128 × 64 ドット＋シンボル（8 桁× 4 行）
入力部分　:8 桁× 1 行（フリーラベル以外での入力時）
8 桁× 3 行（フリーラベル入力時のみ）
手書パネル液晶表示　：208 × 64 ドット
表示言語　：日本語／中国語（簡体字）
表示文字構成：16 × 16 ドット（全角）
8 × 16 ドット(半角…メニュー･メッセージ専用)
8 × 8 ドット（1/4 角）

印刷

印字密度　：200dpi
印刷方式　：熱転写方式
印字速度　：約 10mm/ 秒
印字幅　：約 16mm
a）2mm（テープ幅 3.5mm）
b）4mm（テープ幅 6mm）
c）7mm（テープ幅 9mm）
d）10mm（テープ幅 12mm で通常印刷時）
e）12mm（テープ幅 12mm で拡大印刷時）
f）16mm（テープ幅 18mm/24mm）

• 印字速度は印字環境、条件等により異なります。

文字構成　：ビットマップフォント
書　　体　：和文書体
（明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体）
かな 8 書体
（明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体、手書き、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース）
英数 12 書体
（明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体、手書き、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース、ステンシル、ポップ、ボールドスクリプト、ブラックレター）
中国語漢字 1 書体
（宋体）
※この書体は、（財）日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。
フォントとして無断複製することは禁止されています。
平成明朝体 TMW8、平成角ゴシック体 TMW5
印刷方向　：横書き・縦書き・裏書き
印刷文字体：標準・太字・白抜・影付・立体
印字行数　：3.5mm 幅テープ使用時　1 行印刷可能
6mm 幅テープ使用時　1 ～ 2 行印刷可能
9mm 幅テープ使用時　1 ～ 3 行印刷可能
12mm 幅テープ使用時　1 ～ 5 行印刷可能
18mm/24mm 幅テープ使用時　1 ～ 8 行印刷可能

内部記憶

文字登録用の記憶　：約 2,000 文字
ユーザー辞書　：30 件
熟語変換学習　：約 125 語
単漢字変換学習　：約 20 語
プリセットタイトル　：最大で 49 文字、50 件まで登録可能
コピー / ペースト　：最大で 49 文字、9 件まで登録可能
デザインロゴ　：4 フォルダ
手書きイメージ　：最大で 30 件まで登録可能

登録・呼出し

登録　：文字編集用記憶エリア一括登録＋自動並び替え
呼び出し　：順次呼び出し

電源・その他

動作用電源：AC アダプター（AD-A12090L）
家庭用 100V 電源使用
単 3 形アルカリ乾電池（8 本・市販品）
単 3 形 eneloop®（8 本・市販品）
単 3 形充電式 EVOLTA（8 本・市販品）
内蔵時計動作用電池寿命
約 8 年
タイムスタンプ、タイムスパンでの年月日、時刻が正しく表示されない場合は、内蔵時計動作用電池の消耗が考えられます。
この場合は、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口に修理をご依頼ください。（有料交換）
消費電力　：13W
オートパワーオフ　：約 6 分
• A Cアダプターを使用して、パソコンに接続しているとき、外字を作成しているとき、または、手書きラベル機能で手書きのイメージを編集しているときは、オートパワーオフは、はたらきません。

時計精度　：日差±3秒（常温15℃～35℃）
大きさ　：幅204mm×奥行231mm×高さ65.5mm（足含む）
質量　：約890g（電池含まず）
使用温度　：10℃～35℃

本機は、FineArt Technology社の手書き認識機能を搭載しています。
FineArt Copyright
Handwriting Recognition Engine V2.2

別売品について

別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下のURLをご確認ください。
http://casio.jp/d-stationery/

● クリーニングテープ
XR-24CLE
長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

● ネームランド用ハサミ
CU-10
9ミリ幅～24ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

● ネームランド用収納ケース
CA-4
本体と付属品（ACアダプター、テープカートリッジ、取扱説明書等）を収納することができます。

- 品切れの際はご容赦ください。
- 別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引